

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	江差病院	3	苫小牧市	苫小牧市立病院	21	木古内町	国保病院	39
-	羽幌病院	4	稚内市	稚内病院	22	森町	国保病院	40
-	緑ヶ丘病院	5	稚内市	稚内こまどり病院	23	八雲町	八雲総合病院	41
-	向陽ヶ丘病院	6	美唄市	市立美唄病院	24	八雲町	八雲町熊石国民健康保険病院	42
-	北見病院	7	芦別市	芦別病院	25	長万部町	町立病院	43
-	子ども総合医療・療育センタ ー	8	江別市	市立病院	26	厚沢部町	国保病院	44
札幌市	札幌病院	9	赤平市	あかびら市立病院	27	乙部町	国保病院	45
函館市	市立函館病院	10	士別市	士別市立病院	28	奥尻町	国保病院	46
函館市	市立函館恵山病院	11	名寄市	総合病院	29	今金町	国保病院	47
函館市	市立函館南茅部病院	12	名寄市	名寄東病院	30	せたな町	せたな町立国保病院（病院事業分）	48
小樽市	小樽病院	13	三笠市	三笠総合病院	31	黒松内町	黒松内町国民健康保険病院	49
旭川市	市立旭川病院	14	根室市	根室病院	32	南幌町	国保町立病院	50
室蘭市	総合病院	15	千歳市	千歳市民病院	33	奈井江町	奈井江町立国民健康保険病院	51
釧路市	市立釧路総合病院	16	滝川市	市立病院	34	由仁町	町立病院	52
北見市	北見市国民健康保険常呂病院	17	砂川市	市立病院	35	長沼町	町立長沼病院	53
岩見沢市	総合病院	18	歌志内市	市立病院	36	月形町	国保月形町立病院	54
岩見沢市	栗沢病院	19	深川市	市立病院	37	美瑛町	町立病院	55
留萌市	市立病院	20	松前町	松前病院	38	上富良野町	上富良野町立病院	56

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 北海道

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
中富良野町	町立病院	57	むかわ町	むかわ町鶴川厚生病院	75	標津町	標津町国民健康保険標津病院	93
和寒町	国保町立和寒病院	58	日高町	門別国保病院	76	広域紋別病院企業団	広域紋別病院	94
下川町	下川病院	59	平取町	国保病院	77	利尻島国民健康保険病院組合	利尻島国保中央病院	95
遠別町	遠別町立国保病院	60	新冠町	国保診療所	78			
天塩町	国保病院	61	新ひだか町	新ひだか町立静内病院	79			
猿払村	国保病院	62	新ひだか町	新ひだか町立三石国民健康保険病院	80			
浜頓別町	国保病院	63	士幌町	国保病院	81			
中頓別町	国保病院	64	鹿追町	国保病院	82			
枝幸町	枝幸町国民健康保険病院	65	芽室町	国保芽室病院	83			
豊富町	豊富町国民健康保険病院	66	大樹町	国保病院	84			
幌延町	町立病院	67	広尾町	広尾町国民健康保険病院	85			
美幌町	国保病院	68	池田町	十勝いけだ地域医療センター	86			
斜里町	斜里町国民健康保険病院	69	本別町	国保病院	87			
滝上町	国保病院	70	足寄町	国保病院	88			
興部町	国保病院	71	厚岸町	厚岸病院	89			
雄武町	国保病院	72	標茶町	町立病院	90			
豊浦町	国保病院	73	別海町	別海病院	91			
白老町	国保病院	74	中標津町	中標津病院	92			

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	
				病院名	江差病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,101 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	146	33.7	34.6	28.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	48	14.8	21.8	38.7
感染症	4	-	-	-
計	198	28.4	30.8	30.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	16.9	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,381,733	
決算規模(千円)	2,411,637,482	
標準財政規模(千円)	1,344,611,193	
財政力指数	0.45493	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.7
	将来負担比率(%)	326.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.4
修正医業収益(千円)	1,534,373

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,060,761			
1 経常収益	3,057,594			
(1) 医業収益	1,679,301			
入院収益	737,145			
外来収益	750,967			
診療収入計	1,488,112			
その他医業収益	191,189			
(うち他会計負担金)	144,928			
(2) 医業外収益	1,378,293			
(うち国・都道府県補助金)	29,254			
(うち他会計補助・負担金)	1,172,592			
(うち長期前受金戻入)	170,559			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,167			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,206,091			
2 経常費用	3,200,219			
(1) 医業費用	2,982,298			
職員給与費	1,691,922	100.8	55.7	61.3
材料費	345,318	20.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	118,353	7.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	226,965	13.5	11.0	8.2
減価償却費	211,855	12.6	9.0	10.2
経費	722,415	43.0	23.3	30.5
(うち委託料)	329,312	19.6	11.5	13.0
研究研修費	7,488			
資産減耗費	3,300			
(2) 医業外費用	217,921			
(うち支払利息)	126,043	7.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	5,872			
損益				
経常損益	-142,625			
純損益	-145,330			
累積欠損金	17,809,158			
経常収支比率	95.5		97.7	96.5
医業収支比率	56.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	43.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	78.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	43.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	54.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,806,457
1 固定資産	20,663,907
(1) 有形固定資産	19,631,141
(2) 無形固定資産	5,776
(3) 投資その他の資産	1,026,990
2 流動資産	3,142,550
(1) 現金及び預金	1,741,265
(2) 未収金及び未収収益	1,338,005
(3) 貸倒引当金()	7,976
(4) 貯蔵品	50,962
3 繰延資産	-
負債合計	75,913,975
1 固定負債	58,520,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,490,254
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,747
(6) 引当金	2,769,766
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,331,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,892
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,062,667
(1) 長期前受金	38,450,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,387,945
資本合計	-52,107,518
1 資本金	1,088,479
2 剰余金	-53,195,997
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-53,856,625
負債・資本合計	23,806,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,107,518
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,044,851

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	501,239	1,317,520
資本勘定繰入	280,740	306,743
計	781,979	1,624,263

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	715.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	
				病院名	羽幌病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,702 m ²	指定病院の状況	救臨へ		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	27.2	22.3	20.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	27.2	22.3	20.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	15.4	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,381,733	
決算規模(千円)	2,411,637,482	
標準財政規模(千円)	1,344,611,193	
財政力指数	0.45493	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.7
	将来負担比率(%)	326.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,847,818			
1 経常収益	1,846,345			
(1) 医業収益	1,032,719			
入院収益	387,217			
外来収益	486,879			
診療収入計	874,096			
その他医業収益	158,623			
(うち他会計負担金)	129,993			
(2) 医業外収益	813,626			
(うち国・都道府県補助金)	2,034			
(うち他会計補助・負担金)	624,686			
(うち長期前受金戻入)	185,662			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,473			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,854,977			
2 経常費用	1,853,870			
(1) 医業費用	1,706,915			
職員給与費	953,739	92.4	55.7	61.3
材料費	184,376	17.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	96,794	9.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	87,582	8.5	11.0	8.2
減価償却費	211,564	20.5	9.0	10.2
経費	350,795	34.0	23.3	30.5
(うち委託料)	160,629	15.6	11.5	13.0
研究研修費	2,795			
資産減耗費	3,646			
(2) 医業外費用	146,955			
(うち支払利息)	97,015	9.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,107			
損益				
経常損益	-7,525			
純損益	-7,159			
累積欠損金	15,562,685			
経常収支比率	99.6		97.7	96.5
医業収支比率	60.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	73.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	40.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	58.9		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,806,457
1 固定資産	20,663,907
(1) 有形固定資産	19,631,141
(2) 無形固定資産	5,776
(3) 投資その他の資産	1,026,990
2 流動資産	3,142,550
(1) 現金及び預金	1,741,265
(2) 未収金及び未収収益	1,338,005
(3) 貸倒引当金()	7,976
(4) 貯蔵品	50,962
3 繰延資産	-
負債合計	75,913,975
1 固定負債	58,520,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,490,254
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,747
(6) 引当金	2,769,766
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,331,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,892
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,062,667
(1) 長期前受金	38,450,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,387,945
資本合計	-52,107,518
1 資本金	1,088,479
2 剰余金	-53,195,997
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-53,856,625
負債・資本合計	23,806,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,107,518
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,044,851

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.9
修正医業収益(千円)	902,726

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	569,221	754,679
資本勘定繰入	146,596	161,406
計	715,817	916,085

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	715.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	
		病院名	緑ヶ丘病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,670 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	168	34.3	37.9	40.3
感染症	-	-	-	-
計	168	34.3	37.9	40.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,381,733	
決算規模(千円)	2,411,637,482	
標準財政規模(千円)	1,344,611,193	
財政力指数	0.45493	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.7
	将来負担比率(%)	326.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,836,059			
1 経常収益	1,832,773			
(1) 医業収益	902,671			
入院収益	550,232			
外来収益	316,675			
診療収入計	866,907			
その他医業収益	35,764			
(うち他会計負担金)	18,829			
(2) 医業外収益	930,102			
(うち国・都道府県補助金)	5,192			
(うち他会計補助・負担金)	839,924			
(うち長期前受金戻入)	84,049			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,286			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,976,951			
2 経常費用	1,975,155			
(1) 医業費用	1,882,089			
職員給与費	1,360,855	150.8	55.7	98.9
材料費	72,426	8.0	24.7	8.8
(うち薬品費)	58,313	6.5	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,113	1.6	11.0	1.1
減価償却費	99,067	11.0	9.0	12.7
経費	342,447	37.9	23.3	34.6
(うち委託料)	201,820	22.4	11.5	17.1
研究研修費	5,203			
資産減耗費	2,091			
(2) 医業外費用	93,066			
(うち支払利息)	37,862	4.2	1.4	2.9
(3) 特別損失	1,796			
損益				
経常損益	-142,382			
純損益	-140,892			
累積欠損金	13,665,820			
経常収支比率	92.8		97.7	98.9
医業収支比率	48.0		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	46.9		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	95.1		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	46.8		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	49.3		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,806,457
1 固定資産	20,663,907
(1) 有形固定資産	19,631,141
(2) 無形固定資産	5,776
(3) 投資その他の資産	1,026,990
2 流動資産	3,142,550
(1) 現金及び預金	1,741,265
(2) 未収金及び未収収益	1,338,005
(3) 貸倒引当金()	7,976
(4) 貯蔵品	50,962
3 繰延資産	-
負債合計	75,913,975
1 固定負債	58,520,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,490,254
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,747
(6) 引当金	2,769,766
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,331,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,892
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,062,667
(1) 長期前受金	38,450,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,387,945
資本合計	-52,107,518
1 資本金	1,088,479
2 剰余金	-53,195,997
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-53,856,625
負債・資本合計	23,806,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,107,518
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,044,851

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.0
修正医業収益(千円)	883,842

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	559,548	858,753
資本勘定繰入	11,729	11,729
計	571,277	870,482

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	715.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道	
		市町村・組合名		
		病院名	向陽ヶ丘病院	
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	7,074 m ²	指定病院の状況	臨	
診療科数	1	看護配置	15:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	105	50.9	51.7	63.0
感染症	-	-	-	-
計	105	50.9	51.7	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,381,733	
決算規模(千円)	2,411,637,482	
標準財政規模(千円)	1,344,611,193	
財政力指数	0.45493	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.7
	将来負担比率(%)	326.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	33.3
修正医業収益(千円)	553,031

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,574,778			
1 経常収益	1,566,834			
(1) 医業収益	571,860			
入院収益	317,208			
外来収益	226,785			
診療収入計	543,993			
その他医業収益	27,867			
(うち他会計負担金)	18,829			
(2) 医業外収益	994,974			
(うち国・都道府県補助金)	5,793			
(うち他会計補助・負担金)	814,163			
(うち長期前受金戻入)	174,127			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,944			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,755,226			
2 経常費用	1,747,769			
(1) 医業費用	1,659,400			
職員給与費	967,205	169.1	55.7	98.9
材料費	73,693	12.9	24.7	8.8
(うち薬品費)	58,907	10.3	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,786	2.6	11.0	1.1
減価償却費	266,233	46.6	9.0	12.7
経費	347,240	60.7	23.3	34.6
(うち委託料)	238,572	41.7	11.5	17.1
研究研修費	4,710			
資産減耗費	319			
(2) 医業外費用	88,369			
(うち支払利息)	39,579	6.9	1.4	2.9
(3) 特別損失	7,457			
損益				
経常損益	-180,935			
純損益	-180,448			
累積欠損金	8,031,913			
経常収支比率	89.6		97.7	98.9
医業収支比率	34.5		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	53.2		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	145.7		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	52.9		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	42.0		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,806,457
1 固定資産	20,663,907
(1) 有形固定資産	19,631,141
(2) 無形固定資産	5,776
(3) 投資その他の資産	1,026,990
2 流動資産	3,142,550
(1) 現金及び預金	1,741,265
(2) 未収金及び未収収益	1,338,005
(3) 貸倒引当金()	7,976
(4) 貯蔵品	50,962
3 繰延資産	-
負債合計	75,913,975
1 固定負債	58,520,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,490,254
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,747
(6) 引当金	2,769,766
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,331,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,892
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,062,667
(1) 長期前受金	38,450,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,387,945
資本合計	-52,107,518
1 資本金	1,088,479
2 剰余金	-53,195,997
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-53,856,625
負債・資本合計	23,806,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,107,518
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,044,851

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	405,697	832,992
資本勘定繰入	84,173	91,646
計	489,870	924,638

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	715.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	
				病院名	北見病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,378 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	6	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	70	54.3	-	53.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	54.3	-	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,381,733	
決算規模(千円)	2,411,637,482	
標準財政規模(千円)	1,344,611,193	
財政力指数	0.45493	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.7
	将来負担比率(%)	326.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	713,670			
1 経常収益	713,670			
(1) 医業収益	19,439			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	19,439			
(うち他会計負担金)	18,829			
(2) 医業外収益	694,231			
(うち国・都道府県補助金)	36,000			
(うち他会計補助・負担金)	388,161			
(うち長期前受金戻入)	270,070			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	755,743			
2 経常費用	755,743			
(1) 医業費用	694,468			
職員給与費	228,909	1177.6	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	364,200	1873.6	9.0	11.1
経費	101,051	519.8	23.3	31.9
(うち委託料)	60,911	313.3	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	308	-	-	-
(2) 医業外費用	61,275			
(うち支払利息)	33,057	170.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-42,073			
純損益	-42,073			
累積欠損金	2,742,918			
経常収支比率	94.4		97.7	97.4
医業収支比率	2.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	57.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	2093.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	57.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	40.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,806,457
1 固定資産	20,663,907
(1) 有形固定資産	19,631,141
(2) 無形固定資産	5,776
(3) 投資その他の資産	1,026,990
2 流動資産	3,142,550
(1) 現金及び預金	1,741,265
(2) 未収金及び未収収益	1,338,005
(3) 貸倒引当金()	7,976
(4) 貯蔵品	50,962
3 繰延資産	-
負債合計	75,913,975
1 固定負債	58,520,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,490,254
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,747
(6) 引当金	2,769,766
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,331,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,892
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,062,667
(1) 長期前受金	38,450,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,387,945
資本合計	-52,107,518
1 資本金	1,088,479
2 剰余金	-53,195,997
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-53,856,625
負債・資本合計	23,806,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,107,518
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,044,851

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.1
修正医業収益(千円)	610

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,479	406,990
資本勘定繰入	99,162	107,065
計	270,641	514,055

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	715.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	
				病院名	子ども総合医療・療育センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,116 m ²	指定病院の状況			
診療科数	16	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	215	60.8	61.3	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	60.8	61.3	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	17.6	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,381,733	
決算規模(千円)	2,411,637,482	
標準財政規模(千円)	1,344,611,193	
財政力指数	0.45493	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	20.7
	将来負担比率(%)	326.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.5
修正医業収益(千円)	2,653,387

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,289,801			
1 経常収益	6,287,973			
(1) 医業収益	3,325,386			
入院収益	2,049,608			
外来収益	575,283			
診療収入計	2,624,891			
その他医業収益	700,495			
(うち他会計負担金)	671,999			
(2) 医業外収益	2,962,587			
(うち国・都道府県補助金)	10,658			
(うち他会計補助・負担金)	1,807,253			
(うち長期前受金戻入)	377,319			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,828			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,289,801			
2 経常費用	6,231,545			
(1) 医業費用	4,315,457			
職員給与費	2,840,228	85.4	55.7	59.8
材料費	615,145	18.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	205,385	6.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	409,760	12.3	11.0	9.2
減価償却費	223,268	6.7	9.0	9.9
経費	610,850	18.4	23.3	27.7
(うち委託料)	304,560	9.2	11.5	12.4
研究研修費	16,960			
資産減耗費	9,006			
(2) 医業外費用	1,916,088			
(うち支払利息)	128,465	3.9	1.4	1.5
(3) 特別損失	58,256			
損益	56,428			
経常収支比率	100.9		97.7	96.3
医業収支比率	77.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	39.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	74.6		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	39.4		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	61.1		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,806,457
1 固定資産	20,663,907
(1) 有形固定資産	19,631,141
(2) 無形固定資産	5,776
(3) 投資その他の資産	1,026,990
2 流動資産	3,142,550
(1) 現金及び預金	1,741,265
(2) 未収金及び未収収益	1,338,005
(3) 貸倒引当金()	7,976
(4) 貯蔵品	50,962
3 繰延資産	-
負債合計	75,913,975
1 固定負債	58,520,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,490,254
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	7,363,540
(5) その他の長期借入金	29,896,747
(6) 引当金	2,769,766
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,331,001
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,488,554
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,892
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,516
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,062,667
(1) 長期前受金	38,450,612
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,387,945
資本合計	-52,107,518
1 資本金	1,088,479
2 剰余金	-53,195,997
(1) 資本金剰余金	660,628
(2) 利益剰余金	-53,856,625
負債・資本合計	23,806,457
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	52,107,518
資本不足額(繰延収益控除後)()	39,044,851

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,422,996	2,479,252
資本勘定繰入	244,553	255,839
計	1,667,549	2,735,091

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	715.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	札幌市
				病院名	札幌病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	62,339 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	37	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	626	84.7	74.5	73.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	51.6	57.1	60.9
感染症	8	8.9	-	-
計	672	81.9	72.8	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.4	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,952,356	
決算規模(千円)	992,751,320	
標準財政規模(千円)	516,149,477	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	49.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,671,569			
1 経常収益	24,238,824			
(1) 医業収益	21,893,052			
入院収益	15,248,318			
外来収益	6,104,662			
診療収入計	21,352,980			
その他医業収益	540,072			
(うち他会計負担金)	353,268			
(2) 医業外収益	2,345,772			
(うち国・都道府県補助金)	35,715			
(うち他会計補助・負担金)	1,406,384			
(うち長期前受金戻入)	597,548			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	432,745			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,157,115			
2 経常費用	24,157,115			
(1) 医業費用	23,572,906			
職員給与費	11,346,853	51.8	55.7	49.1
材料費	6,997,049	32.0	24.7	29.1
(うち薬品費)	4,078,421	18.6	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,899,749	13.2	11.0	12.7
減価償却費	1,330,858	6.1	9.0	8.4
経費	3,775,711	17.2	23.3	20.7
(うち委託料)	2,486,584	11.4	11.5	11.6
研究研修費	98,850			
資産減耗費	23,585			
(2) 医業外費用	584,209			
(うち支払利息)	420,976	1.9	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	81,709			
純損益	514,454			
累積欠損金	8,782,897			
経常収支比率	100.3		97.7	98.8
医業収支比率	92.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	93.1		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,996,497
1 固定資産	24,112,895
(1) 有形固定資産	23,664,805
(2) 無形固定資産	15,937
(3) 投資その他の資産	432,153
2 流動資産	3,883,602
(1) 現金及び預金	282,155
(2) 未収金及び未収収益	3,499,504
(3) 貸倒引当金()	17,337
(4) 貯蔵品	111,761
3 繰延資産	-
負債合計	24,955,667
1 固定負債	18,011,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,366,314
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,700,000
(6) 引当金	4,935,305
(7) リース債務	9,845
2 流動負債	5,882,511
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,598,428
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	661,888
(6) リース債務	2,375
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	2,041,793
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,061,692
(1) 長期前受金	18,881,386
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,819,694
資本合計	3,040,830
1 資本金	5,053,274
2 剰余金	-2,012,444
(1) 資本剰余金	6,770,453
(2) 利益剰余金	-8,782,897
負債・資本合計	27,996,497
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.4
修正医業収益(千円)	21,539,784

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,694,277	1,759,652
資本勘定繰入	1,622,992	1,795,760
計	3,317,269	3,555,412

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	函館市
				病院名	市立函館病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,712 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	582	80.0	77.8	74.8
療養	-	-	-	-
結核	10	47.3	42.8	12.8
精神	50	-	-	-
感染症	6	2.7	-	-
計	648	72.6	70.6	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.6	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	265,979	
決算規模(千円)	136,199,691	
標準財政規模(千円)	69,622,544	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	52.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,224,936			
1 経常収益	19,447,258			
(1) 医業収益	17,767,818			
入院収益	12,782,382			
外来収益	4,356,113			
診療収入計	17,138,495			
その他医業収益	629,323			
(うち他会計負担金)	348,517			
(2) 医業外収益	1,679,440			
(うち国・都道府県補助金)	307,403			
(うち他会計補助・負担金)	764,101			
(うち長期前受金戻入)	329,267			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	777,678			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,030,435			
2 経常費用	19,030,363			
(1) 医業費用	17,787,784			
職員給与費	7,911,850	44.5	55.7	49.1
材料費	5,438,995	30.6	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,655,011	14.9	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,676,142	15.1	11.0	12.7
減価償却費	685,854	3.9	9.0	8.4
経費	3,688,061	20.8	23.3	20.7
(うち委託料)	1,908,930	10.7	11.5	11.6
研究研修費	61,386			
資産減耗費	1,638			
(2) 医業外費用	1,242,579			
(うち支払利息)	276,155	1.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	72			
損益				
経常損益	416,895			
純損益	1,194,501			
累積欠損金	15,062,612			
経常収支比率	102.2		97.7	98.8
医業収支比率	99.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	96.3		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,138,014
1 固定資産	8,684,031
(1) 有形固定資産	8,291,952
(2) 無形固定資産	31,177
(3) 投資その他の資産	360,902
2 流動資産	3,453,983
(1) 現金及び預金	54,557
(2) 未収金及び未収収益	3,361,919
(3) 貸倒引当金()	27,011
(4) 貯蔵品	63,318
3 繰延資産	-
負債合計	25,265,657
1 固定負債	16,543,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,716,976
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,177,619
(7) リース債務	648,448
2 流動負債	8,117,290
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,614,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	542,051
(6) リース債務	229,357
(7) 一時借入金	4,460,000
(8) 未払金及び未払費用	1,195,205
(9) 前受金及び前受収益	12,249
3 繰延収益	605,324
(1) 長期前受金	9,623,020
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,017,696
資本合計	-13,127,643
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-15,926,811
(1) 資本金剰余金	479,506
(2) 利益剰余金	-16,406,317
負債・資本合計	12,138,014
不良債務	3,048,494
実質資金不足額	3,048,494
資本不足額()	13,127,643
資本不足額(繰延収益控除後)()	12,522,319

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.9
修正医業収益(千円)	17,419,301

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,110,752	1,112,618
資本勘定繰入	1,115,889	1,123,869
計	2,226,641	2,236,487

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	3,048,494	16.4
平成30年度	3,098,544	17.4
平成29年度	3,173,296	18.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.3
健全化法上の資金不足額(千円)	3,048,494
健全化法上の資金不足比率(%)	16.4
地財法上の資金不足額(千円)	3,048,494
地財法上の資金不足比率(%)	16.4

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	函館市
				病院名	市立函館恵山病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,928 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	20:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	60	64.2	58.1	60.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	64.2	58.1	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	265,979	
決算規模(千円)	136,199,691	
標準財政規模(千円)	69,622,544	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	52.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.7
修正医業収益(千円)	416,182

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	725,645			
1 経常収益	715,772			
(1) 医業収益	454,173			
入院収益	298,506			
外来収益	103,194			
診療収入計	401,700			
その他医業収益	52,473			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	261,599			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	246,495			
(うち長期前受金戻入)	13,375			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,873			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	715,593			
2 経常費用	715,593			
(1) 医業費用	685,638			
職員給与費	418,309	92.1	55.7	72.6
材料費	54,809	12.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	27,543	6.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,266	6.0	11.0	5.6
減価償却費	32,366	7.1	9.0	11.1
経費	175,479	38.6	23.3	31.9
(うち委託料)	63,786	14.0	11.5	13.0
研究研修費	913			
資産減耗費	3,762			
(2) 医業外費用	29,955			
(うち支払利息)	5,056	1.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	179			
純損益	10,052			
累積欠損金	552,660			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	66.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	39.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	62.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	39.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	60.3		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,138,014
1 固定資産	8,684,031
(1) 有形固定資産	8,291,952
(2) 無形固定資産	31,177
(3) 投資その他の資産	360,902
2 流動資産	3,453,983
(1) 現金及び預金	54,557
(2) 未収金及び未収収益	3,361,919
(3) 貸倒引当金()	27,011
(4) 貯蔵品	63,318
3 繰延資産	-
負債合計	25,265,657
1 固定負債	16,543,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,716,976
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,177,619
(7) リース債務	648,448
2 流動負債	8,117,290
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,614,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	542,051
(6) リース債務	229,357
(7) 一時借入金	4,460,000
(8) 未払金及び未払費用	1,195,205
(9) 前受金及び前受収益	12,249
3 繰延収益	605,324
(1) 長期前受金	9,623,020
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,017,696
資本合計	-13,127,643
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-15,926,811
(1) 資本金剰余金	479,506
(2) 利益剰余金	-16,406,317
負債・資本合計	12,138,014
不良債務	3,048,494
実質資金不足額	3,048,494
資本不足額()	13,127,643
資本不足額(繰延収益控除後)()	12,522,319

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	284,464	284,486
資本勘定繰入	21,030	21,847
計	305,494	306,333

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	3,048,494	16.4
平成30年度	3,098,544	17.4
平成29年度	3,173,296	18.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.3
健全化法上の資金不足額(千円)	3,048,494
健全化法上の資金不足比率(%)	16.4
地財法上の資金不足額(千円)	3,048,494
地財法上の資金不足比率(%)	16.4

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	函館市
				病院名	市立函館南茅部病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,898 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	37	57.6	48.5	49.5
療養	22	59.6	82.7	73.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	59	58.3	61.3	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		28.3	19.5	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	265,979	
決算規模(千円)	136,199,691	
標準財政規模(千円)	69,622,544	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	52.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.3
修正医業収益(千円)	327,658

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	628,609			
1 経常収益	618,254			
(1) 医業収益	365,649			
入院収益	209,398			
外来収益	109,688			
診療収入計	319,086			
その他医業収益	46,563			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	252,605			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	250,226			
(うち長期前受金戻入)	62			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,355			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	600,146			
2 経常費用	600,146			
(1) 医業費用	582,496			
職員給与費	275,910	75.5	55.7	72.6
材料費	72,462	19.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	41,799	11.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,057	5.5	11.0	5.6
減価償却費	2,298	0.6	9.0	11.1
経費	230,277	63.0	23.3	31.9
(うち委託料)	48,143	13.2	11.5	13.0
研究研修費	1,545			
資産減耗費	4			
(2) 医業外費用	17,650			
(うち支払利息)	1,795	0.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	18,108			
純損益	28,463			
累積欠損金	791,045			
経常収支比率	103.0		97.7	97.4
医業収支比率	62.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	46.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	78.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	45.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	55.0		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,138,014
1 固定資産	8,684,031
(1) 有形固定資産	8,291,952
(2) 無形固定資産	31,177
(3) 投資その他の資産	360,902
2 流動資産	3,453,983
(1) 現金及び預金	54,557
(2) 未収金及び未収収益	3,361,919
(3) 貸倒引当金()	27,011
(4) 貯蔵品	63,318
3 繰延資産	-
負債合計	25,265,657
1 固定負債	16,543,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,716,976
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,177,619
(7) リース債務	648,448
2 流動負債	8,117,290
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,614,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	542,051
(6) リース債務	229,357
(7) 一時借入金	4,460,000
(8) 未払金及び未払費用	1,195,205
(9) 前受金及び前受収益	12,249
3 繰延収益	605,324
(1) 長期前受金	9,623,020
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,017,696
資本合計	-13,127,643
1 資本金	2,799,168
2 剰余金	-15,926,811
(1) 資本金剰余金	479,506
(2) 利益剰余金	-16,406,317
負債・資本合計	12,138,014
不良債務	3,048,494
実質資金不足額	3,048,494
資本不足額()	13,127,643
資本不足額(繰延収益控除後)()	12,522,319

備考:
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	288,199	288,217
資本勘定繰入	9,446	10,162
計	297,645	298,379

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	3,048,494	16.4
平成30年度	3,098,544	17.4
平成29年度	3,173,296	18.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.3
健全化法上の資金不足額(千円)	3,048,494
健全化法上の資金不足比率(%)	16.4
地財法上の資金不足額(千円)	3,048,494
地財法上の資金不足比率(%)	16.4

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	小樽市
				病院名	小樽病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,893 m ²	指定病院の状況	救臨感災輪		
診療科数	26	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	302	91.0	92.4	95.6
療養	-	-	-	-
結核	4	20.7	26.5	34.6
精神	80	70.7	78.5	86.5
感染症	2	8.5	-	-
計	388	85.7	88.4	92.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	12.7	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	121,924	
決算規模(千円)	56,282,977	
標準財政規模(千円)	31,410,341	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	36.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,069,249			
1 経常収益	11,069,226			
(1) 医業収益	10,254,672			
入院収益	6,930,077			
外来収益	2,691,801			
診療収入計	9,621,878			
その他医業収益	632,794			
(うち他会計負担金)	454,945			
(2) 医業外収益	814,554			
(うち国・都道府県補助金)	21,648			
(うち他会計補助・負担金)	670,040			
(うち長期前受金戻入)	41,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,933,305			
2 経常費用	11,899,609			
(1) 医業費用	11,356,544			
職員給与費	5,639,199	55.0	55.7	57.0
材料費	2,688,979	26.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,154,409	11.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,534,570	15.0	11.0	11.3
減価償却費	1,051,165	10.3	9.0	9.3
経費	1,925,410	18.8	23.3	22.1
(うち委託料)	1,149,826	11.2	11.5	11.1
研究研修費	40,423			
資産減耗費	11,368			
(2) 医業外費用	543,065			
(うち支払利息)	38,990	0.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	33,696			
損益				
経常損益	-830,383			
純損益	-864,056			
累積欠損金	11,428,396			
経常収支比率	93.0		97.7	96.4
医業収支比率	90.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	83.6		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,836,270
1 固定資産	11,106,799
(1) 有形固定資産	11,036,174
(2) 無形固定資産	1,175
(3) 投資その他の資産	69,450
2 流動資産	1,729,471
(1) 現金及び預金	112,823
(2) 未収金及び未収収益	1,578,738
(3) 貸倒引当金()	6,078
(4) 貯蔵品	43,988
3 繰延資産	-
負債合計	16,583,556
1 固定負債	13,182,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,687,557
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,494,514
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,643,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	645,585
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	328,547
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	850,000
(8) 未払金及び未払費用	778,172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	758,443
(1) 長期前受金	1,740,403
(2) 長期前受金収益化累計額()	981,960
資本合計	-3,747,286
1 資本金	6,840,353
2 剰余金	-10,587,639
(1) 資本金剰余金	840,757
(2) 利益剰余金	-11,428,396
負債・資本合計	12,836,270
不良債務	267,986
実質資金不足額	267,986
資金不足額()	3,747,286
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,988,843
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.3
修正医業収益(千円)	9,799,727

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,124,104	1,124,985
資本勘定繰入	405,987	464,304
計	1,530,091	1,589,289

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	267,986	2.6
平成30年度	72,985	0.7
平成29年度	14,438	0.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.4
健全化法上の資金不足額(千円)	267,986
健全化法上の資金不足比率(%)	2.6
地財法上の資金不足額(千円)	267,986
地財法上の資金不足比率(%)	2.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	旭川市
				病院名	市立旭川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,805 m ²	指定病院の状況	救臨が感 輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	372	62.0	66.4	70.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	81.6	86.1	75.9
感染症	6	4.6	-	-
計	478	65.4	69.7	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	11.9	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	339,605	
決算規模(千円)	159,484,778	
標準財政規模(千円)	81,435,063	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	90.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.7
修正医業収益(千円)	9,456,758

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,268,302			
1 経常収益	10,962,596			
(1) 医業収益	9,619,948			
入院収益	6,239,567			
外来収益	3,030,952			
診療収入計	9,270,519			
その他医業収益	349,429			
(うち他会計負担金)	163,190			
(2) 医業外収益	1,342,648			
(うち国・都道府県補助金)	27,375			
(うち他会計補助・負担金)	905,972			
(うち長期前受金戻入)	319,958			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	305,706			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,077,915			
2 経常費用	11,077,811			
(1) 医業費用	10,788,936			
職員給与費	5,158,759	53.6	55.7	54.0
材料費	2,915,587	30.3	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,954,813	20.3	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	960,774	10.0	11.0	12.2
減価償却費	592,758	6.2	9.0	7.9
経費	2,063,320	21.4	23.3	19.2
(うち委託料)	1,026,506	10.7	11.5	9.3
研究研修費	44,544			
資産減耗費	13,968			
(2) 医業外費用	288,875			
(うち支払利息)	21,653	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	104			
損益				
経常損益	-115,215			
純損益	190,387			
累積欠損金	15,671,462			
経常収支比率	99.0		97.7	98.8
医業収支比率	89.2		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	89.3		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,193,119
1 固定資産	8,421,117
(1) 有形固定資産	7,314,706
(2) 無形固定資産	1,771
(3) 投資その他の資産	1,104,640
2 流動資産	1,772,002
(1) 現金及び預金	31,655
(2) 未収金及び未収収益	1,655,497
(3) 貸倒引当金()	41,005
(4) 貯蔵品	124,993
3 繰延資産	-
負債合計	15,939,175
1 固定負債	11,820,302
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,317,764
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,502,538
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,553,996
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	853,435
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	298,344
(6) リース債務	20,188
(7) 一時借入金	1,290,000
(8) 未払金及び未払費用	1,059,174
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	564,877
(1) 長期前受金	6,860,494
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,295,617
資本合計	-5,746,056
1 資本金	9,925,406
2 剰余金	-15,671,462
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-15,671,462
負債・資本合計	10,193,119
不良債務	928,559
実質資金不足額	928,559
資本不足額()	5,746,056
資本不足額(繰延収益控除後)()	5,181,179
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	769,162	1,069,162
資本勘定繰入	563,992	563,992
計	1,333,154	1,633,154

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	928,559	9.7
平成30年度	795,622	7.8
平成29年度	682,449	7.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	162.9
健全化法上の資金不足額(千円)	928,559
健全化法上の資金不足比率(%)	9.6
地財法上の資金不足額(千円)	928,559
地財法上の資金不足比率(%)	9.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	室蘭市
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,036 m ²	指定病院の状況	救臨感災輪		
診療科数	26	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	401	75.6	79.4	76.3
療養	-	-	-	-
結核	24	6.8	6.8	12.8
精神	120	68.8	68.5	67.3
感染症	4	-	-	-
計	549	70.6	73.3	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	18.5	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	88,564	
決算規模(千円)	45,284,580	
標準財政規模(千円)	22,437,860	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	56.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.8
修正医業収益(千円)	8,102,682

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,257,000			
1 経常収益	9,252,553			
(1) 医業収益	8,226,947			
入院収益	5,997,572			
外来収益	1,924,845			
診療収入計	7,922,417			
その他医業収益	304,530			
(うち他会計負担金)	124,265			
(2) 医業外収益	1,025,606			
(うち国・都道府県補助金)	20,486			
(うち他会計補助・負担金)	889,592			
(うち長期前受金戻入)	25,957			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,447			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,830,366			
2 経常費用	9,803,296			
(1) 医業費用	9,332,451			
職員給与費	5,182,899	63.0	55.7	49.1
材料費	1,865,276	22.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	842,213	10.2	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	928,064	11.3	11.0	12.7
減価償却費	580,279	7.1	9.0	8.4
経費	1,659,478	20.2	23.3	20.7
(うち委託料)	902,397	11.0	11.5	11.6
研究研修費	25,038			
資産減耗費	19,481			
(2) 医業外費用	470,845			
(うち支払利息)	164,878	2.0	1.4	1.2
(3) 特別損失	27,070			
損益				
経常損益	-550,743			
純損益	-573,366			
累積欠損金	16,104,414			
経常収支比率	94.4		97.7	98.8
医業収支比率	88.2		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	84.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,441,275
1 固定資産	8,719,525
(1) 有形固定資産	8,570,166
(2) 無形固定資産	2,894
(3) 投資その他の資産	146,465
2 流動資産	1,721,750
(1) 現金及び預金	286,493
(2) 未収金及び未収収益	1,397,792
(3) 貸倒引当金()	14,079
(4) 貯蔵品	51,544
3 繰延資産	-
負債合計	11,811,234
1 固定負債	8,469,797
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,482,373
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,987,424
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,142,709
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,083,366
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,116
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,200,000
(8) 未払金及び未払費用	526,999
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	198,728
(1) 長期前受金	693,952
(2) 長期前受金収益化累計額()	495,224
資本合計	-1,369,959
1 資本金	14,734,455
2 剰余金	-16,104,414
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-16,104,414
負債・資本合計	10,441,275
不良債務	337,593
実質資金不足額	337,593
資本不足額()	1,369,959
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,171,231
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,000,005	1,013,857
資本勘定繰入	600,744	605,130
計	1,600,749	1,618,987

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	337,593	4.1
平成30年度	145,693	1.8
平成29年度	30,841	0.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	195.8
健全化法上の資金不足額(千円)	208,250
健全化法上の資金不足比率(%)	2.5
地財法上の資金不足額(千円)	337,593
地財法上の資金不足比率(%)	4.1

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	釧路市
				病院名	市立釧路総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	46,668 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	535	82.9	81.3	80.9
療養	-	-	-	-
結核	10	12.7	39.8	18.3
精神	94	52.4	56.6	61.3
感染症	4	0.8	-	-
計	643	76.9	76.5	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.7	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	174,742	
決算規模(千円)	93,835,143	
標準財政規模(千円)	48,352,751	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	83.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.8
修正医業収益(千円)	15,090,371

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,124,025			
1 経常収益	17,064,198			
(1) 医業収益	15,367,814			
入院収益	10,221,186			
外来収益	4,696,210			
診療収入計	14,917,396			
その他医業収益	450,418			
(うち他会計負担金)	277,443			
(2) 医業外収益	1,696,384			
(うち国・都道府県補助金)	296,080			
(うち他会計補助・負担金)	1,171,936			
(うち長期前受金戻入)	76,802			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	59,827			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,116,368			
2 経常費用	17,012,470			
(1) 医業費用	16,086,493			
職員給与費	7,547,819	49.1	55.7	49.1
材料費	4,327,566	28.2	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,509,433	16.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,804,209	11.7	11.0	12.7
減価償却費	1,135,585	7.4	9.0	8.4
経費	3,021,925	19.7	23.3	20.7
(うち委託料)	1,800,413	11.7	11.5	11.6
研究研修費	53,078			
資産減耗費	520			
(2) 医業外費用	925,977			
(うち支払利息)	121,109	0.8	1.4	1.2
(3) 特別損失	103,898			
損益				
経常損益	51,728			
純損益	7,657			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		97.7	98.8
医業収支比率	95.5		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	91.8		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,673,751
1 固定資産	10,570,938
(1) 有形固定資産	10,116,826
(2) 無形固定資産	4,478
(3) 投資その他の資産	449,634
2 流動資産	4,102,813
(1) 現金及び預金	1,021,086
(2) 未収金及び未収収益	2,972,570
(3) 貸倒引当金()	13,091
(4) 貯蔵品	77,198
3 繰延資産	-
負債合計	13,277,345
1 固定負債	10,442,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,274,313
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,168,176
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,394,942
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	611,234
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	480,283
(6) リース債務	9,682
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,241,786
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	439,914
(1) 長期前受金	4,776,341
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,336,427
資本合計	1,396,406
1 資本金	1,288,219
2 剰余金	108,187
(1) 資本剰余金	66,788
(2) 利益剰余金	41,399
負債・資本合計	14,673,751
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,449,379	1,449,379
資本勘定繰入	301,932	-
計	1,751,311	1,449,379

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	北見市
		病院名	北見市国民健康保険常呂病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	121,226	
決算規模（千円）	72,071,608	
標準財政規模（千円）	34,770,388	
財政力指数	0.45	
経常収支比率（%）	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.0
	将来負担比率（%）	144.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,487			
1 経常収益	1,487			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,487			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,487			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,487			
2 経常費用	1,487			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,487			
(うち支払利息)	1,487	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	1,487
資本勘定繰入	-	5,719
計	-	7,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	岩見沢市
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,927 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	365	68.0	72.4	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	115	79.5	78.5	73.5
感染症	4	7.3	-	-
計	484	70.2	73.2	72.7
平均在院日数（一般病床のみ）		16.0	16.0	17.0

設立団体の状況		
人口（人）	84,499	
決算規模（千円）	47,719,315	
標準財政規模（千円）	23,980,126	
財政力指数	0.38	
経常収支比率（%）	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	64.9

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,473,507			
1 経常収益	11,473,507			
(1) 医業収益	10,776,529			
入院収益	5,473,184			
外来収益	4,841,032			
診療収入計	10,314,216			
その他医業収益	462,313			
(うち他会計負担金)	244,854			
(2) 医業外収益	696,978			
(うち国・都道府県補助金)	11,938			
(うち他会計補助・負担金)	585,146			
(うち長期前受金戻入)	12,400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,672,701			
2 経常費用	11,667,963			
(1) 医業費用	11,040,830			
職員給与費	4,817,327	44.7	55.7	54.0
材料費	3,779,227	35.1	24.7	26.9
(うち薬品費)	2,762,039	25.6	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,001,225	9.3	11.0	12.2
減価償却費	641,258	6.0	9.0	7.9
経費	1,771,380	16.4	23.3	19.2
(うち委託料)	888,531	8.2	11.5	9.3
研究研修費	29,274			
資産減耗費	2,364			
(2) 医業外費用	627,133			
(うち支払利息)	34,840	0.3	1.4	1.3
(3) 特別損失	4,738			
損益				
経常損益	-194,456			
純損益	-199,194			
累積欠損金	2,499,169			
経常収支比率	98.3		97.7	98.8
医業収支比率	97.6		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	91.2		85.7	89.1

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,570,637
1 固定資産	5,358,309
(1) 有形固定資産	5,329,041
(2) 無形固定資産	5,642
(3) 投資その他の資産	23,626
2 流動資産	4,212,328
(1) 現金及び預金	2,422,187
(2) 未収金及び未収収益	1,753,577
(3) 貸倒引当金（ ）	372
(4) 貯蔵品	36,436
3 繰延資産	-
負債合計	6,575,620
1 固定負債	4,458,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,494,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,963,797
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,806,835
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	585,758
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,891
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	836,380
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,630
(1) 長期前受金	952,322
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	641,692
資本合計	2,995,017
1 資本金	4,334,515
2 剰余金	-1,339,498
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-1,472,057
負債・資本合計	9,570,637
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	95.4
修正医業収益（千円）	10,531,675

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	981,471	830,000
資本勘定繰入	331,612	-
計	1,313,083	830,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	29.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	岩見沢市
				病院名	栗沢病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,174 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	2	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	85	68.0	68.2	71.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	85	68.0	68.2	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	84,499	
決算規模(千円)	47,719,315	
標準財政規模(千円)	23,980,126	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	64.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収益(千円)	506,787

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	673,279			
1 経常収益	673,279			
(1) 医業収益	571,294			
入院収益	336,817			
外来収益	154,639			
診療収入計	491,456			
その他医業収益	79,838			
(うち他会計負担金)	64,507			
(2) 医業外収益	101,985			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	95,493			
(うち長期前受金戻入)	2,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	734,200			
2 経常費用	734,200			
(1) 医業費用	710,163			
職員給与費	423,688	74.2	55.7	72.6
材料費	132,203	23.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	107,915	18.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,131	3.2	11.0	5.6
減価償却費	22,021	3.9	9.0	11.1
経費	131,330	23.0	23.3	31.9
(うち委託料)	55,871	9.8	11.5	13.0
研究研修費	921			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	24,037			
(うち支払利息)	898	0.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-60,921			
純損益	-60,921			
累積欠損金	830,814			
経常収支比率	91.7		97.7	97.4
医業収支比率	80.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	69.9		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,570,637
1 固定資産	5,358,309
(1) 有形固定資産	5,329,041
(2) 無形固定資産	5,642
(3) 投資その他の資産	23,626
2 流動資産	4,212,328
(1) 現金及び預金	2,422,187
(2) 未収金及び未収収益	1,753,577
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	36,436
3 繰延資産	-
負債合計	6,575,620
1 固定負債	4,458,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,494,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,963,797
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,806,835
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	585,758
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,891
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	836,380
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,630
(1) 長期前受金	952,322
(2) 長期前受金収益化累計額()	641,692
資本合計	2,995,017
1 資本金	4,334,515
2 剰余金	-1,339,498
(1) 資本剰余金	132,559
(2) 利益剰余金	-1,472,057
負債・資本合計	9,570,637
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	173,725	160,000
資本勘定繰入	7,552	-
計	181,277	160,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	留萌市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,146 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	246	74.4	72.7	67.5
療養	50	-	-	33.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	300	61.0	59.6	61.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.7	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	22,221	
決算規模(千円)	13,412,428	
標準財政規模(千円)	7,459,883	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	74.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.5
修正医業収益(千円)	4,252,906

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,451,637			
1 経常収益	5,447,387			
(1) 医業収益	4,449,027			
入院収益	2,783,714			
外来収益	1,289,170			
診療収入計	4,072,884			
その他医業収益	376,143			
(うち他会計負担金)	196,121			
(2) 医業外収益	998,360			
(うち国・都道府県補助金)	27,700			
(うち他会計補助・負担金)	531,848			
(うち長期前受金戻入)	85,234			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,250			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,632,343			
2 経常費用	5,632,343			
(1) 医業費用	5,285,356			
職員給与費	2,295,589	51.6	55.7	57.0
材料費	813,765	18.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	341,974	7.7	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	467,983	10.5	11.0	11.3
減価償却費	231,886	5.2	9.0	9.3
経費	1,907,521	42.9	23.3	22.1
(うち委託料)	915,576	20.6	11.5	11.1
研究研修費	16,579			
資産減耗費	20,016			
(2) 医業外費用	346,987			
(うち支払利息)	81,788	1.8	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-184,956			
純損益	-180,706			
累積欠損金	11,292,230			
経常収支比率	96.7		97.7	96.4
医業収支比率	84.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	13.4		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	83.8		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,470,469
1 固定資産	5,047,038
(1) 有形固定資産	5,021,932
(2) 無形固定資産	1,858
(3) 投資その他の資産	23,248
2 流動資産	1,423,431
(1) 現金及び預金	741,544
(2) 未収金及び未収収益	664,689
(3) 貸倒引当金()	11,121
(4) 貯蔵品	28,067
3 繰延資産	-
負債合計	9,168,104
1 固定負債	6,131,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,151,755
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	979,296
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,349,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	484,875
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	165,051
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	977,324
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	687,851
(1) 長期前受金	1,123,792
(2) 長期前受金収益化累計額()	435,941
資本合計	-2,697,635
1 資本金	7,120,611
2 剰余金	-9,818,246
(1) 資本金剰余金	1,473,984
(2) 利益剰余金	-11,292,230
負債・資本合計	6,470,469
不良債務	440,896
実質資金不足額	440,896
資金不足額()	2,697,635
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,009,784
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	674,964	727,969
資本勘定繰入	300,771	360,550
計	975,735	1,088,519

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	440,896	9.9
平成30年度	352,311	8.3
平成29年度	419,462	9.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	253.8
健全化法上の資金不足額(千円)	440,896
健全化法上の資金不足比率(%)	9.9
地財法上の資金不足額(千円)	440,896
地財法上の資金不足比率(%)	9.9

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	苫小牧市
				病院名	苫小牧市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,830 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
診療科数	23	看護配置	7 : 1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	378	72.8	71.6	74.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	5.8	2.1	0.3
計	382	72.1	70.9	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.6	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	172,737	
決算規模(千円)	79,917,443	
標準財政規模(千円)	39,428,391	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	64.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,483,214			
1 経常収益	10,451,864			
(1) 医業収益	9,074,245			
入院収益	5,768,991			
外来収益	2,530,455			
診療収入計	8,299,446			
その他医業収益	774,799			
(うち他会計負担金)	405,080			
(2) 医業外収益	1,377,619			
(うち国・都道府県補助金)	35,536			
(うち他会計補助・負担金)	741,334			
(うち長期前受金戻入)	474,106			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,350			
(うち他会計繰入金)	31,350			
総費用	10,876,159			
2 経常費用	10,820,532			
(1) 医業費用	10,312,671			
職員給与費	4,933,449	54.4	55.7	57.0
材料費	2,027,111	22.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,012,783	11.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	940,596	10.4	11.0	11.3
減価償却費	796,724	8.8	9.0	9.3
経費	2,510,267	27.7	23.3	22.1
(うち委託料)	1,099,127	12.1	11.5	11.1
研究研修費	42,028			
資産減耗費	3,092			
(2) 医業外費用	507,861			
(うち支払利息)	180,031	2.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	55,627			
損益				
経常損益	-368,668			
純損益	-392,945			
累積欠損金	8,537,206			
経常収支比率	96.6		97.7	96.4
医業収支比率	88.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	86.0		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,893,364
1 固定資産	9,449,199
(1) 有形固定資産	8,847,395
(2) 無形固定資産	5,831
(3) 投資その他の資産	595,973
2 流動資産	1,444,165
(1) 現金及び預金	28,856
(2) 未収金及び未収収益	1,379,941
(3) 貸倒引当金()	8,573
(4) 貯蔵品	43,941
3 繰延資産	-
負債合計	15,193,939
1 固定負債	10,767,134
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,580,654
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,149,803
(7) リース債務	36,677
2 流動負債	3,502,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	762,490
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	330,210
(6) リース債務	13,188
(7) 一時借入金	1,913,173
(8) 未払金及び未払費用	436,468
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	924,168
(1) 長期前受金	6,348,094
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,423,926
資本合計	-4,300,575
1 資本金	4,188,458
2 剰余金	-8,489,033
(1) 資本剰余金	48,173
(2) 利益剰余金	-8,537,206
負債・資本合計	10,893,364
不良債務	1,295,982
実質資金不足額	1,295,982
資金不足額()	4,300,575
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,376,407
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.1
修正医業収益(千円)	8,669,165

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,079,005	1,177,764
資本勘定繰入	655,806	860,809
計	1,734,811	2,038,573

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,295,982	14.3
平成30年度	1,160,831	12.9
平成29年度	855,400	9.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.1
健全化法上の資金不足額(千円)	1,295,982
健全化法上の資金不足比率(%)	14.2
地財法上の資金不足額(千円)	1,295,982
地財法上の資金不足比率(%)	14.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	稚内市
				病院名	稚内病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,356 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	258	55.6	53.9	59.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	70	67.8	69.3	42.4
感染症	4	-	-	-
計	332	57.5	56.5	54.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	11.6	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	36,380	
決算規模(千円)	30,071,224	
標準財政規模(千円)	12,522,797	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	60.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.7
修正医業収益(千円)	4,956,819

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,508,325			
1 経常収益	6,506,882			
(1) 医業収益	5,172,891			
入院収益	2,744,633			
外来収益	2,053,234			
診療収入計	4,797,867			
その他医業収益	375,024			
(うち他会計負担金)	216,072			
(2) 医業外収益	1,333,991			
(うち国・都道府県補助金)	32,895			
(うち他会計補助・負担金)	1,260,642			
(うち長期前受金戻入)	7,280			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,443			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,926,315			
2 経常費用	6,891,031			
(1) 医業費用	6,633,184			
職員給与費	3,431,452	66.3	55.7	57.0
材料費	1,244,683	24.1	24.7	24.5
(うち薬品費)	679,912	13.1	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	564,771	10.9	11.0	11.3
減価償却費	409,260	7.9	9.0	9.3
経費	1,502,221	29.0	23.3	22.1
(うち委託料)	578,569	11.2	11.5	11.1
研究研修費	33,182			
資産減耗費	12,386			
(2) 医業外費用	257,847			
(うち支払利息)	7,604	0.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	35,284			
損益				
経常損益	-384,149			
純損益	-417,990			
累積欠損金	9,217,227			
経常収支比率	94.4		97.7	96.4
医業収支比率	78.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	22.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	73.0		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,969,487
1 固定資産	4,804,326
(1) 有形固定資産	4,357,430
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	443,617
2 流動資産	1,165,161
(1) 現金及び預金	166,273
(2) 未収金及び未収収益	848,113
(3) 貸倒引当金()	1,165
(4) 貯蔵品	1,437
3 繰延資産	-
負債合計	5,321,403
1 固定負債	3,617,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,955,022
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,647,097
(7) リース債務	15,706
2 流動負債	1,429,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	345,220
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	236,700
(6) リース債務	6,236
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	358,315
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	273,810
(1) 長期前受金	994,451
(2) 長期前受金収益化累計額()	720,641
資本合計	648,084
1 資本金	9,591,726
2 剰余金	-8,943,642
(1) 資本金剰余金	592,272
(2) 利益剰余金	-9,535,914
負債・資本合計	5,969,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,462,115	1,476,714
資本勘定繰入	190,184	295,300
計	1,652,299	1,772,014

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	178.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	稚内市
	病院名	稚内こまどり病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,570 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	45	69.9	66.4	77.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	69.9	66.4	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	36,380	
決算規模(千円)	30,071,224	
標準財政規模(千円)	12,522,797	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	60.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	50.5
修正医業収益(千円)	178,747

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	370,526			
1 経常収益	370,526			
(1) 医業収益	178,747			
入院収益	133,875			
外来収益	36,132			
診療収入計	170,007			
その他医業収益	8,740			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	191,779			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	173,815			
(うち長期前受金戻入)	16,830			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	365,425			
2 経常費用	365,372			
(1) 医業費用	354,005			
職員給与費	223,629	125.1	55.7	80.8
材料費	13,141	7.4	24.7	13.8
(うち薬品費)	7,743	4.3	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,398	3.0	11.0	4.9
減価償却費	19,985	11.2	9.0	12.9
経費	97,015	54.3	23.3	47.4
(うち委託料)	43,279	24.2	11.5	20.7
研究研修費	235			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,367			
(うち支払利息)	47	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	53			
損益				
経常損益	5,154			
純損益	5,101			
累積欠損金	318,687			
経常収支比率	101.4		97.7	96.7
医業収支比率	50.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	46.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	97.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	46.9		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	53.8		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,969,487
1 固定資産	4,804,326
(1) 有形固定資産	4,357,430
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	443,617
2 流動資産	1,165,161
(1) 現金及び預金	166,273
(2) 未収金及び未収収益	848,113
(3) 貸倒引当金()	1,165
(4) 貯蔵品	1,437
3 繰延資産	-
負債合計	5,321,403
1 固定負債	3,617,825
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,955,022
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,647,097
(7) リース債務	15,706
2 流動負債	1,429,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	345,220
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	236,700
(6) リース債務	6,236
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	358,315
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	273,810
(1) 長期前受金	994,451
(2) 長期前受金収益化累計額()	720,641
資本合計	648,084
1 資本金	9,591,726
2 剰余金	-8,943,642
(1) 資本剰余金	592,272
(2) 利益剰余金	-9,535,914
負債・資本合計	5,969,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	124,368	173,815
資本勘定繰入	839	1,253
計	125,207	175,068

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	178.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	美唄市
				病院名	市立美唄病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,261 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	53	54.8	56.6	59.4
療 養	45	74.0	68.5	68.5
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	98	63.6	62.1	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	17.8	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	23,035	
決算規模(千円)	15,389,855	
標準財政規模(千円)	8,477,083	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	101.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	125.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	1,561,657			
1 経 常 収 益	1,545,069			
(1) 医 業 収 益	1,271,927			
入 院 収 益	572,609			
外 来 収 益	511,470			
診 療 収 入 計	1,084,079			
そ の 他 医 業 収 益	187,848			
(うち他会計負担金)	141,359			
(2) 医 業 外 収 益	273,142			
(うち国・都道府県補助金)	3,757			
(うち他会計補助・負担金)	261,693			
(うち長期前受金戻入)	450			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	16,588			
(うち他会計繰入金)	15,089			
総 費 用	1,471,935			
2 経 常 費 用	1,450,184			
(1) 医 業 費 用	1,414,530			
職 員 給 与 費	860,527	67.7	55.7	72.6
材 料 費	164,948	13.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	88,733	7.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,550	4.7	11.0	5.6
減 価 償 却 費	38,443	3.0	9.0	11.1
経 費	346,592	27.2	23.3	31.9
(うち委託料)	79,398	6.2	11.5	13.0
研 究 研 修 費	3,657			
資 産 減 耗 費	363			
(2) 医 業 外 費 用	35,654			
(うち支払利息)	944	0.1	1.4	1.7
(3) 特 別 損 失	21,751			
損 益				
経 常 損 益	94,885			
純 損 益	89,722			
累 積 欠 損 金	2,172,522			
経 常 収 支 比 率	106.5		97.7	97.4
医 業 収 支 比 率	89.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	26.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	78.7		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	1,232,545
1 固 定 資 産	515,041
(1) 有 形 固 定 資 産	500,600
(2) 無 形 固 定 資 産	522
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	13,919
2 流 動 資 産	717,504
(1) 現 金 及 び 預 金	536,450
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	179,873
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	535
(4) 貯 蔵 品	1,716
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	1,046,532
1 固 定 負 債	873,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	272,942
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	599,937
(7) リ ー ス 債 務	280
2 流 動 負 債	165,015
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,527
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	61,994
(6) リ ー ス 債 務	3,313
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	69,210
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	8,358
(1) 長 期 前 受 金	65,952
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	57,594
資 本 合 計	186,013
1 資 本	2,352,714
2 剰 余 金	-2,166,701
(1) 資 本 剰 余 金	5,821
(2) 利 益 剰 余 金	-2,172,522
負 債 ・ 資 本 合 計	1,232,545
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.9
修正医業収益(千円)	1,130,568

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	403,052	418,141
資本勘定繰入	14,597	34,703
計	417,649	452,844

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	170.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	芦別市
				病院名	芦別病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,574 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	61.2	43.3	46.0
療養	40	72.7	82.5	88.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	65.3	52.7	56.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	23.4	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	14,676	
決算規模(千円)	10,986,802	
標準財政規模(千円)	6,002,124	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	92.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,837,826			
1 経常収益	1,730,189			
(1) 医業収益	1,407,394			
入院収益	685,056			
外来収益	573,322			
診療収入計	1,258,378			
その他医業収益	149,016			
(うち他会計負担金)	113,142			
(2) 医業外収益	322,795			
(うち国・都道府県補助金)	3,644			
(うち他会計補助・負担金)	231,692			
(うち長期前受金戻入)	75,227			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	107,637			
(うち他会計繰入金)	100,000			
総費用	1,918,301			
2 経常費用	1,910,132			
(1) 医業費用	1,846,766			
職員給与費	918,088	65.2	55.7	61.3
材料費	248,203	17.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	138,721	9.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	109,482	7.8	11.0	8.2
減価償却費	135,242	9.6	9.0	10.2
経費	533,582	37.9	23.3	30.5
(うち委託料)	208,219	14.8	11.5	13.0
研究研修費	2,198			
資産減耗費	9,453			
(2) 医業外費用	63,366			
(うち支払利息)	5,648	0.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	8,169			
損益				
経常損益	-179,943			
純損益	-80,475			
累積欠損金	1,311,471			
経常収支比率	90.6		97.7	96.5
医業収支比率	76.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	24.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	72.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,045,958
1 固定資産	1,785,439
(1) 有形固定資産	1,699,032
(2) 無形固定資産	1,583
(3) 投資その他の資産	84,824
2 流動資産	260,519
(1) 現金及び預金	16,795
(2) 未収金及び未収収益	243,191
(3) 貸倒引当金()	162
(4) 貯蔵品	508
3 繰延資産	-
負債合計	1,987,348
1 固定負債	472,802
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	463,318
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	9,484
2 流動負債	767,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,530
(6) リース債務	8,800
(7) 一時借入金	510,000
(8) 未払金及び未払費用	80,368
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	746,985
(1) 長期前受金	3,221,814
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,474,829
資本合計	58,610
1 資本金	1,218,473
2 剰余金	-1,159,863
(1) 資本剰余金	151,608
(2) 利益剰余金	-1,311,471
負債・資本合計	2,045,958
不良債務	404,265
実質資金不足額	404,265
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.1
修正医業収益(千円)	1,294,252

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	344,834	444,834
資本勘定繰入	47,758	47,926
計	392,592	492,760

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	404,265	28.7
平成30年度	314,225	23.3
平成29年度	288,843	20.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.2
健全化法上の資金不足額(千円)	145,905
健全化法上の資金不足比率(%)	10.3
地財法上の資金不足額(千円)	404,265
地財法上の資金不足比率(%)	28.7

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	江別市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,989 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	278	63.4	62.9	70.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	59	44.5	39.6	42.1
感染症	-	-	-	-
計	337	59.5	58.5	65.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	13.0	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	120,636	
決算規模(千円)	46,059,796	
標準財政規模(千円)	24,647,413	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	27.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.0
修正医業収益(千円)	4,475,599

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,440,575			
1 経常収益	5,440,575			
(1) 医業収益	4,824,792			
入院収益	2,726,954			
外来収益	1,678,510			
診療収入計	4,405,464			
その他医業収益	419,328			
(うち他会計負担金)	349,193			
(2) 医業外収益	615,783			
(うち国・都道府県補助金)	4,735			
(うち他会計補助・負担金)	567,178			
(うち長期前受金戻入)	5,723			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,521,783			
2 経常費用	6,512,687			
(1) 医業費用	6,217,695			
職員給与費	3,187,255	66.1	55.7	57.0
材料費	894,680	18.5	24.7	24.5
(うち薬品費)	506,512	10.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	385,544	8.0	11.0	11.3
減価償却費	512,908	10.6	9.0	9.3
経費	1,594,103	33.0	23.3	22.1
(うち委託料)	793,033	16.4	11.5	11.1
研究研修費	19,697			
資産減耗費	9,052			
(2) 医業外費用	294,992			
(うち支払利息)	95,111	2.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	9,096			
損益				
経常損益	-1,072,112			
純損益	-1,081,208			
累積欠損金	11,191,449			
経常収支比率	83.5		97.7	96.4
医業収支比率	77.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.0		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	16.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	69.5		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,321,981
1 固定資産	7,294,361
(1) 有形固定資産	7,289,518
(2) 無形固定資産	853
(3) 投資その他の資産	3,990
2 流動資産	1,027,620
(1) 現金及び預金	310,587
(2) 未収金及び未収収益	708,010
(3) 貸倒引当金()	6,313
(4) 貯蔵品	15,336
3 繰延資産	-
負債合計	9,491,752
1 固定負債	6,479,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,197,459
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,275,562
(6) 引当金	6,288
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,870,103
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	804,159
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	209,763
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,400,000
(8) 未払金及び未払費用	434,414
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	142,340
(1) 長期前受金	243,304
(2) 長期前受金収益化累計額()	100,964
資本合計	-1,169,771
1 資本金	9,975,100
2 剰余金	-11,144,871
(1) 資本金剰余金	46,578
(2) 利益剰余金	-11,191,449
負債・資本合計	8,321,981
不良債務	1,038,324
実質資金不足額	1,038,324
資本不足額()	1,169,771
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,027,431
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	827,239	916,371
資本勘定繰入	475,675	490,486
計	1,302,914	1,406,857

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,038,324	21.5
平成30年度	1,416,548	27.4
平成29年度	1,037,578	17.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	232.0
健全化法上の資金不足額(千円)	31,280
健全化法上の資金不足比率(%)	0.6
地財法上の資金不足額(千円)	1,038,324
地財法上の資金不足比率(%)	21.5

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	赤平市
				病院名	あかびら市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,451 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	86.8	87.6	96.1
療養	60	74.2	83.0	88.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	80.5	85.3	92.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.9	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	11,105	
決算規模(千円)	9,116,652	
標準財政規模(千円)	4,622,849	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	120.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,344,462			
1 経常収益	2,293,949			
(1) 医業収益	1,869,940			
入院収益	1,067,211			
外来収益	482,916			
診療収入計	1,550,127			
その他医業収益	319,813			
(うち他会計負担金)	248,609			
(2) 医業外収益	424,009			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	256,789			
(うち長期前受金戻入)	157,285			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50,513			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,270,496			
2 経常費用	2,217,016			
(1) 医業費用	2,121,188			
職員給与費	868,025	46.4	55.7	61.3
材料費	219,811	11.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	117,549	6.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	101,580	5.4	11.0	8.2
減価償却費	266,684	14.3	9.0	10.2
経費	761,942	40.7	23.3	30.5
(うち委託料)	228,985	12.2	11.5	13.0
研究研修費	3,757			
資産減耗費	969			
(2) 医業外費用	95,828			
(うち支払利息)	42,092	2.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	53,480			
損益				
経常損益	76,933			
純損益	73,966			
累積欠損金	1,543,087			
経常収支比率	103.5		97.7	96.5
医業収支比率	88.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	80.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,550,198
1 固定資産	5,159,193
(1) 有形固定資産	4,963,324
(2) 無形固定資産	819
(3) 投資その他の資産	195,050
2 流動資産	1,391,005
(1) 現金及び預金	1,110,570
(2) 未収金及び未収収益	275,803
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,632
3 繰延資産	-
負債合計	5,765,729
1 固定負債	4,114,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,577,199
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,536,896
(7) リース債務	-
2 流動負債	602,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	494,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,650
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,048,896
(1) 長期前受金	2,081,604
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,032,708
資本合計	784,469
1 資本金	2,101,698
2 剰余金	-1,317,229
(1) 資本剰余金	225,858
(2) 利益剰余金	-1,543,087
負債・資本合計	6,550,198
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.4
修正医業収益(千円)	1,621,331

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	452,876	505,398
資本勘定繰入	296,206	361,280
計	749,082	866,678

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	士別市
				病院名	士別市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,895 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	75.0	76.1	76.7
療養	88	77.0	79.1	79.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	76.2	77.9	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	11.7	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	19,914	
決算規模(千円)	18,660,622	
標準財政規模(千円)	9,510,055	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	148.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.8
修正医業収益(千円)	2,289,898

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,262,571			
1 経常収益	3,262,546			
(1) 医業収益	2,466,391			
入院収益	1,221,490			
外来収益	932,300			
診療収入計	2,153,790			
その他医業収益	312,601			
(うち他会計負担金)	176,493			
(2) 医業外収益	796,155			
(うち国・都道府県補助金)	500			
(うち他会計補助・負担金)	551,077			
(うち長期前受金戻入)	205,197			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,234,713			
2 経常費用	3,231,989			
(1) 医業費用	3,144,837			
職員給与費	1,629,088	66.1	55.7	61.3
材料費	380,751	15.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	95,587	3.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	257,545	10.4	11.0	8.2
減価償却費	214,417	8.7	9.0	10.2
経費	902,393	36.6	23.3	30.5
(うち委託料)	356,632	14.5	11.5	13.0
研究研修費	13,580			
資産減耗費	4,608			
(2) 医業外費用	87,152			
(うち支払利息)	2,679	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,724			
損益				
経常損益	30,557			
純損益	27,858			
累積欠損金	1,646,997			
経常収支比率	100.9		97.7	96.5
医業収支比率	78.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	22.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	78.4		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,778,312
1 固定資産	2,082,517
(1) 有形固定資産	2,002,166
(2) 無形固定資産	1,954
(3) 投資その他の資産	78,397
2 流動資産	695,795
(1) 現金及び預金	245,341
(2) 未収金及び未収収益	442,393
(3) 貸倒引当金()	3,676
(4) 貯蔵品	11,737
3 繰延資産	-
負債合計	3,322,536
1 固定負債	749,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	744,831
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,076
2 流動負債	422,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	142,592
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	106,516
(6) リース債務	6,724
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,987
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,149,851
(1) 長期前受金	3,243,533
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,093,682
資本合計	-544,224
1 資本金	633,306
2 剰余金	-1,177,530
(1) 資本剰余金	469,467
(2) 利益剰余金	-1,646,997
負債・資本合計	2,778,312
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	544,224
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	588,372	727,570
資本勘定繰入	79,574	167,430
計	667,946	895,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	名寄市
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,127 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	73.1	74.6	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	55	89.2	84.3	91.9
感染症	4	0.3	-	-
計	359	74.7	75.3	78.0
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	11.3	11.8

設立団体の状況		
人口（人）	29,048	
決算規模（千円）	20,731,921	
標準財政規模（千円）	12,428,524	
財政力指数	0.28	
経常収支比率（%）	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.2
	将来負担比率（%）	26.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.9
修正医業収益（千円）	8,663,982

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,834,199			
1 経常収益	9,760,865			
(1) 医業収益	9,012,632			
入院収益	5,950,038			
外来収益	2,563,439			
診療収入計	8,513,477			
その他医業収益	499,155			
(うち他会計負担金)	348,650			
(2) 医業外収益	748,233			
(うち国・都道府県補助金)	89,512			
(うち他会計補助・負担金)	440,121			
(うち長期前受金戻入)	48,280			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	73,334			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,858,575			
2 経常費用	9,840,033			
(1) 医業費用	9,431,086			
職員給与費	5,021,535	55.7	55.7	57.0
材料費	2,507,928	27.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	835,994	9.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,588,301	17.6	11.0	11.3
減価償却費	563,614	6.3	9.0	9.3
経費	1,291,364	14.3	23.3	22.1
(うち委託料)	380,377	4.2	11.5	11.1
研究研修費	41,374			
資産減耗費	5,271			
(2) 医業外費用	408,947			
(うち支払利息)	50,391	0.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	18,542			
損益				
経常損益	-79,168			
純損益	-24,376			
累積欠損金	5,787,299			
経常収支比率	99.2		97.7	96.4
医業収支比率	95.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	91.2		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,174,354
1 固定資産	9,173,478
(1) 有形固定資産	9,018,410
(2) 無形固定資産	16,322
(3) 投資その他の資産	138,746
2 流動資産	2,000,876
(1) 現金及び預金	403,452
(2) 未収金及び未収収益	1,571,861
(3) 貸倒引当金（ ）	1,973
(4) 貯蔵品	27,036
3 繰延資産	-
負債合計	9,003,743
1 固定負債	5,772,708
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,400,026
(2) その他の企業債	87,985
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,283,874
(7) リース債務	823
2 流動負債	1,996,579
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	888,254
(2) その他の企業債	14,895
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	281,796
(6) リース債務	789
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	471,463
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,234,456
(1) 長期前受金	2,414,479
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,180,023
資本合計	2,170,611
1 資本金	7,150,618
2 剰余金	-4,980,007
(1) 資本剰余金	581,333
(2) 利益剰余金	-5,561,340
負債・資本合計	11,174,354
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	788,771	788,771
資本勘定繰入	400,236	420,236
計	1,189,007	1,209,007

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	58.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	名寄市
		病院名	名寄東病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,895 m ²	指定病院の状況	
診療科数	3	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	105	70.1	70.5	83.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	70.1	70.5	83.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	29,048	
決算規模(千円)	20,731,921	
標準財政規模(千円)	12,428,524	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	26.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	636,712			
1 経常収益	636,712			
(1) 医業収益	432,729			
入院収益	400,601			
外来収益	23,469			
診療収入計	424,070			
その他医業収益	8,659			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	203,983			
(うち国・都道府県補助金)	180			
(うち他会計補助・負担金)	193,661			
(うち長期前受金戻入)	8,889			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	629,265			
2 経常費用	629,265			
(1) 医業費用	614,665			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	35,094	8.1	9.0	10.2
経費	579,571	133.9	23.3	30.5
(うち委託料)	158,381	36.6	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,600			
(うち支払利息)	96	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	7,447			
純損益	7,447			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		97.7	96.5
医業収支比率	70.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	44.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	30.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	70.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,174,354
1 固定資産	9,173,478
(1) 有形固定資産	9,018,410
(2) 無形固定資産	16,322
(3) 投資その他の資産	138,746
2 流動資産	2,000,876
(1) 現金及び預金	403,452
(2) 未収金及び未収収益	1,571,861
(3) 貸倒引当金()	1,973
(4) 貯蔵品	27,036
3 繰延資産	-
負債合計	9,003,743
1 固定負債	5,772,708
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,400,026
(2) その他の企業債	87,985
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,283,874
(7) リース債務	823
2 流動負債	1,996,579
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	888,254
(2) その他の企業債	14,895
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	281,796
(6) リース債務	789
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	471,463
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,234,456
(1) 長期前受金	2,414,479
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,180,023
資本合計	2,170,611
1 資本金	7,150,618
2 剰余金	-4,980,007
(1) 資本剰余金	581,333
(2) 利益剰余金	-5,561,340
負債・資本合計	11,174,354
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.4
修正医業収益(千円)	432,729

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	193,661	193,661
資本勘定繰入	-	-
計	193,661	193,661

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	三笠市
	病院名	三笠総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,780 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区 分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	91	49.5	58.6	63.4
療 養	43	74.6	80.3	84.2
結 核	-	-	-	-
精 神	65	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	199	59.1	67.0	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		25.6	19.9	20.3

設立団体の状況		
人 口(人)	9,076	
決 算 規 模(千円)	11,476,823	
標 準 財 政 規 模(千円)	4,684,802	
財 政 力 指 数	0.20	
経 常 収 支 比 率(%)	98.7	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	25.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.7
修正医業収益(千円)	865,494

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	1,890,499			
1 経 常 収 益	1,513,135			
(1) 医 業 収 益	1,009,655			
入 院 収 益	545,919			
外 来 収 益	296,521			
診 療 収 入 計	842,440			
そ の 他 医 業 収 益	167,215			
(うち他会計負担金)	144,161			
(2) 医 業 外 収 益	503,480			
(うち国・都道府県補助金)	1,815			
(うち他会計補助・負担金)	451,562			
(うち長期前受金戻入)	15,208			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	377,364			
(うち他会計繰入金)	349,000			
総 費 用	1,909,271			
2 経 常 費 用	1,909,271			
(1) 医 業 費 用	1,894,963			
職 員 給 与 費	888,671	88.0	55.7	61.3
材 料 費	144,974	14.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	58,675	5.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,012	6.7	11.0	8.2
減 価 償 却 費	98,562	9.8	9.0	10.2
経 費	756,616	74.9	23.3	30.5
(うち委託料)	184,453	18.3	11.5	13.0
研 究 研 修 費	5,477			
資 産 減 耗 費	663			
(2) 医 業 外 費 用	14,308			
(うち支払利息)	1,141	0.1	1.4	1.6
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-396,136			
純 損 益	-18,772			
累 積 欠 損 金	1,394,833			
経 常 収 支 比 率	79.3		97.7	96.5
医 業 収 支 比 率	53.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	39.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	59.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	50.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	48.1		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	1,203,827
1 固 定 資 産	1,029,423
(1) 有 形 固 定 資 産	1,004,927
(2) 無 形 固 定 資 産	246
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	24,250
2 流 動 資 産	174,404
(1) 現 金 及 び 預 金	44,016
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	129,105
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	296
(4) 貯 蔵 品	1,579
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	1,610,458
1 固 定 負 債	973,424
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	278,987
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	693,172
(7) リ ー ス 債 務	799
2 流 動 負 債	255,740
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,608
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	68,814
(6) リ ー ス 債 務	4,769
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	66,471
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	381,294
(1) 長 期 前 受 金	2,035,353
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	1,654,059
資 本 合 計	-406,631
1 資 本 金	909,596
2 剰 余 金	-1,316,227
(1) 資 本 剰 余 金	78,606
(2) 利 益 剰 余 金	-1,394,833
負 債 ・ 資 本 合 計	1,203,827
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	406,631
資本不足額(繰延収益控除後) ()	25,337
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	235,639	944,723
資 本 勘 定 繰 入	36,422	42,277
計	272,061	987,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率(%)	138.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額(千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	根室市
				病院名	根室病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	13,281 m ²	指定病院の状況	救感災		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	131	80.5	81.8	86.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.6	-	-
計	135	78.1	79.4	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.4	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	26,917	
決算規模(千円)	28,545,730	
標準財政規模(千円)	8,973,302	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.3
修正医業収益(千円)	2,865,008

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,730,682			
1 経常収益	4,608,356			
(1) 医業収益	2,982,632			
入院収益	1,456,494			
外来収益	1,325,131			
診療収入計	2,781,625			
その他医業収益	201,007			
(うち他会計負担金)	117,624			
(2) 医業外収益	1,625,724			
(うち国・都道府県補助金)	5,925			
(うち他会計補助・負担金)	1,310,358			
(うち長期前受金戻入)	286,441			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	122,326			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,763,859			
2 経常費用	4,763,859			
(1) 医業費用	4,598,420			
職員給与費	2,360,821	79.2	55.7	61.3
材料費	744,423	25.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	426,186	14.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	318,237	10.7	11.0	8.2
減価償却費	382,312	12.8	9.0	10.2
経費	1,073,223	36.0	23.3	30.5
(うち委託料)	499,835	16.8	11.5	13.0
研究研修費	35,209			
資産減耗費	2,432			
(2) 医業外費用	165,439			
(うち支払利息)	5,272	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-155,503			
純損益	-33,177			
累積欠損金	2,706,436			
経常収支比率	96.7		97.7	96.5
医業収支比率	64.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	47.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	66.8		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,167,130
1 固定資産	3,600,223
(1) 有形固定資産	3,595,521
(2) 無形固定資産	742
(3) 投資その他の資産	3,960
2 流動資産	566,907
(1) 現金及び預金	54,858
(2) 未収金及び未収収益	487,422
(3) 貸倒引当金()	3,702
(4) 貯蔵品	24,179
3 繰延資産	-
負債合計	6,346,679
1 固定負債	3,697,787
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,728,242
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	911,192
(7) リース債務	58,353
2 流動負債	788,976
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,070
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,804
(6) リース債務	51,834
(7) 一時借入金	90,000
(8) 未払金及び未払費用	191,125
(9) 前受金及び前受収益	108,734
3 繰延収益	1,859,916
(1) 長期前受金	2,268,472
(2) 長期前受金収益化累計額()	408,556
資本合計	-2,179,549
1 資本金	335,757
2 剰余金	-2,515,306
(1) 資本剰余金	191,130
(2) 利益剰余金	-2,706,436
負債・資本合計	4,167,130
不良債務	25,999
実質資金不足額	25,999
資本不足額()	2,179,549
資本不足額(繰延収益控除後)()	319,633
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	849,777	1,427,982
資本勘定繰入	113,990	227,979
計	963,767	1,655,961

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	25,999	0.9
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	90.7
健全化法上の資金不足額(千円)	25,999
健全化法上の資金不足比率(%)	0.8
地財法上の資金不足額(千円)	25,999
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	千歳市
	病院名	千歳市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,590 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	13	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	190	71.6	77.9	77.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	190	71.6	77.9	77.2
平均在院日数(一般病床のみ)		8.6	9.1	9.1

設立団体の状況		
人口(人)	95,648	
決算規模(千円)	46,571,825	
標準財政規模(千円)	23,309,465	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	37.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	5,002,783

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,064,098			
1 経常収益	6,058,006			
(1) 医業収益	5,454,518			
入院収益	3,061,877			
外来収益	1,622,744			
診療収入計	4,684,621			
その他医業収益	769,897			
(うち他会計負担金)	451,735			
(2) 医業外収益	603,488			
(うち国・都道府県補助金)	4,068			
(うち他会計補助・負担金)	547,160			
(うち長期前受金戻入)	20,102			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,092			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,148,339			
2 経常費用	6,140,321			
(1) 医業費用	5,844,346			
職員給与費	2,813,931	51.6	55.7	61.3
材料費	1,126,214	20.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	489,255	9.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	636,959	11.7	11.0	8.2
減価償却費	389,577	7.1	9.0	10.2
経費	1,478,757	27.1	23.3	30.5
(うち委託料)	509,375	9.3	11.5	13.0
研究研修費	29,230			
資産減耗費	6,637			
(2) 医業外費用	295,975			
(うち支払利息)	95,021	1.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	8,018			
損益				
経常損益	-82,315			
純損益	-84,241			
累積欠損金	2,962,748			
経常収支比率	98.7		97.7	96.5
医業収支比率	93.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	82.4		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,879,762
1 固定資産	5,455,272
(1) 有形固定資産	5,245,793
(2) 無形固定資産	1,881
(3) 投資その他の資産	207,598
2 流動資産	2,424,490
(1) 現金及び預金	1,616,510
(2) 未収金及び未収収益	763,349
(3) 貸倒引当金()	308
(4) 貯蔵品	44,934
3 繰延資産	-
負債合計	7,106,316
1 固定負債	5,827,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,636,416
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,191,398
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,094,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,322
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	185,588
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	502,932
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	184,343
(1) 長期前受金	383,634
(2) 長期前受金収益化累計額()	199,291
資本合計	773,446
1 資本金	3,633,367
2 剰余金	-2,859,921
(1) 資本剰余金	102,827
(2) 利益剰余金	-2,962,748
負債・資本合計	7,879,762
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,032,114	998,895
資本勘定繰入	292,995	-
計	1,325,109	998,895

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	滝川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,080 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	13	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	270	73.9	67.0	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	44	57.0	62.1	69.5
感染症	-	-	-	-
計	314	71.1	66.3	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	16.4	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	41,192	
決算規模(千円)	21,137,961	
標準財政規模(千円)	11,408,245	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	75.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,374,151			
1 経常収益	6,374,151			
(1) 医業収益	5,415,217			
入院収益	3,056,603			
外来収益	2,085,975			
診療収入計	5,142,578			
その他医業収益	272,639			
(うち他会計負担金)	120,173			
(2) 医業外収益	958,934			
(うち国・都道府県補助金)	13,940			
(うち他会計補助・負担金)	668,065			
(うち長期前受金戻入)	24,335			
(うち資本費繰入収益)	189,111			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,992,501			
2 経常費用	6,827,226			
(1) 医業費用	6,566,955			
職員給与費	2,890,893	53.4	55.7	57.0
材料費	1,436,875	26.5	24.7	24.5
(うち薬品費)	772,901	14.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	610,877	11.3	11.0	11.3
減価償却費	555,240	10.3	9.0	9.3
経費	1,652,818	30.5	23.3	22.1
(うち委託料)	450,340	8.3	11.5	11.1
研究研修費	24,918			
資産減耗費	6,211			
(2) 医業外費用	260,271			
(うち支払利息)	147,940	2.7	1.4	1.4
(3) 特別損失	165,275			
損益				
経常損益	-453,075			
純損益	-618,350			
累積欠損金	4,519,521			
経常収支比率	93.4		97.7	96.4
医業収支比率	82.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	81.8		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,020,853
1 固定資産	7,172,895
(1) 有形固定資産	7,170,827
(2) 無形固定資産	2,068
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	847,958
(1) 現金及び預金	50,172
(2) 未収金及び未収収益	785,510
(3) 貸倒引当金()	1,383
(4) 貯蔵品	13,659
3 繰延資産	-
負債合計	10,809,749
1 固定負債	7,943,223
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,346,264
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	596,959
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,175,185
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	476,326
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	217,697
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,190,000
(8) 未払金及び未払費用	265,791
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	691,341
(1) 長期前受金	906,646
(2) 長期前受金収益化累計額()	215,305
資本合計	-2,788,896
1 資本金	1,316,316
2 剰余金	-4,105,212
(1) 資本金剰余金	39,309
(2) 利益剰余金	-4,144,521
負債・資本合計	8,020,853
不良債務	850,901
実質資金不足額	850,901
資金不足額()	2,788,896
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,097,555
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.6
修正医業収益(千円)	5,295,044

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,069,295	788,238
資本勘定繰入	240,611	201,111
計	1,309,906	989,349

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	850,901	15.7
平成30年度	472,649	8.6
平成29年度	332,027	5.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	83.5
健全化法上の資金不足額(千円)	850,901
健全化法上の資金不足比率(%)	15.7
地財法上の資金不足額(千円)	850,901
地財法上の資金不足比率(%)	15.7

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	砂川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	53,186 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	408	78.4	83.1	85.1
療養	-	-	-	-
結核	6	13.4	31.1	17.9
精神	80	72.7	71.7	76.6
感染症	4	3.6	-	-
計	498	76.1	80.0	82.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.6	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	17,694	
決算規模(千円)	12,655,660	
標準財政規模(千円)	6,662,039	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	83.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	23.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.5
修正医業収益(千円)	12,105,929

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,749,928			
1 経常収益	13,413,895			
(1) 医業収益	12,327,675			
入院収益	8,476,196			
外来収益	3,378,140			
診療収入計	11,854,336			
その他医業収益	473,339			
(うち他会計負担金)	221,746			
(2) 医業外収益	1,086,220			
(うち国・都道府県補助金)	59,439			
(うち他会計補助・負担金)	799,506			
(うち長期前受金戻入)	53,909			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	336,033			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,292,368			
2 経常費用	14,258,663			
(1) 医業費用	14,002,315			
職員給与費	7,204,672	58.4	55.7	54.0
材料費	3,501,442	28.4	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,594,203	12.9	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,791,023	14.5	11.0	12.2
減価償却費	928,075	7.5	9.0	7.9
経費	2,280,159	18.5	23.3	19.2
(うち委託料)	1,013,521	8.2	11.5	9.3
研究研修費	80,560			
資産減耗費	7,407			
(2) 医業外費用	256,348			
(うち支払利息)	87,863	0.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	33,705			
損益				
経常損益	-844,768			
純損益	-542,440			
累積欠損金	7,142,158			
経常収支比率	94.1		97.7	98.8
医業収支比率	88.0		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	86.9		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,107,648
1 固定資産	13,634,742
(1) 有形固定資産	13,146,685
(2) 無形固定資産	3,362
(3) 投資その他の資産	484,695
2 流動資産	3,472,906
(1) 現金及び預金	1,514,185
(2) 未収金及び未収収益	1,954,577
(3) 貸倒引当金()	5,559
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	15,276,160
1 固定負債	11,945,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,874,517
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	71,233
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,935,720
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,001,807
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	447,062
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	427,326
(9) 前受金及び前受収益	1,873
3 繰延収益	1,394,690
(1) 長期前受金	1,988,400
(2) 長期前受金収益化累計額()	593,710
資本合計	1,831,488
1 資本金	7,591,548
2 剰余金	-5,760,060
(1) 資本剰余金	303,919
(2) 利益剰余金	-6,063,979
負債・資本合計	17,107,648
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,658,752	1,021,252
資本勘定繰入	491,363	487,449
計	3,150,115	1,508,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	歌志内市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,998 m ²	指定病院の状況			
診療科数	2	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	60	76.6	81.9	90.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	76.6	81.9	90.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,585	
決算規模(千円)	3,955,059	
標準財政規模(千円)	2,165,445	
財政力指数	0.11	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.1
修正医業収益(千円)	376,499

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	604,669			
1 経常収益	604,669			
(1) 医業収益	376,499			
入院収益	281,243			
外来収益	65,680			
診療収入計	346,923			
その他医業収益	29,576			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	228,170			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	224,082			
(うち長期前受金戻入)	3,297			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	613,087			
2 経常費用	613,087			
(1) 医業費用	587,530			
職員給与費	189,624	50.4	55.7	72.6
材料費	53,704	14.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	19,746	5.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,044	6.9	11.0	5.6
減価償却費	56,423	15.0	9.0	11.1
経費	286,964	76.2	23.3	31.9
(うち委託料)	79,047	21.0	11.5	13.0
研究研修費	475			
資産減耗費	340			
(2) 医業外費用	25,557			
(うち支払利息)	4,445	1.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-8,418			
純損益	-8,418			
累積欠損金	817,696			
経常収支比率	98.6		97.7	97.4
医業収支比率	64.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	37.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	59.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	37.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	62.1		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,031,360
1 固定資産	445,314
(1) 有形固定資産	445,050
(2) 無形固定資産	264
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	586,046
(1) 現金及び預金	537,151
(2) 未収金及び未収収益	46,285
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,610
3 繰延資産	-
負債合計	485,916
1 固定負債	324,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,816
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	77,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,776
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	14,384
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,543
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,649
(1) 長期前受金	134,257
(2) 長期前受金収益化累計額()	50,608
資本合計	545,444
1 資本金	1,350,641
2 剰余金	-805,197
(1) 資本金剰余金	12,499
(2) 利益剰余金	-817,696
負債・資本合計	1,031,360
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	190,684	224,082
資本勘定繰入	16,452	16,452
計	207,136	240,534

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	217.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	深川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,954 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	83.3	81.3	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	203	81.7	79.7	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	14.4	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	21,909	
決算規模(千円)	16,996,289	
標準財政規模(千円)	9,263,742	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.1
	将来負担比率(%)	133.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,269,737			
1 経常収益	4,269,720			
(1) 医業収益	3,767,013			
入院収益	2,326,257			
外来収益	1,195,187			
診療収入計	3,521,444			
その他医業収益	245,569			
(うち他会計負担金)	106,777			
(2) 医業外収益	502,707			
(うち国・都道府県補助金)	4,100			
(うち他会計補助・負担金)	417,003			
(うち長期前受金戻入)	6,310			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,465,316			
2 経常費用	4,453,297			
(1) 医業費用	4,170,331			
職員給与費	2,046,979	54.3	55.7	59.8
材料費	656,304	17.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	379,408	10.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	276,896	7.4	11.0	9.2
減価償却費	342,233	9.1	9.0	9.9
経費	1,083,819	28.8	23.3	27.7
(うち委託料)	387,051	10.3	11.5	12.4
研究研修費	15,739			
資産減耗費	25,257			
(2) 医業外費用	282,966			
(うち支払利息)	125,792	3.3	1.4	1.5
(3) 特別損失	12,019			
損益				
経常損益	-183,577			
純損益	-195,579			
累積欠損金	9,576,593			
経常収支比率	95.9		97.7	96.3
医業収支比率	90.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	84.1		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,179,476
1 固定資産	5,974,114
(1) 有形固定資産	5,889,347
(2) 無形固定資産	1,863
(3) 投資その他の資産	82,904
2 流動資産	1,205,362
(1) 現金及び預金	622,161
(2) 未収金及び未収収益	540,392
(3) 貸倒引当金()	1,510
(4) 貯蔵品	44,302
3 繰延資産	-
負債合計	8,727,071
1 固定負債	6,693,755
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,534,566
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	147,488
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,701
2 流動負債	1,884,734
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	447,809
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	144,937
(6) リース債務	8,495
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	464,301
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	148,582
(1) 長期前受金	255,197
(2) 長期前受金収益化累計額()	106,615
資本合計	-1,547,595
1 資本金	7,178,526
2 剰余金	-8,726,121
(1) 資本剰余金	850,472
(2) 利益剰余金	-9,576,593
負債・資本合計	7,179,476
不良債務	231,563
実質資金不足額	231,563
資本不足額()	1,547,595
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,399,013
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収益(千円)	3,660,236

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	318,191	523,780
資本勘定繰入	290,021	290,021
計	608,212	813,801

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	231,563	6.1
平成30年度	250,554	6.8
平成29年度	537,478	14.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	254.2
健全化法上の資金不足額(千円)	231,563
健全化法上の資金不足比率(%)	6.1
地財法上の資金不足額(千円)	231,563
地財法上の資金不足比率(%)	6.1

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	松前町
				病院名	松前病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,060 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	67.0	75.8	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	67.0	75.8	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		25.8	25.4	27.9

設立団体の状況		
人口(人)	7,337	
決算規模(千円)	5,683,014	
標準財政規模(千円)	3,480,334	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	88.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	38.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.4
修正医業収益(千円)	943,786

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,291,425			
1 経常収益	1,291,425			
(1) 医業収益	980,080			
入院収益	542,054			
外来収益	357,456			
診療収入計	899,510			
その他医業収益	80,570			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	311,345			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	257,954			
(うち長期前受金戻入)	25,001			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,299,432			
2 経常費用	1,289,614			
(1) 医業費用	1,252,398			
職員給与費	663,072	67.7	55.7	61.3
材料費	130,850	13.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	85,818	8.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,032	4.6	11.0	8.2
減価償却費	42,301	4.3	9.0	10.2
経費	410,949	41.9	23.3	30.5
(うち委託料)	104,700	10.7	11.5	13.0
研究研修費	3,736			
資産減耗費	1,490			
(2) 医業外費用	37,216			
(うち支払利息)	1,781	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	9,818			
損益				
経常損益	1,811			
純損益	-8,007			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		97.7	96.5
医業収支比率	78.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	22.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.3		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,571,513
1 固定資産	587,492
(1) 有形固定資産	569,930
(2) 無形固定資産	55
(3) 投資その他の資産	17,507
2 流動資産	984,021
(1) 現金及び預金	835,038
(2) 未収金及び未収収益	142,069
(3) 貸倒引当金()	1,533
(4) 貯蔵品	8,447
3 繰延資産	-
負債合計	497,647
1 固定負債	103,856
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,914
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	942
2 流動負債	115,927
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,157
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,372
(6) リース債務	1,726
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	56,146
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	277,864
(1) 長期前受金	1,242,002
(2) 長期前受金収益化累計額()	964,138
資本合計	1,073,866
1 資本金	646,298
2 剰余金	427,568
(1) 資本剰余金	210,480
(2) 利益剰余金	217,088
負債・資本合計	1,571,513
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	294,134	294,248
資本勘定繰入	18,438	22,753
計	312,572	317,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	木古内町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,945 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	43.7	48.8	53.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	43.7	48.8	53.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	16.5	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	4,547	
決算規模(千円)	4,188,080	
標準財政規模(千円)	2,592,675	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	85.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.1
修正医業収益(千円)	879,467

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,353,889			
1 経常収益	1,347,607			
(1) 医業収益	922,534			
入院収益	482,944			
外来収益	358,023			
診療収入計	840,967			
その他医業収益	81,567			
(うち他会計負担金)	43,067			
(2) 医業外収益	425,073			
(うち国・都道府県補助金)	3,721			
(うち他会計補助・負担金)	334,749			
(うち長期前受金戻入)	74,091			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,282			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,382,288			
2 経常費用	1,382,276			
(1) 医業費用	1,330,275			
職員給与費	797,008	86.4	55.7	72.6
材料費	114,556	12.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	53,180	5.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,376	6.7	11.0	5.6
減価償却費	144,167	15.6	9.0	11.1
経費	269,772	29.2	23.3	31.9
(うち委託料)	81,027	8.8	11.5	13.0
研究研修費	4,138			
資産減耗費	634			
(2) 医業外費用	52,001			
(うち支払利息)	19,724	2.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	12			
損益				
経常損益	-34,669			
純損益	-28,399			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.5		97.7	97.4
医業収支比率	69.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	28.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	41.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	27.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	70.2		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,612,310
1 固定資産	1,799,017
(1) 有形固定資産	1,587,898
(2) 無形固定資産	3,703
(3) 投資その他の資産	207,416
2 流動資産	813,293
(1) 現金及び預金	697,178
(2) 未収金及び未収収益	107,725
(3) 貸倒引当金()	594
(4) 貯蔵品	8,984
3 繰延資産	-
負債合計	1,803,833
1 固定負債	1,215,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,072,303
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	143,511
(7) リース債務	-
2 流動負債	286,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	190,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,143
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,480
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	301,625
(1) 長期前受金	1,868,704
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,567,079
資本合計	808,477
1 資本金	327,193
2 剰余金	481,284
(1) 資本金剰余金	57,903
(2) 利益剰余金	423,381
負債・資本合計	2,612,310
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	358,116	377,816
資本勘定繰入	93,291	93,291
計	451,407	471,107

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	森町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,894 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	55.2	71.2	72.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	55.2	71.2	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		24.3	25.6	25.7

設立団体の状況		
人口(人)	15,946	
決算規模(千円)	12,488,110	
標準財政規模(千円)	6,161,110	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	50.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.0
修正医業収益(千円)	608,817

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	990,927			
1 経常収益	990,927			
(1) 医業収益	645,111			
入院収益	375,496			
外来収益	200,354			
診療収入計	575,850			
その他医業収益	69,261			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	345,816			
(うち国・都道府県補助金)	3,109			
(うち他会計補助・負担金)	330,187			
(うち長期前受金戻入)	5,153			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	967,819			
2 経常費用	967,819			
(1) 医業費用	950,655			
職員給与費	619,815	96.1	55.7	72.6
材料費	92,046	14.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	49,617	7.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,256	4.7	11.0	5.6
減価償却費	44,329	6.9	9.0	11.1
経費	192,166	29.8	23.3	31.9
(うち委託料)	50,784	7.9	11.5	13.0
研究研修費	1,810			
資産減耗費	489			
(2) 医業外費用	17,164			
(うち支払利息)	16,390	2.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	23,108			
純損益	23,108			
累積欠損金	1,594,657			
経常収支比率	102.4		97.7	97.4
医業収支比率	67.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	37.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	56.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	37.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	64.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,187,543
1 固定資産	825,357
(1) 有形固定資産	825,048
(2) 無形固定資産	309
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	362,186
(1) 現金及び預金	248,726
(2) 未収金及び未収収益	121,526
(3) 貸倒引当金()	18,185
(4) 貯蔵品	10,119
3 繰延資産	-
負債合計	643,449
1 固定負債	393,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	387,596
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,615
2 流動負債	193,544
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	109,950
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	43,202
(6) リース債務	2,250
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,326
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	56,694
(1) 長期前受金	179,316
(2) 長期前受金収益化累計額()	122,622
資本合計	544,094
1 資本金	2,138,361
2 剰余金	-1,594,267
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,594,267
負債・資本合計	1,187,543
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	274,645	366,481
資本勘定繰入	72,761	72,761
計	347,406	439,242

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	247.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	八雲町
	病院名	八雲総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,850 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	183	73.0	71.3	71.9
療養	40	89.8	90.6	89.1
結核	-	-	-	-
精神	100	88.8	89.3	93.8
感染症	4	3.2	-	-
計	327	79.0	78.1	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	17,252	
決算規模(千円)	16,864,749	
標準財政規模(千円)	7,759,176	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.7
修正医業収益(千円)	4,068,410

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,163,067			
1 経常収益	4,611,489			
(1) 医業収益	4,167,462			
入院収益	2,762,577			
外来収益	1,173,844			
診療収入計	3,936,421			
その他医業収益	231,041			
(うち他会計負担金)	99,052			
(2) 医業外収益	444,027			
(うち国・都道府県補助金)	46,339			
(うち他会計補助・負担金)	323,284			
(うち長期前受金戻入)	46,664			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	551,578			
(うち他会計繰入金)	469,132			
総費用	5,449,005			
2 経常費用	5,431,500			
(1) 医業費用	5,234,623			
職員給与費	3,178,243	76.3	55.7	57.0
材料費	814,976	19.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	399,259	9.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	363,201	8.7	11.0	11.3
減価償却費	391,435	9.4	9.0	9.3
経費	839,667	20.1	23.3	22.1
(うち委託料)	175,224	4.2	11.5	11.1
研究研修費	8,959			
資産減耗費	1,343			
(2) 医業外費用	196,877			
(うち支払利息)	30,704	0.7	1.4	1.4
(3) 特別損失	17,505			
損益				
経常損益	-820,011			
純損益	-285,938			
累積欠損金	6,904,271			
経常収支比率	84.9		97.7	96.4
医業収支比率	79.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	77.1		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,939,092
1 固定資産	7,024,679
(1) 有形固定資産	6,883,552
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	139,370
2 流動資産	1,914,413
(1) 現金及び預金	1,047,715
(2) 未収金及び未収収益	828,197
(3) 貸倒引当金()	3,108
(4) 貯蔵品	41,609
3 繰延資産	-
負債合計	9,792,394
1 固定負債	7,107,167
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,671,885
(2) その他の企業債	912,099
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	520,183
(7) リース債務	-
2 流動負債	969,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	326,931
(2) その他の企業債	100,452
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	187,248
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	317,839
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,716,015
(1) 長期前受金	2,170,412
(2) 長期前受金収益化累計額()	454,397
資本合計	-853,302
1 資本金	6,292,202
2 剰余金	-7,145,504
(1) 資本金剰余金	378,919
(2) 利益剰余金	-7,524,423
負債・資本合計	8,939,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	853,302
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	422,336	891,468
資本勘定繰入	148,024	381,468
計	570,360	1,272,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	152.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	八雲町
				病院名	八雲町熊石国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,026 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	6	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	56.1	50.8	51.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	56.1	50.8	51.5
平均在院日数(一般病床のみ)		55.7	52.6	50.5

設立団体の状況		
人口(人)	17,252	
決算規模(千円)	16,864,749	
標準財政規模(千円)	7,759,176	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	901,001			
1 経常収益	811,234			
(1) 医業収益	774,963			
入院収益	397,694			
外来収益	310,120			
診療収入計	707,814			
その他医業収益	67,149			
(うち他会計負担金)	49,004			
(2) 医業外収益	36,271			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	20,094			
(うち長期前受金戻入)	10,719			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	89,767			
(うち他会計繰入金)	85,640			
総費用	942,596			
2 経常費用	941,945			
(1) 医業費用	902,447			
職員給与費	451,707	58.3	55.7	72.6
材料費	268,709	34.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	236,319	30.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,390	4.2	11.0	5.6
減価償却費	41,850	5.4	9.0	11.1
経費	138,720	17.9	23.3	31.9
(うち委託料)	68,765	8.9	11.5	13.0
研究研修費	955			
資産減耗費	506			
(2) 医業外費用	39,498			
(うち支払利息)	3,372	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	651			
損益				
経常損益	-130,711			
純損益	-41,595			
累積欠損金	620,152			
経常収支比率	86.1		97.7	97.4
医業収支比率	85.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	78.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,939,092
1 固定資産	7,024,679
(1) 有形固定資産	6,883,552
(2) 無形固定資産	1,757
(3) 投資その他の資産	139,370
2 流動資産	1,914,413
(1) 現金及び預金	1,047,715
(2) 未収金及び未収収益	828,197
(3) 貸倒引当金()	3,108
(4) 貯蔵品	41,609
3 繰延資産	-
負債合計	9,792,394
1 固定負債	7,107,167
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,671,885
(2) その他の企業債	912,099
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	520,183
(7) リース債務	-
2 流動負債	969,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	326,931
(2) その他の企業債	100,452
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	187,248
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	317,839
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,716,015
(1) 長期前受金	2,170,412
(2) 長期前受金収益化累計額()	454,397
資本合計	-853,302
1 資本金	6,292,202
2 剰余金	-7,145,504
(1) 資本金剰余金	378,919
(2) 利益剰余金	-7,524,423
負債・資本合計	8,939,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	853,302
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収益(千円)	725,959

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	67,625	154,738
資本勘定繰入	26,880	28,735
計	94,505	183,473

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	152.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	長万部町
				病院名	町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,669 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	45.4	50.4	45.9
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	25.2	28.0	25.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	20.8	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,926	
決算規模(千円)	5,288,222	
標準財政規模(千円)	2,950,445	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	53.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	555,946			
1 経常収益	555,946			
(1) 医業収益	280,108			
入院収益	103,419			
外来収益	111,481			
診療収入計	214,900			
その他医業収益	65,208			
(うち他会計負担金)	36,187			
(2) 医業外収益	275,838			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	271,312			
(うち長期前受金戻入)	1,340			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	636,737			
2 経常費用	617,932			
(1) 医業費用	616,763			
職員給与費	402,021	143.5	55.7	72.6
材料費	39,394	14.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	27,027	9.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,367	4.4	11.0	5.6
減価償却費	29,270	10.4	9.0	11.1
経費	144,442	51.6	23.3	31.9
(うち委託料)	76,281	27.2	11.5	13.0
研究研修費	1,483			
資産減耗費	153			
(2) 医業外費用	1,169			
(うち支払利息)	323	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	18,805			
損益				
経常損益	-61,986			
純損益	-80,791			
累積欠損金	496,240			
経常収支比率	90.0		97.7	97.4
医業収支比率	45.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	55.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	109.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	55.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	40.2		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	569,056
1 固定資産	514,404
(1) 有形固定資産	513,601
(2) 無形固定資産	803
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	54,652
(1) 現金及び預金	9,381
(2) 未収金及び未収収益	36,553
(3) 貸倒引当金()	23
(4) 貯蔵品	8,741
3 繰延資産	-
負債合計	112,054
1 固定負債	52,849
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,498
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,351
2 流動負債	54,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,656
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,638
(6) リース債務	1,794
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,799
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,652
(1) 長期前受金	59,988
(2) 長期前受金収益化累計額()	55,336
資本合計	457,002
1 資本金	942,843
2 剰余金	-485,841
(1) 資本金剰余金	10,399
(2) 利益剰余金	-496,240
負債・資本合計	569,056
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	39.5
修正医業収益(千円)	243,921

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	307,499	307,499
資本勘定繰入	2,501	2,501
計	310,000	310,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	177.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	厚沢部町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,455 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	46.3	45.9	51.6
療養	24	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	69	30.2	29.9	33.7
平均在院日数(一般病床のみ)		34.6	31.3	32.1

設立団体の状況		
人口(人)	4,049	
決算規模(千円)	4,418,004	
標準財政規模(千円)	2,762,355	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	78.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	478,007			
1 経常収益	478,007			
(1) 医業収益	268,225			
入院収益	129,792			
外来収益	74,149			
診療収入計	203,941			
その他医業収益	64,284			
(うち他会計負担金)	40,338			
(2) 医業外収益	209,782			
(うち国・都道府県補助金)	1,108			
(うち他会計補助・負担金)	191,162			
(うち長期前受金戻入)	15,893			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	477,973			
2 経常費用	477,973			
(1) 医業費用	477,066			
職員給与費	331,115	123.4	55.7	72.6
材料費	27,749	10.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	10,949	4.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,800	6.3	11.0	5.6
減価償却費	22,517	8.4	9.0	11.1
経費	94,737	35.3	23.3	31.9
(うち委託料)	58,082	21.7	11.5	13.0
研究研修費	830			
資産減耗費	118			
(2) 医業外費用	907			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	34			
純損益	34			
累積欠損金	346,306			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	56.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	48.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	86.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	48.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	51.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	553,724
1 固定資産	347,777
(1) 有形固定資産	347,662
(2) 無形固定資産	115
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	205,947
(1) 現金及び預金	30,656
(2) 未収金及び未収収益	169,111
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,180
3 繰延資産	-
負債合計	217,152
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	39,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,448
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	177,752
(1) 長期前受金	862,537
(2) 長期前受金収益化累計額()	684,785
資本合計	336,572
1 資本金	682,878
2 剰余金	-346,306
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-346,306
負債・資本合計	553,724
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.8
修正医業収益(千円)	227,887

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,500	231,500
資本勘定繰入	2,477	4,954
計	233,977	236,454

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	乙部町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,784 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	31.4	38.1	42.9
療養	10	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	62	26.3	32.0	36.0
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	28.5	35.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,906	
決算規模(千円)	4,323,148	
標準財政規模(千円)	2,313,562	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	69.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	405,951			
1 経常収益	404,825			
(1) 医業収益	247,180			
入院収益	123,842			
外来収益	71,739			
診療収入計	195,581			
その他医業収益	51,599			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	157,645			
(うち国・都道府県補助金)	2,105			
(うち他会計補助・負担金)	129,181			
(うち長期前受金戻入)	10,223			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,126			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	450,482			
2 経常費用	450,482			
(1) 医業費用	432,437			
職員給与費	304,043	123.0	55.7	72.6
材料費	39,408	15.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	19,951	8.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,792	6.0	11.0	5.6
減価償却費	22,285	9.0	9.0	11.1
経費	61,292	24.8	23.3	31.9
(うち委託料)	18,706	7.6	11.5	13.0
研究研修費	4,809			
資産減耗費	600			
(2) 医業外費用	18,045			
(うち支払利息)	1,141	0.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-45,657			
純損益	-44,531			
累積欠損金	195,340			
経常収支比率	89.9		97.7	97.4
医業収支比率	57.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	40.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	66.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	40.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	53.1		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	594,800
1 固定資産	338,517
(1) 有形固定資産	330,148
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	8,369
2 流動資産	256,283
(1) 現金及び預金	180,945
(2) 未収金及び未収収益	71,503
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,835
3 繰延資産	-
負債合計	289,514
1 固定負債	161,395
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	148,210
(2) その他の企業債	11,624
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,561
2 流動負債	70,790
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,990
(2) その他の企業債	11,177
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,543
(6) リース債務	978
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,102
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	57,329
(1) 長期前受金	145,020
(2) 長期前受金収益化累計額()	87,691
資本合計	305,286
1 資本金	500,626
2 剰余金	-195,340
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-195,340
負債・資本合計	594,800
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.8
修正医業収益(千円)	210,886

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,475	165,475
資本勘定繰入	19,485	30,129
計	184,960	195,604

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	奥尻町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,236 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	22	72.8	57.9	73.9
療養	32	47.4	62.2	60.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	57.8	60.4	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	18.2	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,690	
決算規模(千円)	3,860,700	
標準財政規模(千円)	2,301,579	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	20.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.0
修正医業収益(千円)	452,855

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	738,641			
1 経常収益	738,641			
(1) 医業収益	481,936			
入院収益	178,290			
外来収益	254,830			
診療収入計	433,120			
その他医業収益	48,816			
(うち他会計負担金)	29,081			
(2) 医業外収益	256,705			
(うち国・都道府県補助金)	2,844			
(うち他会計補助・負担金)	241,176			
(うち長期前受金戻入)	4,833			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	798,569			
2 経常費用	797,569			
(1) 医業費用	767,340			
職員給与費	367,537	76.3	55.7	72.6
材料費	159,467	33.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	127,312	26.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,344	5.1	11.0	5.6
減価償却費	38,220	7.9	9.0	11.1
経費	199,554	41.4	23.3	31.9
(うち委託料)	64,460	13.4	11.5	13.0
研究研修費	2,063			
資産減耗費	499			
(2) 医業外費用	30,229			
(うち支払利息)	1,504	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,000			
損益				
経常損益	-58,928			
純損益	-59,928			
累積欠損金	586,136			
経常収支比率	92.6		97.7	97.4
医業収支比率	62.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	36.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	56.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	36.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	58.7		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	404,266
1 固定資産	273,479
(1) 有形固定資産	253,417
(2) 無形固定資産	262
(3) 投資その他の資産	19,800
2 流動資産	130,787
(1) 現金及び預金	84,784
(2) 未収金及び未収収益	36,013
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,990
3 繰延資産	-
負債合計	134,358
1 固定負債	20,450
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,495
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,955
2 流動負債	96,650
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,528
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,477
(6) リース債務	12,289
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,390
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,258
(1) 長期前受金	261,200
(2) 長期前受金収益化累計額()	243,942
資本合計	269,908
1 資本金	856,044
2 剰余金	-586,136
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-586,136
負債・資本合計	404,266
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	270,257	270,257
資本勘定繰入	12,729	12,729
計	282,986	282,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	121.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	今金町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	4,003 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	33	51.3	41.8	41.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	33	51.3	41.8	41.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	17.5	21.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,628	
決算規模(千円)	6,119,471	
標準財政規模(千円)	3,311,675	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	44.2
修正医業収益(千円)	301,573

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	694,801			
1 経常収益	694,801			
(1) 医業収益	390,206			
入院収益	160,410			
外来収益	112,619			
診療収入計	273,029			
その他医業収益	117,177			
(うち他会計負担金)	88,633			
(2) 医業外収益	304,595			
(うち国・都道府県補助金)	4,635			
(うち他会計補助・負担金)	293,730			
(うち長期前受金戻入)	3,030			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	694,698			
2 経常費用	694,665			
(1) 医業費用	682,378			
職員給与費	376,475	96.5	55.7	80.8
材料費	53,485	13.7	24.7	13.8
(うち薬品費)	30,735	7.9	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,191	5.7	11.0	4.9
減価償却費	38,667	9.9	9.0	12.9
経費	210,694	54.0	23.3	47.4
(うち委託料)	93,875	24.1	11.5	20.7
研究研修費	2,900			
資産減耗費	157			
(2) 医業外費用	12,287			
(うち支払利息)	633	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	33			
損益				
経常損益	136			
純損益	103			
累積欠損金	10,905			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	57.2		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	55.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	98.0		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	55.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	45.0		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	966,826
1 固定資産	543,354
(1) 有形固定資産	536,863
(2) 無形固定資産	251
(3) 投資その他の資産	6,240
2 流動資産	423,472
(1) 現金及び預金	52,928
(2) 未収金及び未収収益	366,174
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,563
3 繰延資産	-
負債合計	122,825
1 固定負債	35,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,773
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,906
2 流動負債	59,603
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,906
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,638
(6) リース債務	2,744
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,188
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	27,543
(1) 長期前受金	117,427
(2) 長期前受金収益化累計額()	89,884
資本合計	844,001
1 資本金	760,290
2 剰余金	83,711
(1) 資本剰余金	29,922
(2) 利益剰余金	53,789
負債・資本合計	966,826
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	382,363	382,363
資本勘定繰入	-	-
計	382,363	382,363

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	せたな町
				病院名	せたな町立国保病院(病院事業分)
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,331 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	51.9	49.3	59.5
療養	37	-	-	26.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	32.1	30.5	51.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	16.2	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	8,473	
決算規模(千円)	9,011,321	
標準財政規模(千円)	5,553,477	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.5
修正医業収益(千円)	775,708

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,321,621			
1 経常収益	1,321,621			
(1) 医業収益	839,411			
入院収益	311,496			
外来収益	399,231			
診療収入計	710,727			
その他医業収益	128,684			
(うち他会計負担金)	63,703			
(2) 医業外収益	482,210			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	453,543			
(うち長期前受金戻入)	23,991			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,316,009			
2 経常費用	1,304,813			
(1) 医業費用	1,303,378			
職員給与費	776,298	92.5	55.7	72.6
材料費	153,480	18.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	112,241	13.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,239	4.9	11.0	5.6
減価償却費	81,922	9.8	9.0	11.1
経費	281,854	33.6	23.3	31.9
(うち委託料)	150,957	18.0	11.5	13.0
研究研修費	2,271			
資産減耗費	7,553			
(2) 医業外費用	1,435			
(うち支払利息)	245	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	11,196			
損益				
経常損益	16,808			
純損益	5,612			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		97.7	97.4
医業収支比率	64.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	39.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	61.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	39.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	61.6		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,911,787
1 固定資産	964,340
(1) 有形固定資産	943,168
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	21,172
2 流動資産	947,447
(1) 現金及び預金	793,941
(2) 未収金及び未収収益	147,936
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,570
3 繰延資産	-
負債合計	308,437
1 固定負債	79,594
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	79,594
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	100,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,180
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,249
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,969
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	128,132
(1) 長期前受金	353,507
(2) 長期前受金収益化累計額()	225,375
資本合計	1,603,350
1 資本金	1,584,640
2 剰余金	18,710
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	18,710
負債・資本合計	1,911,787
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	493,196	517,246
資本勘定繰入	12,984	17,401
計	506,180	534,647

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	黒松内町
		病院名	黒松内町国民健康保険病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	41.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	41.0
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,082	
決算規模(千円)	4,291,159	
標準財政規模(千円)	2,322,327	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	83.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	55.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	497			
1 経常収益	497			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	497			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	497			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	497			
2 経常費用	497			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	497			
(うち支払利息)	497	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	497
資本勘定繰入	-	5,743
計	-	6,240

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	南幌町
	病院名	国保町立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,043 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	26	54.4	47.2	66.1
療養	54	29.4	30.6	43.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	37.5	36.0	50.7
平均在院日数(一般病床のみ)		28.6	26.5	33.8

設立団体の状況		
人口(人)	7,927	
決算規模(千円)	6,060,825	
標準財政規模(千円)	3,113,861	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	70.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	557,819			
1 経常収益	557,819			
(1) 医業収益	299,297			
入院収益	161,347			
外来収益	82,393			
診療収入計	243,740			
その他医業収益	55,557			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	258,522			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	247,187			
(うち長期前受金戻入)	7,277			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	614,109			
2 経常費用	613,120			
(1) 医業費用	599,090			
職員給与費	321,632	107.5	55.7	72.6
材料費	29,417	9.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	16,746	5.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,620	3.5	11.0	5.6
減価償却費	37,894	12.7	9.0	11.1
経費	208,778	69.8	23.3	31.9
(うち委託料)	62,974	21.0	11.5	13.0
研究研修費	992			
資産減耗費	377			
(2) 医業外費用	14,030			
(うち支払利息)	34	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	989			
損益				
経常損益	-55,301			
純損益	-56,290			
累積欠損金	884,098			
経常収支比率	91.0		97.7	97.4
医業収支比率	50.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	50.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	94.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	50.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	44.7		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	674,929
1 固定資産	580,410
(1) 有形固定資産	580,257
(2) 無形固定資産	153
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	94,519
(1) 現金及び預金	53,888
(2) 未収金及び未収収益	38,881
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,750
3 繰延資産	-
負債合計	401,504
1 固定負債	182,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	182,332
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	84,979
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,421
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,099
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	26,037
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,193
(1) 長期前受金	537,764
(2) 長期前受金収益化累計額()	403,571
資本合計	273,425
1 資本金	1,157,523
2 剰余金	-884,098
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-884,098
負債・資本合計	674,929
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	43.9
修正医業収益(千円)	263,003

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	283,481	283,481
資本勘定繰入	10,209	10,209
計	293,690	293,690

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	295.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	奈井江町
				病院名	奈井江町立国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,489 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	77.0
療養	50	81.1	88.5	91.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	81.1	88.5	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	38.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,674	
決算規模(千円)	4,567,334	
標準財政規模(千円)	2,964,154	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.8
	将来負担比率(%)	56.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.5
修正医業収益(千円)	555,938

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	948,708			
1 経常収益	948,708			
(1) 医業収益	605,760			
入院収益	248,400			
外来収益	278,770			
診療収入計	527,170			
その他医業収益	78,590			
(うち他会計負担金)	49,822			
(2) 医業外収益	342,948			
(うち国・都道府県補助金)	7,865			
(うち他会計補助・負担金)	195,957			
(うち長期前受金戻入)	85,705			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,048,526			
2 経常費用	1,048,526			
(1) 医業費用	950,120			
職員給与費	447,371	73.9	55.7	72.6
材料費	155,287	25.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	122,111	20.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,267	5.0	11.0	5.6
減価償却費	86,315	14.2	9.0	11.1
経費	255,842	42.2	23.3	31.9
(うち委託料)	86,203	14.2	11.5	13.0
研究研修費	2,503			
資産減耗費	2,802			
(2) 医業外費用	98,406			
(うち支払利息)	19,563	3.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-99,818			
純損益	-99,818			
累積欠損金	-			
経常収支比率	90.5		97.7	97.4
医業収支比率	63.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	25.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	40.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	25.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	67.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,654,153
1 固定資産	1,489,704
(1) 有形固定資産	1,489,534
(2) 無形固定資産	170
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	164,449
(1) 現金及び預金	32,271
(2) 未収金及び未収収益	118,534
(3) 貸倒引当金()	39
(4) 貯蔵品	13,476
3 繰延資産	-
負債合計	1,385,285
1 固定負債	443,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	443,158
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	315,408
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,177
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	35,522
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	22,680
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	626,719
(1) 長期前受金	1,745,685
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,118,966
資本合計	268,868
1 資本金	49,265
2 剰余金	219,603
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	219,603
負債・資本合計	1,654,153
不良債務	37,782
実質資金不足額	37,782
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,789	245,779
資本勘定繰入	74,016	120,804
計	305,805	366,583

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	37,782	6.2
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	37,782
健全化法上の資金不足比率(%)	6.2
地財法上の資金不足額(千円)	37,782
地財法上の資金不足比率(%)	6.2

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	由仁町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	52.4
療養	-	-	-	35.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	39.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	27.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,314	
決算規模(千円)	5,080,101	
標準財政規模(千円)	3,149,678	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.8
	将来負担比率(%)	129.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	135			
1 経常収益	135			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	135			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	135			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	135			
2 経常費用	135			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	135			
(うち支払利息)	135	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	84	135
資本勘定繰入	2,677	5,200
計	2,761	5,335

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	長沼町
				病院名	町立長沼病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,099 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	84	63.0	79.6	50.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	63.0	79.6	50.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	21.3	30.4

設立団体の状況		
人口(人)	11,076	
決算規模(千円)	8,360,002	
標準財政規模(千円)	4,528,968	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	76.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.2
修正医業収益(千円)	687,803

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,044,856			
1 経常収益	1,044,856			
(1) 医業収益	727,491			
入院収益	384,036			
外来収益	186,506			
診療収入計	570,542			
その他医業収益	156,949			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	317,365			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	292,748			
(うち長期前受金戻入)	22,536			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,059,179			
2 経常費用	1,059,179			
(1) 医業費用	1,023,856			
職員給与費	558,363	76.8	55.7	72.6
材料費	94,954	13.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	53,949	7.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,005	5.6	11.0	5.6
減価償却費	38,008	5.2	9.0	11.1
経費	331,674	45.6	23.3	31.9
(うち委託料)	197,626	27.2	11.5	13.0
研究研修費	662			
資産減耗費	195			
(2) 医業外費用	35,323			
(うち支払利息)	3,016	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-14,323			
純損益	-14,323			
累積欠損金	1,458,509			
経常収支比率	98.6		97.7	97.4
医業収支比率	71.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	31.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	45.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	31.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	67.3		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,240,078
1 固定資産	887,021
(1) 有形固定資産	886,632
(2) 無形固定資産	389
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	353,057
(1) 現金及び預金	48,055
(2) 未収金及び未収収益	298,181
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,821
3 繰延資産	-
負債合計	836,955
1 固定負債	161,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,299
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	379,003
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,666
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,454
(6) リース債務	804
(7) 一時借入金	260,000
(8) 未払金及び未払費用	50,282
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	296,653
(1) 長期前受金	355,981
(2) 長期前受金収益化累計額()	59,328
資本合計	403,123
1 資本金	1,602,181
2 剰余金	-1,199,058
(1) 資本剰余金	246,051
(2) 利益剰余金	-1,445,109
負債・資本合計	1,240,078
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	331,598	332,436
資本勘定繰入	8,067	14,270
計	339,665	346,706

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	200.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	月形町
				病院名	国保月形町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,759 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	6	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	67.5	49.7	68.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	67.5	49.7	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		43.2	30.3	42.6

設立団体の状況		
人口(人)	4,577	
決算規模(千円)	4,815,490	
標準財政規模(千円)	2,368,942	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	72.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.4
修正医業収益(千円)	324,896

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	565,192			
1 経常収益	565,192			
(1) 医業収益	359,493			
入院収益	227,053			
外来収益	83,364			
診療収入計	310,417			
その他医業収益	49,076			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	205,699			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	197,153			
(うち長期前受金戻入)	4,334			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	558,809			
2 経常費用	558,809			
(1) 医業費用	538,179			
職員給与費	299,792	83.4	55.7	80.8
材料費	51,459	14.3	24.7	13.8
(うち薬品費)	35,675	9.9	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,784	4.4	11.0	4.9
減価償却費	30,575	8.5	9.0	12.9
経費	155,361	43.2	23.3	47.4
(うち委託料)	22,588	6.3	11.5	20.7
研究研修費	479			
資産減耗費	513			
(2) 医業外費用	20,630			
(うち支払利息)	5,284	1.5	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,383			
純損益	6,383			
累積欠損金	783,755			
経常収支比率	101.1		97.7	96.7
医業収支比率	66.8		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	64.5		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	41.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	59.7		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	751,147
1 固定資産	605,969
(1) 有形固定資産	605,969
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	145,178
(1) 現金及び預金	39,444
(2) 未収金及び未収収益	102,829
(3) 貸倒引当金()	50
(4) 貯蔵品	2,760
3 繰延資産	-
負債合計	373,076
1 固定負債	194,211
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	194,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	85,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,293
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	15,160
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,894
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	93,462
(1) 長期前受金	176,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	82,918
資本合計	378,071
1 資本金	1,133,042
2 剰余金	-754,971
(1) 資本剰余金	28,784
(2) 利益剰余金	-783,755
負債・資本合計	751,147
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,750	231,750
資本勘定繰入	34,395	34,395
計	266,145	266,145

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	218.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	美瑛町
				病院名	町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,059 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	56	48.8	58.4	61.1
療養	42	46.8	49.0	47.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	48.0	54.4	55.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	15.9	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	10,292	
決算規模(千円)	11,298,221	
標準財政規模(千円)	6,010,442	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	77.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.1
修正医業収益(千円)	633,789

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,170,681			
1 経常収益	1,164,861			
(1) 医業収益	724,726			
入院収益	371,452			
外来収益	241,458			
診療収入計	612,910			
その他医業収益	111,816			
(うち他会計負担金)	90,937			
(2) 医業外収益	440,135			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	389,063			
(うち長期前受金戻入)	47,546			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,820			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,176,872			
2 経常費用	1,176,865			
(1) 医業費用	1,129,771			
職員給与費	595,991	82.2	55.7	72.6
材料費	63,736	8.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	31,329	4.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,440	4.2	11.0	5.6
減価償却費	137,341	19.0	9.0	11.1
経費	331,233	45.7	23.3	31.9
(うち委託料)	170,050	23.5	11.5	13.0
研究研修費	923			
資産減耗費	547			
(2) 医業外費用	47,094			
(うち支払利息)	21,439	3.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	7			
損益				
経常損益	-12,004			
純損益	-6,191			
累積欠損金	160,422			
経常収支比率	99.0		97.7	97.4
医業収支比率	64.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	41.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	66.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	41.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	58.2		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,971,124
1 固定資産	1,766,657
(1) 有形固定資産	1,766,366
(2) 無形固定資産	291
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	204,467
(1) 現金及び預金	103,215
(2) 未収金及び未収収益	94,440
(3) 貸倒引当金()	1
(4) 貯蔵品	6,813
3 繰延資産	-
負債合計	1,560,516
1 固定負債	748,278
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	748,278
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	191,281
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,552
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,406
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	620,957
(1) 長期前受金	1,336,341
(2) 長期前受金収益化累計額()	715,384
資本合計	410,608
1 資本金	560,453
2 剰余金	-149,845
(1) 資本金剰余金	4,697
(2) 利益剰余金	-154,542
負債・資本合計	1,971,124
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	422,763	480,000
資本勘定繰入	-	-
計	422,763	480,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	上富良野町
				病院名	上富良野町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,708 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	44	44.7	42.5	45.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	44.7	42.5	45.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	16.4	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	10,826	
決算規模(千円)	7,161,380	
標準財政規模(千円)	4,195,642	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	40.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.6
修正医業収益(千円)	415,878

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	829,587			
1 経常収益	829,587			
(1) 医業収益	537,028			
入院収益	193,107			
外来収益	190,892			
診療収入計	383,999			
その他医業収益	153,029			
(うち他会計負担金)	121,150			
(2) 医業外収益	292,559			
(うち国・都道府県補助金)	428			
(うち他会計補助・負担金)	133,139			
(うち長期前受金戻入)	25,383			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	893,873			
2 経常費用	893,858			
(1) 医業費用	748,258			
職員給与費	363,999	67.8	55.7	80.8
材料費	75,422	14.0	24.7	13.8
(うち薬品費)	44,452	8.3	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,702	5.5	11.0	4.9
減価償却費	37,904	7.1	9.0	12.9
経費	269,618	50.2	23.3	47.4
(うち委託料)	73,190	13.6	11.5	20.7
研究研修費	789			
資産減耗費	526			
(2) 医業外費用	145,600			
(うち支払利息)	558	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	15			
損益				
経常損益	-64,271			
純損益	-64,286			
累積欠損金	1,016,533			
経常収支比率	92.8		97.7	96.7
医業収支比率	71.8		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	30.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	47.4		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	30.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	64.4		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	710,877
1 固定資産	417,263
(1) 有形固定資産	413,954
(2) 無形固定資産	1,009
(3) 投資その他の資産	2,300
2 流動資産	293,614
(1) 現金及び預金	200,159
(2) 未収金及び未収収益	88,380
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,075
3 繰延資産	-
負債合計	262,194
1 固定負債	32,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,711
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	79,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,421
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,740
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	149,736
(1) 長期前受金	546,614
(2) 長期前受金収益化累計額()	396,878
資本合計	448,683
1 資本金	1,426,796
2 剰余金	-978,113
(1) 資本剰余金	18,659
(2) 利益剰余金	-996,772
負債・資本合計	710,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,417	254,289
資本勘定繰入	3,543	8,533
計	218,960	262,822

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	189.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	中富良野町
				病院名	町立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,998 m ²	指定病院の状況			
診療科数	2	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	35	23.6	32.4	37.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	23.6	32.4	37.8
平均在院日数(一般病床のみ)		27.7	28.3	38.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,069	
決算規模(千円)	4,793,466	
標準財政規模(千円)	2,639,169	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	79.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.6
修正医業収益(千円)	201,163

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	458,813			
1 経常収益	458,813			
(1) 医業収益	208,777			
入院収益	62,078			
外来収益	106,319			
診療収入計	168,397			
その他医業収益	40,380			
(うち他会計負担金)	7,614			
(2) 医業外収益	250,036			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	234,334			
(うち長期前受金戻入)	14,467			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	452,847			
2 経常費用	452,847			
(1) 医業費用	441,362			
職員給与費	246,044	117.9	55.7	80.8
材料費	65,131	31.2	24.7	13.8
(うち薬品費)	53,132	25.4	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,711	5.6	11.0	4.9
減価償却費	30,204	14.5	9.0	12.9
経費	89,988	43.1	23.3	47.4
(うち委託料)	46,857	22.4	11.5	20.7
研究研修費	9,873			
資産減耗費	122			
(2) 医業外費用	11,485			
(うち支払利息)	247	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	5,966			
純損益	5,966			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		97.7	96.7
医業収支比率	47.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	52.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	115.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	52.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	47.9		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	875,657
1 固定資産	322,251
(1) 有形固定資産	322,251
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	553,406
(1) 現金及び預金	524,709
(2) 未収金及び未収収益	25,505
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,192
3 繰延資産	-
負債合計	122,529
1 固定負債	6,063
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	6,063
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	41,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	815
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,270
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,770
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	74,611
(1) 長期前受金	284,325
(2) 長期前受金収益化累計額()	209,714
資本合計	753,128
1 資本金	686,758
2 剰余金	66,370
(1) 資本剰余金	14,029
(2) 利益剰余金	52,341
負債・資本合計	875,657
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	241,865	241,948
資本勘定繰入	2,672	4,009
計	244,537	245,957

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	和寒町
				病院名	国保町立和寒病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,347 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	16.5	25.3	31.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	16.5	25.3	31.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	14.2	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,596	
決算規模(千円)	4,366,865	
標準財政規模(千円)	2,672,065	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	76.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	35.8
修正医業収益(千円)	154,567

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	435,817			
1 経常収益	435,817			
(1) 医業収益	206,794			
入院収益	44,627			
外来収益	77,548			
診療収入計	122,175			
その他医業収益	84,619			
(うち他会計負担金)	52,227			
(2) 医業外収益	229,023			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	204,773			
(うち長期前受金戻入)	20,468			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	437,142			
2 経常費用	437,142			
(1) 医業費用	431,979			
職員給与費	235,074	113.7	55.7	80.8
材料費	22,958	11.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	10,014	4.8	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,944	6.3	11.0	4.9
減価償却費	43,440	21.0	9.0	12.9
経費	128,740	62.3	23.3	47.4
(うち委託料)	54,456	26.3	11.5	20.7
研究研修費	1,318			
資産減耗費	449			
(2) 医業外費用	5,163			
(うち支払利息)	2,011	1.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,325			
純損益	-1,325			
累積欠損金	110,818			
経常収支比率	99.7		97.7	96.7
医業収支比率	47.9		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	59.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	124.3		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	59.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	40.9		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,021,760
1 固定資産	685,739
(1) 有形固定資産	685,739
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	336,021
(1) 現金及び預金	321,322
(2) 未収金及び未収収益	12,793
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,906
3 繰延資産	-
負債合計	92,724
1 固定負債	31,294
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,294
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	40,962
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,965
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	12,227
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,770
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	20,468
(1) 長期前受金	20,468
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	929,036
1 資本金	749,801
2 剰余金	179,235
(1) 資本剰余金	290,053
(2) 利益剰余金	-110,818
負債・資本合計	1,021,760
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	257,000	257,000
資本勘定繰入	4,585	4,585
計	261,585	261,585

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	下川町
		病院名	下川病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,301 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	41	58.0	49.7	89.9
療養	-	-	-	40.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	41	58.0	49.7	54.6
平均在院日数(一般病床のみ)		30.2	32.8	27.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,547	
決算規模(千円)	4,983,375	
標準財政規模(千円)	2,965,629	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	35.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	50.7
修正医業収益(千円)	272,611

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	543,226			
1 経常収益	543,226			
(1) 医業収益	294,296			
入院収益	131,190			
外来収益	108,706			
診療収入計	239,896			
その他医業収益	54,400			
(うち他会計負担金)	21,685			
(2) 医業外収益	248,930			
(うち国・都道府県補助金)	3,414			
(うち他会計補助・負担金)	228,315			
(うち長期前受金戻入)	15,933			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	552,396			
2 経常費用	552,214			
(1) 医業費用	537,476			
職員給与費	355,133	120.7	55.7	80.8
材料費	31,413	10.7	24.7	13.8
(うち薬品費)	10,583	3.6	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,830	7.1	11.0	4.9
減価償却費	38,560	13.1	9.0	12.9
経費	110,934	37.7	23.3	47.4
(うち委託料)	61,518	20.9	11.5	20.7
研究研修費	1,260			
資産減耗費	176			
(2) 医業外費用	14,738			
(うち支払利息)	56	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	182			
損益				
経常損益	-8,988			
純損益	-9,170			
累積欠損金	402,678			
経常収支比率	98.4		97.7	96.7
医業収支比率	54.8		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	46.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	84.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	46.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	53.1		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	567,573
1 固定資産	469,348
(1) 有形固定資産	469,058
(2) 無形固定資産	290
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	94,491
(1) 現金及び預金	46,073
(2) 未収金及び未収収益	44,782
(3) 貸倒引当金()	270
(4) 貯蔵品	3,406
3 繰延資産	3,734
負債合計	146,167
1 固定負債	37,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,311
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	50,250
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,713
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,930
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,181
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	58,606
(1) 長期前受金	142,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	84,106
資本合計	421,406
1 資本金	746,935
2 剰余金	-325,529
(1) 資本金剰余金	77,149
(2) 利益剰余金	-402,678
負債・資本合計	567,573
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,026	250,000
資本勘定繰入	3,980	3,980
計	299,006	253,980

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道	
		市町村・組合名	遠別町	
		病院名	遠別町立国保病院	
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	2,547 m ²	指定病院の状況	救	
診療科数	4	看護配置	その他	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	16	52.0	61.3	56.1
療養	20	35.3	27.0	23.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	42.7	42.2	38.0
平均在院日数(一般病床のみ)		30.3	29.6	27.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,806	
決算規模(千円)	4,592,642	
標準財政規模(千円)	2,591,373	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	80.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	7.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	36.0
修正医業収益(千円)	135,320

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	400,743			
1 経常収益	400,743			
(1) 医業収益	145,038			
入院収益	56,723			
外来収益	62,014			
診療収入計	118,737			
その他医業収益	26,301			
(うち他会計負担金)	9,718			
(2) 医業外収益	255,705			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	249,903			
(うち長期前受金戻入)	2,172			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	389,542			
2 経常費用	389,542			
(1) 医業費用	375,756			
職員給与費	229,466	158.2	55.7	80.8
材料費	23,596	16.3	24.7	13.8
(うち薬品費)	8,132	5.6	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,473	8.6	11.0	4.9
減価償却費	14,309	9.9	9.0	12.9
経費	107,044	73.8	23.3	47.4
(うち委託料)	51,139	35.3	11.5	20.7
研究研修費	825			
資産減耗費	516			
(2) 医業外費用	13,786			
(うち支払利息)	355	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	11,201			
純損益	11,201			
累積欠損金	254,477			
経常収支比率	102.9		97.7	96.7
医業収支比率	38.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	64.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	179.0		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	64.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	36.2		85.7	64.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	328,525
1 固定資産	150,955
(1) 有形固定資産	150,955
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	177,270
(1) 現金及び預金	156,159
(2) 未収金及び未収収益	17,430
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,681
3 繰延資産	300
負債合計	41,753
1 固定負債	4,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,541
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,976
2 流動負債	29,699
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	759
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	8,972
(6) リース債務	2,248
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,420
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,537
(1) 長期前受金	46,893
(2) 長期前受金収益化累計額()	39,356
資本合計	286,772
1 資本金	349,716
2 剰余金	-62,944
(1) 資本金剰余金	191,223
(2) 利益剰余金	-254,167
負債・資本合計	328,525
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	256,746	259,621
資本勘定繰入	-	-
計	256,746	259,621

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	175.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道		
	市町村・組合名	天塩町		
	病院名	国保病院		
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	4,066 m ²	指定病院の状況	救	
診療科数	7	看護配置	15:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	81.7	84.9	88.8
療養	18	-	-	54.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	81.7	84.9	76.0
平均在院日数（一般病床のみ）		29.6	27.6	20.4

設立団体の状況		
人口（人）	3,243	
決算規模（千円）	4,441,342	
標準財政規模（千円）	2,943,282	
財政力指数	0.15	
経常収支比率（%）	85.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.0
	将来負担比率（%）	5.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	54.7
修正医業収益（千円）	371,896

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	704,158			
1 経常収益	704,158			
（1）医業収益	408,190			
入院収益	196,151			
外来収益	148,849			
診療収入計	345,000			
その他医業収益	63,190			
（うち他会計負担金）	36,294			
（2）医業外収益	295,968			
（うち国・都道府県補助金）	3,497			
（うち他会計補助・負担金）	222,330			
（うち長期前受金戻入）	66,631			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	704,158			
2 経常費用	703,051			
（1）医業費用	679,336			
職員給与費	380,971	93.3	55.7	80.8
材料費	65,191	16.0	24.7	13.8
（うち薬品費）	35,427	8.7	13.3	8.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	22,088	5.4	11.0	4.9
減価償却費	67,676	16.6	9.0	12.9
経費	162,590	39.8	23.3	47.4
（うち委託料）	60,154	14.7	11.5	20.7
研究研修費	1,958			
資産減耗費	950			
（2）医業外費用	23,715			
（うち支払利息）	20,048	4.9	1.4	1.3
（3）特別損失	1,107			
損益	1,107			
経常収支比率	100.2		97.7	96.7
医業収支比率	60.1		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	36.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	63.4		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	36.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	63.4		85.7	64.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,108,650
1 固定資産	1,008,092
（1）有形固定資産	1,007,826
（2）無形固定資産	266
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	100,558
（1）現金及び預金	33,851
（2）未収金及び未収収益	66,166
（3）貸倒引当金（ ）	899
（4）貯蔵品	1,439
3 繰延資産	-
負債合計	973,289
1 固定負債	332,413
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,734
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	5,252
（7）リース債務	9,427
2 流動負債	123,147
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,610
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	19,238
（6）リース債務	3,415
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	22,938
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	517,729
（1）長期前受金	1,543,462
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	1,025,733
資本合計	135,361
1 資本金	106,128
2 剰余金	29,233
（1）資本剰余金	119,347
（2）利益剰余金	-90,114
負債・資本合計	1,108,650
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	251,990	258,624
資本勘定繰入	54,877	84,226
計	306,867	342,850

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	22.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	猿払村
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,055 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	1	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	24	26.8	30.1	37.4
療養	4	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	28	23.0	25.8	32.1
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	33.3	34.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,684	
決算規模(千円)	5,163,194	
標準財政規模(千円)	2,677,493	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	2.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	37.5
修正医業収益(千円)	183,223

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	492,809			
1 経常収益	492,809			
(1) 医業収益	188,164			
入院収益	28,162			
外来収益	121,382			
診療収入計	149,544			
その他医業収益	38,620			
(うち他会計負担金)	4,941			
(2) 医業外収益	304,645			
(うち国・都道府県補助金)	728			
(うち他会計補助・負担金)	299,930			
(うち長期前受金戻入)	2,804			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	492,811			
2 経常費用	492,811			
(1) 医業費用	488,843			
職員給与費	254,232	135.1	55.7	80.8
材料費	93,890	49.9	24.7	13.8
(うち薬品費)	65,982	35.1	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,985	13.3	11.0	4.9
減価償却費	33,506	17.8	9.0	12.9
経費	105,938	56.3	23.3	47.4
(うち委託料)	38,280	20.3	11.5	20.7
研究研修費	971			
資産減耗費	306			
(2) 医業外費用	3,968			
(うち支払利息)	1,025	0.5	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-2			
純損益	-2			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	38.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	61.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	162.0		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	61.9		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	38.1		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	534,817
1 固定資産	255,208
(1) 有形固定資産	253,277
(2) 無形固定資産	1,931
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	279,609
(1) 現金及び預金	24,998
(2) 未収金及び未収収益	249,521
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,090
3 繰延資産	-
負債合計	80,824
1 固定負債	30,161
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,161
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	30,121
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,291
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,137
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,693
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	20,542
(1) 長期前受金	76,261
(2) 長期前受金収益化累計額()	55,719
資本合計	453,993
1 資本金	453,895
2 剰余金	98
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	98
負債・資本合計	534,817
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	304,871	304,871
資本勘定繰入	6,955	-
計	311,826	304,871

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	浜頓別町
	病院名	国保病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,748 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	67.6	73.2	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	67.6	73.2	56.9
平均在院日数（一般病床のみ）		26.7	30.2	30.7

設立団体の状況		
人口（人）	3,881	
決算規模（千円）	4,360,374	
標準財政規模（千円）	2,856,518	
財政力指数	0.20	
経常収支比率（%）	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.6
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	56.7
修正医業収益（千円）	424,705

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	778,402			
1 経常収益	778,402			
(1) 医業収益	461,423			
入院収益	229,651			
外来収益	139,167			
診療収入計	368,818			
その他医業収益	92,605			
(うち他会計負担金)	36,718			
(2) 医業外収益	316,979			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	289,043			
(うち長期前受金戻入)	22,528			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	770,635			
2 経常費用	770,635			
(1) 医業費用	748,910			
職員給与費	387,756	84.0	55.7	80.8
材料費	60,871	13.2	24.7	13.8
(うち薬品費)	33,052	7.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,753	3.8	11.0	4.9
減価償却費	53,229	11.5	9.0	12.9
経費	240,100	52.0	23.3	47.4
(うち委託料)	89,973	19.5	11.5	20.7
研究研修費	4,871			
資産減耗費	2,083			
(2) 医業外費用	21,725			
(うち支払利息)	1,842	0.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	7,767			
純損益	7,767			
累積欠損金	47,980			
経常収支比率	101.0		97.7	96.7
医業収支比率	61.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	41.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	70.6		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	41.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	58.7		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,048,884
1 固定資産	433,882
(1) 有形固定資産	432,267
(2) 無形固定資産	615
(3) 投資その他の資産	1,000
2 流動資産	615,002
(1) 現金及び預金	547,632
(2) 未収金及び未収収益	59,837
(3) 貸倒引当金（ ）	56
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	176,499
1 固定負債	74,775
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,775
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	50,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,139
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,544
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,708
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	51,193
(1) 長期前受金	335,866
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	284,673
資本合計	872,385
1 資本金	920,365
2 剰余金	-47,980
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-47,980
負債・資本合計	1,048,884
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,761	325,761
資本勘定繰入	8,695	8,695
計	334,456	334,456

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	10.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道	
	市町村・組合名	中頓別町	
	病院名	国保病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,420 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	2	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	18.8	22.3	23.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	18.8	22.3	23.8
平均在院日数（一般病床のみ）		40.4	31.6	30.8

設立団体の状況		
人口（人）	1,757	
決算規模（千円）	3,992,978	
標準財政規模（千円）	2,103,512	
財政力指数	0.15	
経常収支比率（%）	60.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-1.4
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	31.8
修正医業収益（千円）	160,982

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	523,185			
1 経常収益	523,185			
(1) 医業収益	194,790			
入院収益	66,734			
外来収益	70,953			
診療収入計	137,687			
その他医業収益	57,103			
(うち他会計負担金)	33,808			
(2) 医業外収益	328,395			
(うち国・都道府県補助金)	5,279			
(うち他会計補助・負担金)	301,986			
(うち長期前受金戻入)	19,142			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	523,184			
2 経常費用	521,953			
(1) 医業費用	506,794			
職員給与費	296,497	152.2	55.7	72.6
材料費	32,398	16.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	14,393	7.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,103	7.8	11.0	5.6
減価償却費	37,051	19.0	9.0	11.1
経費	138,614	71.2	23.3	31.9
(うち委託料)	21,792	11.2	11.5	13.0
研究研修費	1,824			
資産減耗費	410			
(2) 医業外費用	15,159			
(うち支払利息)	672	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,231			
損益				
経常損益	1,232			
純損益	1			
累積欠損金	85,614			
経常収支比率	100.2		97.7	97.4
医業収支比率	38.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	64.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	172.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	64.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	35.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	987,223
1 固定資産	540,022
(1) 有形固定資産	540,022
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	447,201
(1) 現金及び預金	50,279
(2) 未収金及び未収収益	394,597
(3) 貸倒引当金（）	638
(4) 貯蔵品	2,963
3 繰延資産	-
負債合計	457,743
1 固定負債	219,905
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,905
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	53,520
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,306
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,184
(6) リース債務	1,100
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,930
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	184,318
(1) 長期前受金	352,495
(2) 長期前受金収益化累計額（）	168,177
資本合計	529,480
1 資本金	615,094
2 剰余金	-85,614
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-85,614
負債・資本合計	987,223
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	334,227	335,794
資本勘定繰入	10,479	14,992
計	344,706	350,786

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	44.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	枝幸町
		病院名	枝幸町国民健康保険病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	7,195 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	10	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,018,553			
1 経常収益	2,018,553			
(1) 医業収益	945,610			
入院収益	387,025			
外来収益	431,104			
診療収入計	818,129			
その他医業収益	127,481			
(うち他会計負担金)	76,506			
(2) 医業外収益	1,072,943			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	899,693			
(うち長期前受金戻入)	67,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,063,838			
2 経常費用	2,063,838			
(1) 医業費用	1,784,190			
職員給与費	986,000	104.3	55.7	72.6
材料費	268,555	28.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	164,888	17.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,809	9.1	11.0	5.6
減価償却費	229,447	24.3	9.0	11.1
経費	290,197	30.7	23.3	31.9
(うち委託料)	158,993	16.8	11.5	13.0
研究研修費	3,016			
資産減耗費	6,975			
(2) 医業外費用	279,648			
(うち支払利息)	43,003	4.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-45,285			
純損益	-45,285			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		97.7	97.4
医業収支比率	53.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	48.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	103.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	48.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	50.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	46	68.8	77.7	82.2
療養	37	90.1	91.9	90.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	83	78.3	84.0	85.8
平均在院日数（一般病床のみ）		23.0	30.7	36.1

設立団体の状況		
人口(人)	8,437	
決算規模(千円)	11,349,291	
標準財政規模(千円)	6,614,720	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	82.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.7
修正医業収益(千円)	869,104

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,820,593
1 固定資産	3,408,652
(1) 有形固定資産	3,408,651
(2) 無形固定資産	1
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	411,941
(1) 現金及び預金	273,702
(2) 未収金及び未収収益	116,469
(3) 貸倒引当金()	368
(4) 貯蔵品	22,138
3 繰延資産	-
負債合計	2,096,083
1 固定負債	1,412,460
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,412,460
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	383,074
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,673
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,290
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,111
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	300,549
(1) 長期前受金	980,715
(2) 長期前受金収益化累計額()	680,166
資本合計	1,724,510
1 資本金	1,605,919
2 剰余金	118,591
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	118,591
負債・資本合計	3,820,593
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	891,982	976,199
資本勘定繰入	70,186	106,074
計	962,168	1,082,273

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	豊富町
		病院名	豊富町国民健康保険病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	24.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	24.0
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	21.1

設立団体の状況		
人口(人)	4,054	
決算規模(千円)	5,521,744	
標準財政規模(千円)	3,229,480	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	70.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,219			
1 経常収益	8,219			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,219			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	8,219			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,219			
2 経常費用	8,219			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,219			
(うち支払利息)	8,219	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	8,219	8,219
資本勘定繰入	52,297	52,297
計	60,516	60,516

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	幌延町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,447	
決算規模(千円)	4,895,666	
標準財政規模(千円)	2,865,192	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	84.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	501	1,002
計	501	1,002

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	美幌町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,739 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	76.5	75.6	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	76.5	75.6	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.0	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	20,296	
決算規模(千円)	10,819,114	
標準財政規模(千円)	6,709,931	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	77.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.7
修正医業収益(千円)	1,734,271

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,029,753			
1 経常収益	2,029,753			
(1) 医業収益	1,783,402			
入院収益	886,136			
外来収益	783,196			
診療収入計	1,669,332			
その他医業収益	114,070			
(うち他会計負担金)	49,131			
(2) 医業外収益	246,351			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	195,628			
(うち長期前受金戻入)	24,300			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,111,125			
2 経常費用	2,111,125			
(1) 医業費用	2,022,694			
職員給与費	1,034,241	58.0	55.7	72.6
材料費	316,512	17.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	139,819	7.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	176,693	9.9	11.0	5.6
減価償却費	188,457	10.6	9.0	11.1
経費	477,735	26.8	23.3	31.9
(うち委託料)	197,065	11.0	11.5	13.0
研究研修費	5,460			
資産減耗費	289			
(2) 医業外費用	88,431			
(うち支払利息)	27,979	1.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-81,372			
純損益	-81,372			
累積欠損金	3,216,539			
経常収支比率	96.1		97.7	97.4
医業収支比率	88.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	84.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,034,104
1 固定資産	1,609,679
(1) 有形固定資産	1,609,586
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	424,425
(1) 現金及び預金	169,627
(2) 未収金及び未収収益	249,217
(3) 貸倒引当金()	484
(4) 貯蔵品	6,065
3 繰延資産	-
負債合計	2,040,924
1 固定負債	1,361,865
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,356,029
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,836
2 流動負債	413,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	251,465
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,497
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,832
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	265,329
(1) 長期前受金	467,990
(2) 長期前受金収益化累計額()	202,661
資本合計	-6,820
1 資本金	3,190,239
2 剰余金	-3,197,059
(1) 資本剰余金	19,480
(2) 利益剰余金	-3,216,539
負債・資本合計	2,034,104
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	6,820
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	244,759	244,759
資本勘定繰入	144,342	144,342
計	389,101	389,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	180.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道		
	市町村・組合名	斜里町		
	病院名	斜里町国民健康保険病院		
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	6,521 m ²	指定病院の状況	救	
診療科数	6	看護配置	13:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	64.3	59.3	61.8
療養	51	60.6	53.2	51.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	111	62.6	56.5	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	20.7	24.2

設立団体の状況		
人口(人)	12,231	
決算規模(千円)	9,431,333	
標準財政規模(千円)	5,575,551	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	95.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,798,960			
1 経常収益	1,798,960			
(1) 医業収益	1,255,136			
入院収益	559,344			
外来収益	586,918			
診療収入計	1,146,262			
その他医業収益	108,874			
(うち他会計負担金)	66,120			
(2) 医業外収益	543,824			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	466,031			
(うち長期前受金戻入)	35,921			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,801,441			
2 経常費用	1,801,441			
(1) 医業費用	1,732,578			
職員給与費	918,041	73.1	55.7	61.3
材料費	427,684	34.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	350,961	28.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,723	6.1	11.0	8.2
減価償却費	81,432	6.5	9.0	10.2
経費	294,654	23.5	23.3	30.5
(うち委託料)	154,768	12.3	11.5	13.0
研究研修費	10,767			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	68,863			
(うち支払利息)	2,895	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-2,481			
純損益	-2,481			
累積欠損金	1,265,396			
経常収支比率	99.9		97.7	96.5
医業収支比率	72.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	42.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	29.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	70.3		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,033,333
1 固定資産	830,884
(1) 有形固定資産	830,790
(2) 無形固定資産	94
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	202,449
(1) 現金及び預金	13,456
(2) 未収金及び未収収益	179,571
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,422
3 繰延資産	-
負債合計	1,020,973
1 固定負債	485,388
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,442
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	241,744
(7) リース債務	5,202
2 流動負債	316,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,503
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,537
(6) リース債務	13,856
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	190,049
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	218,640
(1) 長期前受金	295,965
(2) 長期前受金収益化累計額()	77,325
資本合計	12,360
1 資本金	1,242,135
2 剰余金	-1,229,775
(1) 資本剰余金	35,621
(2) 利益剰余金	-1,265,396
負債・資本合計	1,033,333
不良債務	46,993
実質資金不足額	46,993
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.6
修正医業収益(千円)	1,189,016

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	532,130	532,151
資本勘定繰入	90,130	95,209
計	622,260	627,360

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	46,993	3.7
平成30年度	-	-
平成29年度	12,999	1.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.8
健全化法上の資金不足額(千円)	46,992
健全化法上の資金不足比率(%)	3.7
地財法上の資金不足額(千円)	46,992
地財法上の資金不足比率(%)	3.7

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	滝上町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等				特殊診療機能欄	ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓	指定病院の状況欄	救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院
建物面積	2,606 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	その他		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	26	69.6	72.4	69.8
療養	12	11.5	19.4	20.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	51.3	55.7	44.1
平均在院日数(一般病床のみ)		38.1	39.7	46.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,721	
決算規模(千円)	4,438,801	
標準財政規模(千円)	2,681,857	
財政力指数	0.12	
経常収支比率(%)	79.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	638,512			
1 経常収益	638,512			
(1) 医業収益	283,455			
入院収益	116,652			
外来収益	106,123			
診療収入計	222,775			
その他医業収益	60,680			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	355,057			
(うち国・都道府県補助金)	4,569			
(うち他会計補助・負担金)	326,173			
(うち長期前受金戻入)	22,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	588,600			
2 経常費用	588,600			
(1) 医業費用	573,105			
職員給与費	292,951	103.4	55.7	80.8
材料費	65,221	23.0	24.7	13.8
(うち薬品費)	44,670	15.8	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,551	7.3	11.0	4.9
減価償却費	36,267	12.8	9.0	12.9
経費	177,670	62.7	23.3	47.4
(うち委託料)	61,756	21.8	11.5	20.7
研究研修費	996			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,495			
(うち支払利息)	1,976	0.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	49,912			
純損益	49,912			
累積欠損金	621,183			
経常収支比率	108.5		97.7	96.7
医業収支比率	49.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	57.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	128.5		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	57.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	46.6		85.7	64.2

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	440,383
1 固定資産	291,469
(1) 有形固定資産	291,221
(2) 無形固定資産	248
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	148,914
(1) 現金及び預金	103,881
(2) 未収金及び未収収益	37,830
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,203
3 繰延資産	-
負債合計	172,190
1 固定負債	104,101
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	104,101
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	60,330
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,772
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,557
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,759
(1) 長期前受金	108,373
(2) 長期前受金収益化累計額()	100,614
資本合計	268,193
1 資本金	724,021
2 剰余金	-455,828
(1) 資本剰余金	165,355
(2) 利益剰余金	-621,183
負債・資本合計	440,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	42.8
修正医業収益(千円)	245,464

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	108,077	364,164
資本勘定繰入	13,053	13,053
計	121,130	377,217

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	219.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道	
		市町村・組合名	興部町	
		病院名	国保病院	
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	3,985 m ²	指定病院の状況	救	
診療科数	5	看護配置	15:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	32	65.8	65.7	73.5
療養	18	43.1	46.3	43.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	57.7	58.7	62.6
平均在院日数(一般病床のみ)		36.3	37.9	34.6

設立団体の状況		
人口(人)	3,909	
決算規模(千円)	6,209,968	
標準財政規模(千円)	2,839,226	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	81.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	2.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医療収益	全国平均	類似平均
総収益	611,062			
1 経常収益	611,062			
(1) 医療収益	366,790			
入院収益	179,021			
外来収益	101,914			
診療収入計	280,935			
その他医療収益	85,855			
(うち他会計負担金)	62,200			
(2) 医療外収益	244,272			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	221,814			
(うち長期前受金戻入)	17,400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	688,819			
2 経常費用	688,819			
(1) 医療費用	663,351			
職員給与費	312,722	85.3	55.7	72.6
材料費	41,449	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	14,554	4.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,129	4.7	11.0	5.6
減価償却費	80,227	21.9	9.0	11.1
経費	226,310	61.7	23.3	31.9
(うち委託料)	42,481	11.6	11.5	13.0
研究研修費	1,554			
資産減耗費	1,089			
(2) 医療外費用	25,468			
(うち支払利息)	7,878	2.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-77,757			
純損益	-77,757			
累積欠損金	608,448			
経常収支比率	88.7		97.7	97.4
医療収支比率	55.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	46.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医療収益比率	77.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	46.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	47.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,164,859
1 固定資産	1,759,982
(1) 有形固定資産	1,683,607
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	76,305
2 流動資産	404,877
(1) 現金及び預金	343,095
(2) 未収金及び未収収益	53,016
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,766
3 繰延資産	-
負債合計	1,661,460
1 固定負債	1,058,500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,058,500
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	68,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,584
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,330
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,917
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	534,129
(1) 長期前受前受金	652,098
(2) 長期前受金収益化累計額()	117,969
資本合計	503,399
1 資本金	1,086,329
2 剰余金	-582,930
(1) 資本金剰余金	25,518
(2) 利益剰余金	-608,448
負債・資本合計	2,164,859
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.9
修正医業収益(千円)	304,590

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	284,014	284,014
資本勘定繰入	10,700	10,700
計	294,714	294,714

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	165.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医療収益から
 その他医療収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医療費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道	
		市町村・組合名	雄武町	
		病院名	国保病院	
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	4,308 m ²	指定病院の状況	救	
診療科数	6	看護配置	10:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	25	39.5	45.2	44.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	39.5	45.2	44.6
平均在院日数（一般病床のみ）		21.2	22.3	20.0

設立団体の状況		
人口（人）	4,525	
決算規模（千円）	6,054,265	
標準財政規模（千円）	3,599,298	
財政力指数	0.19	
経常収支比率（%）	73.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.8
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	582,126			
1 経常収益	582,126			
(1) 医業収益	236,987			
入院収益	72,853			
外来収益	119,761			
診療収入計	192,614			
その他医業収益	44,373			
(うち他会計負担金)	22,031			
(2) 医業外収益	345,139			
(うち国・都道府県補助金)	5,897			
(うち他会計補助・負担金)	268,902			
(うち長期前受金戻入)	9,965			
(うち資本費繰入収益)	43,067			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	694,450			
2 経常費用	694,450			
(1) 医業費用	667,915			
職員給与費	350,704	148.0	55.7	80.8
材料費	34,827	14.7	24.7	13.8
(うち薬品費)	19,092	8.1	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,427	6.5	11.0	4.9
減価償却費	80,406	33.9	9.0	12.9
経費	155,328	65.5	23.3	47.4
(うち委託料)	69,729	29.4	11.5	20.7
研究研修費	46,481			
資産減耗費	169			
(2) 医業外費用	26,535			
(うち支払利息)	8,022	3.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-112,324			
純損益	-112,324			
累積欠損金	111,536			
経常収支比率	83.8		97.7	96.7
医業収支比率	35.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	50.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	122.8		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	50.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	41.9		85.7	64.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,055,879
1 固定資産	968,512
(1) 有形固定資産	965,758
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,754
2 流動資産	87,367
(1) 現金及び預金	47,202
(2) 未収金及び未収収益	36,452
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	3,625
3 繰延資産	-
負債合計	808,487
1 固定負債	631,919
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	631,919
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	128,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,114
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,832
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,268
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	48,237
(1) 長期前受金	131,155
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	82,918
資本合計	247,392
1 資本金	343,421
2 剰余金	-96,029
(1) 資本剰余金	11,007
(2) 利益剰余金	-107,036
負債・資本合計	1,055,879
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	32.2
修正医業収益（千円）	214,956

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	290,933	290,933
資本勘定繰入	43,067	43,067
計	334,000	334,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	47.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	豊浦町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,963 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	48.9	55.0	53.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	48.9	55.0	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)		53.1	45.7	44.1

設立団体の状況		
人口(人)	4,291	
決算規模(千円)	4,671,546	
標準財政規模(千円)	2,675,539	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	82.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.8
修正医業収益(千円)	388,235

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	594,441			
1 経常収益	594,441			
(1) 医業収益	388,235			
入院収益	185,819			
外来収益	183,233			
診療収入計	369,052			
その他医業収益	19,183			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	206,206			
(うち国・都道府県補助金)	1,160			
(うち他会計補助・負担金)	179,768			
(うち長期前受金戻入)	6,379			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	647,160			
2 経常費用	647,160			
(1) 医業費用	618,231			
職員給与費	336,355	86.6	55.7	72.6
材料費	114,935	29.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	100,389	25.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,866	2.5	11.0	5.6
減価償却費	49,565	12.8	9.0	11.1
経費	115,167	29.7	23.3	31.9
(うち委託料)	31,401	8.1	11.5	13.0
研究研修費	901			
資産減耗費	1,308			
(2) 医業外費用	28,929			
(うち支払利息)	10,357	2.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-52,719			
純損益	-52,719			
累積欠損金	107,106			
経常収支比率	91.9		97.7	97.4
医業収支比率	62.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	30.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	46.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	64.1		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,697,603
1 固定資産	1,059,963
(1) 有形固定資産	1,059,911
(2) 無形固定資産	52
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	637,640
(1) 現金及び預金	565,028
(2) 未収金及び未収収益	58,665
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	13,947
3 繰延資産	-
負債合計	848,518
1 固定負債	600,250
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	471,754
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	128,496
(7) リース債務	-
2 流動負債	103,138
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,436
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,823
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,561
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	145,130
(1) 長期前受金	252,255
(2) 長期前受金収益化累計額()	107,125
資本合計	849,085
1 資本金	945,360
2 剰余金	-96,275
(1) 資本金剰余金	10,831
(2) 利益剰余金	-107,106
負債・資本合計	1,697,603
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	181,494	179,768
資本勘定繰入	41,865	-
計	223,359	179,768

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	白老町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,079 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	58	35.0	37.6	46.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	35.0	37.6	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	17.3	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	17,740	
決算規模(千円)	11,582,129	
標準財政規模(千円)	6,117,458	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	52.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	742,847			
1 経常収益	742,847			
(1) 医業収益	470,411			
入院収益	155,492			
外来収益	176,780			
診療収入計	332,272			
その他医業収益	138,139			
(うち他会計負担金)	90,543			
(2) 医業外収益	272,436			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	259,576			
(うち長期前受金戻入)	454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	788,685			
2 経常費用	788,685			
(1) 医業費用	785,300			
職員給与費	384,242	81.7	55.7	72.6
材料費	50,182	10.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	39,115	8.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,629	2.3	11.0	5.6
減価償却費	15,133	3.2	9.0	11.1
経費	334,586	71.1	23.3	31.9
(うち委託料)	133,260	28.3	11.5	13.0
研究研修費	606			
資産減耗費	551			
(2) 医業外費用	3,385			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-45,838			
純損益	-45,838			
累積欠損金	1,048,667			
経常収支比率	94.2		97.7	97.4
医業収支比率	59.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	47.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	74.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	47.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	49.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	337,008
1 固定資産	224,145
(1) 有形固定資産	223,903
(2) 無形固定資産	242
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	112,863
(1) 現金及び預金	59,601
(2) 未収金及び未収収益	47,074
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,188
3 繰延資産	-
負債合計	134,628
1 固定負債	8,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	8,181
2 流動負債	94,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,251
(6) リース債務	5,877
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,058
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	32,113
(1) 長期前受金	95,811
(2) 長期前受金収益化累計額()	63,698
資本合計	202,380
1 資本金	1,241,583
2 剰余金	-1,039,203
(1) 資本金剰余金	1,864
(2) 利益剰余金	-1,041,067
負債・資本合計	337,008
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	48.4
修正医業収益(千円)	379,868

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	281,119	350,119
資本勘定繰入	-	-
計	281,119	350,119

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	222.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	むかわ町
				病院名	むかわ町鶴川厚生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,548 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	48.3	54.2	56.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	48.3	54.2	56.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	19.1	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,596	
決算規模(千円)	12,841,644	
標準財政規模(千円)	5,299,647	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	3.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	325,200			
1 経常収益	294,470			
(1) 医業収益	1,419			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,419			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	293,051			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	270,402			
(うち長期前受金戻入)	19,799			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,730			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	349,569			
2 経常費用	324,569			
(1) 医業費用	318,110			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	78,181	5509.6	9.0	12.9
経費	239,929	16908.3	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,459			
(うち支払利息)	947	66.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	25,000			
損益				
経常損益	-30,099			
純損益	-24,369			
累積欠損金	300,412			
経常収支比率	90.7		97.7	96.7
医業収支比率	0.4		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	91.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	19055.8		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	83.1		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	7.4		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,209,204
1 固定資産	1,135,130
(1) 有形固定資産	1,093,314
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	41,816
2 流動資産	74,074
(1) 現金及び預金	73,921
(2) 未収金及び未収収益	153
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,197,206
1 固定負債	828,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	828,683
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	57,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,304
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	840
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	311,379
(1) 長期前受金	488,337
(2) 長期前受金収益化累計額()	176,958
資本合計	11,998
1 資本金	261,292
2 剰余金	-249,294
(1) 資本金剰余金	51,118
(2) 利益剰余金	-300,412
負債・資本合計	1,209,204
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.4
修正医業収益(千円)	1,419

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	270,402	270,402
資本勘定繰入	25,951	25,951
計	296,353	296,353

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21170.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	日高町
				病院名	門別国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,805 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	4	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	34	62.4	71.7	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	34	62.4	71.7	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	24.9	23.3

設立団体の状況		
人口(人)	12,378	
決算規模(千円)	10,181,839	
標準財政規模(千円)	6,469,558	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	71.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.8
修正医業収益(千円)	639,708

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,345,952			
1 経常収益	1,345,952			
(1) 医業収益	698,789			
入院収益	180,500			
外来収益	408,091			
診療収入計	588,591			
その他医業収益	110,198			
(うち他会計負担金)	59,081			
(2) 医業外収益	647,163			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	153,250			
(うち長期前受金戻入)	56,590			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,506,934			
2 経常費用	1,506,934			
(1) 医業費用	1,035,136			
職員給与費	654,310	93.6	55.7	80.8
材料費	105,673	15.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	57,018	8.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,488	6.9	11.0	4.9
減価償却費	106,583	15.3	9.0	12.9
経費	167,341	23.9	23.3	47.4
(うち委託料)	105,096	15.0	11.5	20.7
研究研修費	1,229			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	471,798			
(うち支払利息)	24,533	3.5	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-160,982			
純損益	-160,982			
累積欠損金	230,258			
経常収支比率	89.3		97.7	96.7
医業収支比率	67.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.4		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	75.2		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,673,850
1 固定資産	2,353,890
(1) 有形固定資産	2,353,890
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	319,960
(1) 現金及び預金	127,264
(2) 未収金及び未収収益	183,603
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,093
3 繰延資産	-
負債合計	2,835,216
1 固定負債	1,409,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,409,828
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	257,453
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	129,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	127,659
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,167,935
(1) 長期前受金	1,480,980
(2) 長期前受金収益化累計額()	313,045
資本合計	-161,366
1 資本金	68,892
2 剰余金	-230,258
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-230,258
負債・資本合計	2,673,850
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	161,366
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	205,331	212,331
資本勘定繰入	57,364	57,364
計	262,695	269,695

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	平取町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,447 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	6	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	42	53.9	54.5	58.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	53.9	54.5	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		25.1	29.1	25.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,315	
決算規模(千円)	6,697,072	
標準財政規模(千円)	3,390,560	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	85.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	27.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	39.4
修正医業収益(千円)	286,713

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	798,541			
1 経常収益	735,255			
(1) 医業収益	323,007			
入院収益	137,552			
外来収益	117,799			
診療収入計	255,351			
その他医業収益	67,656			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	412,248			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	324,370			
(うち長期前受金戻入)	80,971			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,286			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	977,186			
2 経常費用	734,507			
(1) 医業費用	727,525			
職員給与費	414,665	128.4	55.7	80.8
材料費	44,884	13.9	24.7	13.8
(うち薬品費)	14,341	4.4	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,885	7.7	11.0	4.9
減価償却費	86,913	26.9	9.0	12.9
経費	180,619	55.9	23.3	47.4
(うち委託料)	100,112	31.0	11.5	20.7
研究研修費	444			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,982			
(うち支払利息)	5,721	1.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	242,679			
損益				
経常損益	748			
純損益	-178,645			
累積欠損金	169,888			
経常収支比率	100.1		97.7	96.7
医業収支比率	44.4		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	49.1		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	111.7		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	45.2		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	51.0		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,408,952
1 固定資産	2,346,550
(1) 有形固定資産	2,297,816
(2) 無形固定資産	4,855
(3) 投資その他の資産	43,879
2 流動資産	62,402
(1) 現金及び預金	16,184
(2) 未収金及び未収収益	38,446
(3) 貸倒引当金()	293
(4) 貯蔵品	8,065
3 繰延資産	-
負債合計	2,366,836
1 固定負債	2,190,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,186,295
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	600
(7) リース債務	3,439
2 流動負債	64,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,323
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	4,400
(5) 引当金	20,372
(6) リース債務	2,913
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,985
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	111,504
(1) 長期前受金	239,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	128,208
資本合計	42,116
1 資本金	201,414
2 剰余金	-159,298
(1) 資本剰余金	10,590
(2) 利益剰余金	-169,888
負債・資本合計	2,408,952
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	182,263	360,664
資本勘定繰入	7,077	16,782
計	189,340	377,446

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	9,369	2.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	新冠町
		病院名	国保診療所
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,592	
決算規模(千円)	6,036,751	
標準財政規模(千円)	3,393,479	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	6.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	44			
1 経常収益	44			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	44			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	44			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	44			
2 経常費用	44			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	44			
(うち支払利息)	44	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	44
資本勘定繰入	-	2,286
計	-	2,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	新ひだか町
		病院名	新ひだか町立静内病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,777 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	58	55.0	57.8	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	55.0	57.8	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.9	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	23,231	
決算規模(千円)	15,400,908	
標準財政規模(千円)	9,168,466	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	57.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.1
修正医業収益(千円)	809,337

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,276,208			
1 経常収益	1,274,797			
(1) 医業収益	809,337			
入院収益	399,951			
外来収益	350,369			
診療収入計	750,320			
その他医業収益	59,017			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	465,460			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	357,500			
(うち長期前受金戻入)	82,741			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,411			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,266,001			
2 経常費用	1,257,363			
(1) 医業費用	1,205,830			
職員給与費	675,382	83.4	55.7	72.6
材料費	119,958	14.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	66,554	8.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,404	6.6	11.0	5.6
減価償却費	94,181	11.6	9.0	11.1
経費	315,243	39.0	23.3	31.9
(うち委託料)	171,278	21.2	11.5	13.0
研究研修費	967			
資産減耗費	99			
(2) 医業外費用	51,533			
(うち支払利息)	22,257	2.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	8,638			
損益				
経常損益	17,434			
純損益	10,207			
累積欠損金	663,309			
経常収支比率	101.4		97.7	97.4
医業収支比率	67.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	28.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	44.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	73.0		85.7	74.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,306,872
1 固定資産	1,043,925
(1) 有形固定資産	1,043,714
(2) 無形固定資産	211
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	262,947
(1) 現金及び預金	87,469
(2) 未収金及び未収収益	161,541
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	13,937
3 繰延資産	-
負債合計	2,206,650
1 固定負債	827,996
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,996
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	597,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,277
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,391
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	70,559
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	781,427
(1) 長期前受金	2,423,974
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,642,547
資本合計	-899,778
1 資本金	160,779
2 剰余金	-1,060,557
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,060,557
負債・資本合計	1,306,872
不良債務	173,003
実質資金不足額	173,003
資本不足額(繰延収益控除後)()	899,778
資本不足額(繰延収益控除後)()	118,351
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	169,114	357,500
資本勘定繰入	85,435	85,435
計	254,549	442,935

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	173,003	16.3
平成30年度	195,031	18.3
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.7
健全化法上の資金不足額(千円)	140,992
健全化法上の資金不足比率(%)	13.2
地財法上の資金不足額(千円)	173,003
地財法上の資金不足比率(%)	16.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	新ひだか町
				病院名	新ひだか町立三石国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,104 m ²	指定病院の状況			
診療科数	4	看護配置	その他		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	20	39.0	51.7	45.7
療養	22	73.1	61.2	74.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	56.9	56.7	60.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	17.6	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	23,231	
決算規模(千円)	15,400,908	
標準財政規模(千円)	9,168,466	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	57.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.3
修正医業収益(千円)	254,128

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	598,561			
1 経常収益	597,813			
(1) 医業収益	254,128			
入院収益	143,594			
外来収益	95,633			
診療収入計	239,227			
その他医業収益	14,901			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	343,685			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	307,206			
(うち長期前受金戻入)	31,628			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	748			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	555,641			
2 経常費用	552,758			
(1) 医業費用	536,738			
職員給与費	316,070	124.4	55.7	80.8
材料費	47,042	18.5	24.7	13.8
(うち薬品費)	24,263	9.5	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,865	7.0	11.0	4.9
減価償却費	33,880	13.3	9.0	12.9
経費	139,311	54.8	23.3	47.4
(うち委託料)	81,314	32.0	11.5	20.7
研究研修費	335			
資産減耗費	100			
(2) 医業外費用	16,020			
(うち支払利息)	1,231	0.5	1.4	1.3
(3) 特別損失	2,883			
損益				
経常損益	45,055			
純損益	42,920			
累積欠損金	397,248			
経常収支比率	108.2		97.7	96.7
医業収支比率	47.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	51.4		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	120.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	51.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	52.6		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,306,872
1 固定資産	1,043,925
(1) 有形固定資産	1,043,714
(2) 無形固定資産	211
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	262,947
(1) 現金及び預金	87,469
(2) 未収金及び未収収益	161,541
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	13,937
3 繰延資産	-
負債合計	2,206,650
1 固定負債	827,996
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,996
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	597,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,277
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,391
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	70,559
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	781,427
(1) 長期前受金	2,423,974
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,642,547
資本合計	-899,778
1 資本金	160,779
2 剰余金	-1,060,557
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,060,557
負債・資本合計	1,306,872
不良債務	173,003
実質資金不足額	173,003
資本不足額(繰延収益控除後)()	899,778
資本不足額(繰延収益控除後)()	118,351

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	131,913	307,206
資本勘定繰入	19,339	34,763
計	151,252	341,969

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	173,003	16.3
平成30年度	195,031	18.3
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.7
健全化法上の資金不足額(千円)	140,992
健全化法上の資金不足比率(%)	13.2
地財法上の資金不足額(千円)	173,003
地財法上の資金不足比率(%)	16.2

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	士幌町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,166 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	6	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	72.9	61.4	53.7
療養	-	-	65.0	62.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	72.9	61.7	56.7
平均在院日数（一般病床のみ）		53.0	58.2	35.7

設立団体の状況		
人口（人）	6,132	
決算規模（千円）	7,232,342	
標準財政規模（千円）	4,285,158	
財政力指数	0.30	
経常収支比率（%）	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.9
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	47.6
修正医業収益（千円）	424,828

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	877,249			
1 経常収益	877,249			
(1) 医業収益	424,828			
入院収益	233,112			
外来収益	151,268			
診療収入計	384,380			
その他医業収益	40,448			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	452,421			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	430,000			
(うち長期前受金戻入)	18,941			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	935,338			
2 経常費用	935,338			
(1) 医業費用	892,593			
職員給与費	543,307	127.9	55.7	72.6
材料費	59,263	13.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	29,219	6.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,131	5.0	11.0	5.6
減価償却費	71,021	16.7	9.0	11.1
経費	209,316	49.3	23.3	31.9
(うち委託料)	81,219	19.1	11.5	13.0
研究研修費	2,835			
資産減耗費	6,851			
(2) 医業外費用	42,745			
(うち支払利息)	11,961	2.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-58,089			
純損益	-58,089			
累積欠損金	922,955			
経常収支比率	93.8		97.7	97.4
医業収支比率	47.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	49.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	101.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	49.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	47.8		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,996,276
1 固定資産	1,817,633
(1) 有形固定資産	1,817,503
(2) 無形固定資産	130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	178,643
(1) 現金及び預金	54,755
(2) 未収金及び未収収益	119,417
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	4,315
3 繰延資産	-
負債合計	1,737,535
1 固定負債	789,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	789,747
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	148,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,576
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,239
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,426
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	799,547
(1) 長期前受金	906,486
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	106,939
資本合計	258,741
1 資本金	984,825
2 剰余金	-726,084
(1) 資本金剰余金	196,871
(2) 利益剰余金	-922,955
負債・資本合計	1,996,276
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	430,000	430,000
資本勘定繰入	44,692	53,529
計	474,692	483,529

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	217.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	鹿追町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,233 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	その他		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	23	91.2	64.1	68.3
療養	27	42.2	53.0	78.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	64.7	58.1	73.5
平均在院日数（一般病床のみ）		38.7	32.9	32.5

設立団体の状況		
人口（人）	5,542	
決算規模（千円）	9,581,190	
標準財政規模（千円）	3,745,760	
財政力指数	0.27	
経常収支比率（%）	83.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.5
	将来負担比率（%）	2.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	63.3
修正医業収益（千円）	453,537

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	747,911			
1 経常収益	747,911			
(1) 医業収益	491,528			
入院収益	163,552			
外来収益	267,706			
診療収入計	431,258			
その他医業収益	60,270			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	256,383			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	242,953			
(うち長期前受金戻入)	6,271			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	742,768			
2 経常費用	742,768			
(1) 医業費用	716,470			
職員給与費	393,555	80.1	55.7	72.6
材料費	165,075	33.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	137,249	27.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,826	5.7	11.0	5.6
減価償却費	43,796	8.9	9.0	11.1
経費	112,287	22.8	23.3	31.9
(うち委託料)	75,560	15.4	11.5	13.0
研究研修費	804			
資産減耗費	953			
(2) 医業外費用	26,298			
(うち支払利息)	2,564	0.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	5,143			
純損益	5,143			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		97.7	97.4
医業収支比率	68.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	37.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	57.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	37.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	62.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,098,559
1 固定資産	643,770
(1) 有形固定資産	643,634
(2) 無形固定資産	136
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	454,789
(1) 現金及び預金	377,169
(2) 未収金及び未収収益	66,946
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	10,674
3 繰延資産	-
負債合計	320,656
1 固定負債	156,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	156,477
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	107,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,793
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,398
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	56,938
(1) 長期前受金	207,789
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	150,851
資本合計	777,903
1 資本金	742,942
2 剰余金	34,961
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	34,961
負債・資本合計	1,098,559
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	279,662	280,944
資本勘定繰入	21,830	42,838
計	301,492	323,782

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	芽室町
		病院名	国保芽室病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,497 m ²	指定病院の状況	救臨
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	54.8	56.0	61.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	54.8	56.0	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	13.3	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	18,484	
決算規模(千円)	12,798,684	
標準財政規模(千円)	7,262,824	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	19.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,911,730			
1 経常収益	1,911,730			
(1) 医業収益	1,484,083			
入院収益	820,360			
外来収益	495,890			
診療収入計	1,316,250			
その他医業収益	167,833			
(うち他会計負担金)	96,152			
(2) 医業外収益	427,647			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	322,334			
(うち長期前受金戻入)	74,886			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,055,794			
2 経常費用	2,055,794			
(1) 医業費用	2,005,678			
職員給与費	1,037,963	69.9	55.7	61.3
材料費	187,851	12.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	101,545	6.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,048	4.7	11.0	8.2
減価償却費	140,200	9.4	9.0	10.2
経費	619,076	41.7	23.3	30.5
(うち委託料)	186,107	12.5	11.5	13.0
研究研修費	8,032			
資産減耗費	12,556			
(2) 医業外費用	50,116			
(うち支払利息)	6,924	0.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-144,064			
純損益	-144,064			
累積欠損金	869,546			
経常収支比率	93.0		97.7	96.5
医業収支比率	74.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	72.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,982,582
1 固定資産	1,806,448
(1) 有形固定資産	1,806,448
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	176,134
(1) 現金及び預金	56,018
(2) 未収金及び未収収益	110,657
(3) 貸倒引当金()	1,216
(4) 貯蔵品	10,675
3 繰延資産	-
負債合計	1,314,511
1 固定負債	402,145
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	402,145
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	299,179
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,896
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,783
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	65,670
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	613,187
(1) 長期前受金	1,747,242
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,134,055
資本合計	668,071
1 資本金	467,112
2 剰余金	200,959
(1) 資本剰余金	1,070,505
(2) 利益剰余金	-869,546
負債・資本合計	1,982,582
不良債務	45,149
実質資金不足額	45,149
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.2
修正医業収益(千円)	1,387,931

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,495	418,486
資本勘定繰入	92,675	400,829
計	414,170	819,315

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	45,149	3.0
平成30年度	252,059	15.6
平成29年度	282,354	15.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.6
健全化法上の資金不足額(千円)	45,149
健全化法上の資金不足比率(%)	3.0
地財法上の資金不足額(千円)	45,149
地財法上の資金不足比率(%)	3.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	大樹町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,057 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	83.0	86.7	81.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	83.0	86.7	81.3
平均在院日数(一般病床のみ)		41.0	47.3	41.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,738	
決算規模(千円)	6,697,091	
標準財政規模(千円)	4,223,102	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	86.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	12.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	859,018			
1 経常収益	859,018			
(1) 医業収益	565,507			
入院収益	255,183			
外来収益	192,958			
診療収入計	448,141			
その他医業収益	117,366			
(うち他会計負担金)	88,004			
(2) 医業外収益	293,511			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	223,356			
(うち長期前受金戻入)	61,770			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,034,304			
2 経常費用	1,034,304			
(1) 医業費用	1,008,554			
職員給与費	610,889	108.0	55.7	72.6
材料費	124,711	22.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	63,268	11.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,262	8.4	11.0	5.6
減価償却費	82,712	14.6	9.0	11.1
経費	187,840	33.2	23.3	31.9
(うち委託料)	58,945	10.4	11.5	13.0
研究研修費	2,402			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	25,750			
(うち支払利息)	360	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-175,286			
純損益	-175,286			
累積欠損金	802,322			
経常収支比率	83.1		97.7	97.4
医業収支比率	56.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	36.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	55.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	36.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	52.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,952,145
1 固定資産	1,536,537
(1) 有形固定資産	1,535,477
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,060
2 流動資産	415,608
(1) 現金及び預金	291,313
(2) 未収金及び未収収益	112,996
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	11,299
3 繰延資産	-
負債合計	1,620,923
1 固定負債	749,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	749,142
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	118,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,577
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,177
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,718
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	753,309
(1) 長期前受金	933,923
(2) 長期前受金収益化累計額()	180,614
資本合計	331,222
1 資本金	1,132,762
2 剰余金	-801,540
(1) 資本金剰余金	782
(2) 利益剰余金	-802,322
負債・資本合計	1,952,145
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.3
修正医業収益(千円)	477,503

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	307,690	311,360
資本勘定繰入	22,127	44,255
計	329,817	355,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	広尾町
		病院名	広尾町国民健康保険病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	72.6	64.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	72.6	64.9
平均在院日数（一般病床のみ）		-	31.6	26.9

設立団体の状況		
人口（人）	7,030	
決算規模（千円）	6,901,389	
標準財政規模（千円）	4,471,586	
財政力指数	0.24	
経常収支比率（%）	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.5
	将来負担比率（%）	55.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	956			
1 経常収益	956			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	956			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	956			
2 経常費用	956			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	956			
(うち支払利息)	956	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	25,868	5.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道	
	市町村・組合名	池田町	
	病院名	十勝いけだ地域医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,678 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	57.6	56.5	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	57.6	56.5	57.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	14.7	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	6,882	
決算規模(千円)	7,830,937	
標準財政規模(千円)	3,886,057	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	68.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.3
修正医業収益(千円)	1,097

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	277,385			
1 経常収益	277,385			
(1) 医業収益	1,097			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,097			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	276,288			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	253,314			
(うち長期前受金戻入)	22,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	398,299			
2 経常費用	398,299			
(1) 医業費用	392,416			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	141,640	12911.6	9.0	11.1
経費	248,538	22656.2	23.3	31.9
(うち委託料)	1,313	119.7	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	2,238	-	-	-
(2) 医業外費用	5,883	-	-	-
(うち支払利息)	5,858	534.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-120,914			
純損益	-120,914			
累積欠損金	1,421,739			
経常収支比率	69.6		97.7	97.4
医業収支比率	0.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	91.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	23091.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	91.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	6.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,924,389
1 固定資産	1,649,045
(1) 有形固定資産	1,648,483
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	275,344
(1) 現金及び預金	273,262
(2) 未収金及び未収収益	2,653
(3) 貸倒引当金()	571
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,043,997
1 固定負債	1,252,781
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,239,109
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	13,672
(7) リース債務	-
2 流動負債	127,355
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	126,553
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	602
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	663,861
(1) 長期前受金	857,099
(2) 長期前受金収益化累計額()	193,238
資本合計	-119,608
1 資本金	1,296,031
2 剰余金	-1,415,639
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,415,639
負債・資本合計	1,924,389
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	119,608
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,388	253,314
資本勘定繰入	65,199	129,929
計	315,587	383,243

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129602.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	本別町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,554 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	10	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	77.4	70.6	78.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	77.4	70.6	78.9
平均在院日数（一般病床のみ）		33.4	29.1	30.2

設立団体の状況		
人口（人）	7,358	
決算規模（千円）	7,365,800	
標準財政規模（千円）	3,953,396	
財政力指数	0.28	
経常収支比率（%）	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.3
	将来負担比率（%）	41.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	61.0
修正医業収益（千円）	733,650

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,373,120			
1 経常収益	1,373,120			
(1) 医業収益	1,071,403			
入院収益	387,047			
外来収益	308,214			
診療収入計	695,261			
その他医業収益	376,142			
(うち他会計負担金)	337,753			
(2) 医業外収益	301,717			
(うち国・都道府県補助金)	4,338			
(うち他会計補助・負担金)	256,619			
(うち長期前受金戻入)	21,127			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,253,616			
2 経常費用	1,253,616			
(1) 医業費用	1,202,380			
職員給与費	653,444	61.0	55.7	72.6
材料費	140,529	13.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	62,978	5.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,945	6.0	11.0	5.6
減価償却費	84,380	7.9	9.0	11.1
経費	319,515	29.8	23.3	31.9
(うち委託料)	91,477	8.5	11.5	13.0
研究研修費	3,466			
資産減耗費	1,046			
(2) 医業外費用	51,236			
(うち支払利息)	19,176	1.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	119,504			
純損益	119,504			
累積欠損金	1,924,732			
経常収支比率	109.5		97.7	97.4
医業収支比率	89.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	43.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	55.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	43.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	62.1		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,188,360
1 固定資産	1,025,594
(1) 有形固定資産	1,024,755
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	839
2 流動資産	162,766
(1) 現金及び預金	32,037
(2) 未収金及び未収収益	109,016
(3) 貸倒引当金（ ）	114
(4) 貯蔵品	17,109
3 繰延資産	-
負債合計	1,216,167
1 固定負債	822,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	781,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	40,462
2 流動負債	215,997
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,666
(6) リース債務	3,741
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	49,007
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	177,871
(1) 長期前受金	432,092
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	254,221
資本合計	-27,807
1 資本金	1,895,360
2 剰余金	-1,923,167
(1) 資本剰余金	1,565
(2) 利益剰余金	-1,924,732
負債・資本合計	1,188,360
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	27,807
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	590,888	594,372
資本勘定繰入	69,289	77,609
計	660,177	671,981

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	92,169	10.4
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	179.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	北海道
				市町村・組合名	足寄町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,102 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	62.6	55.6	55.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	62.6	55.6	55.0
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	22.3	23.8

設立団体の状況		
人口(人)	6,990	
決算規模(千円)	9,624,965	
標準財政規模(千円)	5,227,508	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,107,804			
1 経常収益	1,107,804			
(1) 医業収益	735,160			
入院収益	263,152			
外来収益	266,016			
診療収入計	529,168			
その他医業収益	205,992			
(うち他会計負担金)	162,983			
(2) 医業外収益	372,644			
(うち国・都道府県補助金)	29,586			
(うち他会計補助・負担金)	299,746			
(うち長期前受金戻入)	21,518			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,106,610			
2 経常費用	1,106,610			
(1) 医業費用	1,069,972			
職員給与費	545,275	74.2	55.7	72.6
材料費	93,949	12.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	41,825	5.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,230	5.2	11.0	5.6
減価償却費	78,376	10.7	9.0	11.1
経費	346,919	47.2	23.3	31.9
(うち委託料)	64,337	8.8	11.5	13.0
研究研修費	2,858			
資産減耗費	2,595			
(2) 医業外費用	36,638			
(うち支払利息)	10,860	1.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	1,194			
純損益	1,194			
累積欠損金	2,328,693			
経常収支比率	100.1		97.7	97.4
医業収支比率	68.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	41.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	62.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	41.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	58.3		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,334,688
1 固定資産	1,065,618
(1) 有形固定資産	1,065,402
(2) 無形固定資産	216
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	269,070
(1) 現金及び預金	179,146
(2) 未収金及び未収収益	84,052
(3) 貸倒引当金()	904
(4) 貯蔵品	6,776
3 繰延資産	-
負債合計	1,031,701
1 固定負債	712,835
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	712,835
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	158,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,213
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,547
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,722
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,627
(1) 長期前受金	409,920
(2) 長期前受金収益化累計額()	249,293
資本合計	302,987
1 資本金	2,631,680
2 剰余金	-2,328,693
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,328,693
負債・資本合計	1,334,688
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	53.5
修正医業収益(千円)	572,177

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	462,502	462,729
資本勘定繰入	49,938	57,666
計	512,440	520,395

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	316.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<h2 style="text-align: center;">病院事業決算状況</h2> <h3 style="text-align: center;">(令和元年度)</h3>		都道府県名	北海道
		市町村・組合名	厚岸町
		病院名	厚岸病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,988 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	50.6	50.1	62.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	50.6	50.1	62.4
平均在院日数（一般病床のみ）		21.2	18.3	21.6

設立団体の状況		
人口（人）	9,778	
決算規模（千円）	12,121,468	
標準財政規模（千円）	5,122,253	
財政力指数	0.23	
経常収支比率（%）	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.2
	将来負担比率（%）	71.8

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,201,260			
1 経常収益	1,201,260			
(1) 医業収益	785,247			
入院収益	236,440			
外来収益	339,734			
診療収入計	576,174			
その他医業収益	209,073			
(うち他会計負担金)	124,605			
(2) 医業外収益	416,013			
(うち国・都道府県補助金)	194			
(うち他会計補助・負担金)	312,965			
(うち長期前受金戻入)	73,625			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,183,256			
2 経常費用	1,183,256			
(1) 医業費用	1,128,917			
職員給与費	735,332	93.6	55.7	72.6
材料費	110,571	14.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	55,824	7.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,518	6.2	11.0	5.6
減価償却費	72,101	9.2	9.0	11.1
経費	202,189	25.7	23.3	31.9
(うち委託料)	98,837	12.6	11.5	13.0
研究研修費	2,462			
資産減耗費	6,262			
(2) 医業外費用	54,339			
(うち支払利息)	31,930	4.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	18,004			
純損益	18,004			
累積欠損金	635,545			
経常収支比率	101.5		97.7	97.4
医業収支比率	69.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	36.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	55.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	36.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	64.5		85.7	74.2

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,081,230
1 固定資産	1,907,634
(1) 有形固定資産	1,873,773
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	33,861
2 流動資産	173,596
(1) 現金及び預金	34,986
(2) 未収金及び未収収益	121,912
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	16,698
3 繰延資産	-
負債合計	2,660,683
1 固定負債	700,794
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	700,794
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	312,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	133,674
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,994
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	90,000
(8) 未払金及び未払費用	41,987
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,647,857
(1) 長期前受金	3,264,649
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,616,792
資本合計	-579,453
1 資本金	56,092
2 剰余金	-635,545
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-635,545
負債・資本合計	2,081,230
不良債務	4,762
実質資金不足額	4,762
資本不足額（ ）	579,453
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	58.5
修正医業収益（千円）	660,642

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	422,644	437,570
資本勘定繰入	86,225	131,048
計	508,869	568,618

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	4,762	0.6
平成30年度	-	-
平成29年度	18,944	2.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	80.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	4,762
地財法上の資金不足比率（%）	0.6

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費（経常的経費）に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	
		北海道	
		市町村・組合名	
病院名		町立病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	5,985 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	10 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	47.7	48.1	52.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	47.7	48.1	52.5
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	19.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,742	
決算規模(千円)	12,270,662	
標準財政規模(千円)	5,745,201	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	27.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,114,107			
1 経常収益	1,114,107			
(1) 医業収益	709,483			
入院収益	278,017			
外来収益	198,072			
診療収入計	476,089			
その他医業収益	233,394			
(うち他会計負担金)	178,461			
(2) 医業外収益	404,624			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	392,824			
(うち長期前受金戻入)	4,818			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,110,898			
2 経常費用	1,110,898			
(1) 医業費用	1,059,525			
職員給与費	659,149	92.9	55.7	72.6
材料費	91,247	12.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	42,504	6.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,480	5.4	11.0	5.6
減価償却費	56,838	8.0	9.0	11.1
経費	248,043	35.0	23.3	31.9
(うち委託料)	89,297	12.6	11.5	13.0
研究研修費	3,341			
資産減耗費	907			
(2) 医業外費用	51,373			
(うち支払利息)	24,601	3.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	3,209			
純損益	3,209			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		97.7	97.4
医業収支比率	67.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	51.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	80.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	51.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	48.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,963,759
1 固定資産	1,691,917
(1) 有形固定資産	1,591,529
(2) 無形固定資産	388
(3) 投資その他の資産	100,000
2 流動資産	271,842
(1) 現金及び預金	203,081
(2) 未収金及び未収収益	62,583
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,178
3 繰延資産	-
負債合計	973,308
1 固定負債	528,070
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	522,173
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,897
2 流動負債	292,368
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,708
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,501
(6) リース債務	1,267
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	133,279
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	152,870
(1) 長期前受金	182,663
(2) 長期前受金収益化累計額()	29,793
資本合計	990,451
1 資本金	983,935
2 剰余金	6,516
(1) 資本金剰余金	3,307
(2) 利益剰余金	3,209
負債・資本合計	1,963,759
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	50.1
修正医業収益(千円)	531,022

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	571,285	571,285
資本勘定繰入	71,325	-
計	642,610	571,285

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)			
都道府県名		北海道	
市町村・組合名		別海町	
病院名		別海病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 未 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,384 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	10	看護配置	10 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄	ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療			
指定病院の状況欄	救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院			
病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	84	69.5	70.9	79.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	69.5	70.9	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	18.5	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	15,273	
決算規模(千円)	21,721,118	
標準財政規模(千円)	9,364,145	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	78.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.3
修正医業収益(千円)	1,243,921

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,049,118			
1 経常収益	2,049,118			
(1) 医業収益	1,283,666			
入院収益	623,895			
外来収益	466,500			
診療収入計	1,090,395			
その他医業収益	193,271			
(うち他会計負担金)	39,745			
(2) 医業外収益	765,452			
(うち国・都道府県補助金)	928			
(うち他会計補助・負担金)	698,833			
(うち長期前受金戻入)	51,073			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,195,157			
2 経常費用	2,195,157			
(1) 医業費用	2,096,484			
職員給与費	1,196,088	93.2	55.7	72.6
材料費	232,199	18.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	109,535	8.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	122,664	9.6	11.0	5.6
減価償却費	145,638	11.3	9.0	11.1
経費	515,508	40.2	23.3	31.9
(うち委託料)	283,572	22.1	11.5	13.0
研究研修費	4,727			
資産減耗費	2,324			
(2) 医業外費用	98,673			
(うち支払利息)	26,036	2.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-146,039			
純損益	-146,039			
累積欠損金	2,386,902			
経常収支比率	93.3		97.7	97.4
医業収支比率	61.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	36.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	57.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	36.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	59.7		85.7	74.2

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,124,008
1 固定資産	2,848,166
(1) 有形固定資産	2,848,166
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	275,842
(1) 現金及び預金	76,951
(2) 未収金及び未収収益	189,630
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,261
3 繰延資産	-
負債合計	2,884,560
1 固定負債	1,541,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,541,316
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	399,460
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,994
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,200
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	182,542
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	943,784
(1) 長期前受金	1,841,838
(2) 長期前受金収益化累計額()	898,054
資本合計	239,448
1 資本金	2,626,350
2 剰余金	-2,386,902
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,386,902
負債・資本合計	3,124,008
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績額
収益勘定繰入	738,578	738,578
資本勘定繰入	66,361	66,361
計	804,939	804,939

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	185.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名		北海道
	市町村・組合名		中標津町
	病院名		中標津病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,710 m ²	指定病院の状況	救へ災輪
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	180	46.3	49.2	44.3
療養	19	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	41.9	44.5	40.0
平均在院日数（一般病床のみ）		11.1	11.3	10.8

設立団体の状況		
人口（人）	23,774	
決算規模（千円）	15,814,769	
標準財政規模（千円）	8,265,146	
財政力指数	0.42	
経常収支比率（%）	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.2
	将来負担比率（%）	95.6

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,046,735			
1 経常収益	4,046,735			
(1) 医業収益	2,991,563			
入院収益	1,275,422			
外来収益	1,291,034			
診療収入計	2,566,456			
その他医業収益	425,107			
(うち他会計負担金)	270,896			
(2) 医業外収益	1,055,172			
(うち国・都道府県補助金)	3,968			
(うち他会計補助・負担金)	995,683			
(うち長期前受金戻入)	28,407			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,229,127			
2 経常費用	4,228,998			
(1) 医業費用	4,039,699			
職員給与費	1,687,911	56.4	55.7	61.3
材料費	564,804	18.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	243,914	8.2	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	320,890	10.7	11.0	8.2
減価償却費	254,053	8.5	9.0	10.2
経費	1,517,979	50.7	23.3	30.5
(うち委託料)	471,761	15.8	11.5	13.0
研究研修費	9,619			
資産減耗費	5,333			
(2) 医業外費用	189,299			
(うち支払利息)	61,084	2.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	129			
損益				
経常損益	-182,263			
純損益	-182,392			
累積欠損金	6,239,301			
経常収支比率	95.7		97.7	96.5
医業収支比率	74.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	42.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	31.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	65.7		85.7	80.7

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,687,040
1 固定資産	3,198,581
(1) 有形固定資産	3,107,956
(2) 無形固定資産	90,625
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	488,459
(1) 現金及び預金	17,015
(2) 未収金及び未収収益	393,762
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	78,682
3 繰延資産	-
負債合計	3,988,368
1 固定負債	2,260,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,255,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,143
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,535,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	450,540
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	112,327
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	830,000
(8) 未払金及び未払費用	109,730
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	192,831
(1) 長期前受金	735,124
(2) 長期前受金収益化累計額()	542,293
資本合計	-301,328
1 資本金	5,937,973
2 剰余金	-6,239,301
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,239,301
負債・資本合計	3,687,040
不良債務	596,181
実質資金不足額	596,181
資金不足額()	301,328
資本不足額(繰延収益控除後)()	108,497
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	2,720,667

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,113,049	1,266,579
資本勘定繰入	281,782	281,782
計	1,394,831	1,548,361

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	596,181	19.9
平成30年度	450,262	15.2
平成29年度	316,866	11.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	208.6
健全化法上の資金不足額(千円)	596,181
健全化法上の資金不足比率(%)	19.9
地財法上の資金不足額(千円)	596,181
地財法上の資金不足比率(%)	19.9

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道	
	市町村・組合名	標津町	
	病院名	標津町国民健康保険標津病院	

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,686 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	2	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	35	69.7	73.4	68.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	35	69.7	73.4	68.6
平均在院日数(一般病床のみ)		35.5	35.6	31.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,242	
決算規模(千円)	7,276,861	
標準財政規模(千円)	3,801,603	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	77.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
将来負担比率(%)		-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	44.9
修正医業収支(千円)	398,793

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	906,679			
1 経常収益	906,679			
(1) 医業収益	398,793			
入院収益	171,550			
外来収益	192,390			
診療収入計	363,940			
その他医業収益	34,853			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	507,886			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	496,288			
(うち長期前受金戻入)	11,292			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	905,373			
2 経常費用	905,373			
(1) 医業費用	887,321			
職員給与費	554,345	139.0	55.7	80.8
材料費	59,616	14.9	24.7	13.8
(うち薬品費)	46,712	11.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,904	3.2	11.0	4.9
減価償却費	62,525	15.7	9.0	12.9
経費	167,703	42.1	23.3	47.4
(うち委託料)	53,450	13.4	11.5	20.7
研究研修費	42,306			
資産減耗費	826			
(2) 医業外費用	18,052			
(うち支払利息)	7,834	2.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	1,306			
経常収支比率	100.1		97.7	96.7
医業収支比率	44.9		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	54.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	124.4		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	54.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	45.3		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	851,537
1 固定資産	637,998
(1) 有形固定資産	637,642
(2) 無形固定資産	356
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	213,539
(1) 現金及び預金	99,135
(2) 未収金及び未収収益	104,059
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,345
3 繰延資産	-
負債合計	309,599
1 固定負債	213,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	210,505
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,248
2 流動負債	80,688
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,905
(6) リース債務	600
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,357
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,158
(1) 長期前受前受金	47,800
(2) 長期前受金収益化累計額()	32,642
資本合計	541,938
1 資本金	1,094,230
2 剰余金	-552,292
(1) 資本剰余金	246,916
(2) 利益剰余金	-799,208
負債・資本合計	851,537
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	496,288	496,288
資本勘定繰入	8,065	12,181
計	504,353	508,469

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	200.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	北海道
	市町村・組合名	広域紋別病院企業団
	病院名	広域紋別病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,584 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄	ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院	特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	148	47.7	45.1	45.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	150	47.1	44.5	44.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	12.1	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.5
修正医業収支益(千円)	1,939,341

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,629,232			
1 経常収益	3,619,679			
(1) 医業収益	2,013,017			
入院収益	1,006,200			
外来収益	874,841			
診療収入計	1,881,041			
その他医業収益	131,976			
(うち他会計負担金)	73,676			
(2) 医業外収益	1,606,662			
(うち国・都道府県補助金)	11,211			
(うち他会計補助・負担金)	1,290,929			
(うち長期前受金戻入)	276,634			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,553			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,637,546			
2 経常費用	3,621,000			
(1) 医業費用	3,495,067			
職員給与費	1,924,527	95.6	55.7	61.3
材料費	440,510	21.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	192,660	9.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	247,805	12.3	11.0	8.2
減価償却費	510,796	25.4	9.0	10.2
経費	604,671	30.0	23.3	30.5
(うち委託料)	290,194	14.4	11.5	13.0
研究研修費	9,140			
資産減耗費	5,423			
(2) 医業外費用	125,933			
(うち支払利息)	3,002	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	16,546			
損益				
経常損益	-1,321			
純損益	-8,314			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	57.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	67.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	37.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	62.3		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,664,935
1 固定資産	8,669,252
(1) 有形固定資産	5,512,568
(2) 無形固定資産	709
(3) 投資その他の資産	3,155,975
2 流動資産	995,683
(1) 現金及び預金	337,077
(2) 未収金及び未収収益	639,541
(3) 貸倒引当金()	3,866
(4) 貯蔵品	22,931
3 繰延資産	-
負債合計	9,086,871
1 固定負債	6,653,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,061,608
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	656,492
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	174,148
(7) リース債務	-
2 流動負債	494,175
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,815
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	99,614
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	175,021
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,938,747
(1) 長期前受前受金	3,076,148
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,137,401
資本合計	578,064
1 資本金	469
2 剰余金	577,595
(1) 資本金剰余金	266,673
(2) 利益剰余金	310,922
負債・資本合計	9,664,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	564,986	1,364,605
資本勘定繰入	152,983	134,338
計	717,969	1,498,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)

都道府県名	北海道
市町村・組合名	利尻島国民健康保険病院組合
病院名	利尻島国保中央病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,659 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	9	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	42	35.8	41.1	39.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	35.8	41.1	39.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	15.2	16.4

人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支比率(%)	47.5
修正医業収益(千円)	364,759

区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	760,332			
1 経常収益	760,332			
(1) 医業収益	420,189			
入院収益	148,931			
外来収益	198,518			
診療収入計	347,449			
その他医業収益	72,740			
(うち他会計負担金)	55,430			
(2) 医業外収益	340,143			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	315,490			
(うち長期前受金戻入)	18,950			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	796,186			
2 経常費用	796,186			
(1) 医業費用	768,486			
職員給与費	484,889	115.4	55.7	80.8
材料費	70,235	16.7	24.7	13.8
(うち薬品費)	48,708	11.6	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,242	2.9	11.0	4.9
減価償却費	49,163	11.7	9.0	12.9
経費	161,541	38.4	23.3	47.4
(うち委託料)	61,192	14.6	11.5	20.7
研究研修費	2,597			
資産減耗費	61			
(2) 医業外費用	27,700			
(うち支払利息)	1,410	0.3	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-35,854			
純損益	-35,854			
累積欠損金	198,453			
経常収支比率	95.5		97.7	96.7
医業収支比率	54.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	48.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	88.3		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	48.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	48.9		85.7	64.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	1,139,677
1 固定資産	931,551
(1) 有形固定資産	918,366
(2) 無形固定資産	546
(3) 投資その他の資産	12,639
2 流動資産	208,126
(1) 現金及び預金	38,178
(2) 未収金及び未収収益	104,968
(3) 貸倒引当金()	916
(4) 貯蔵品	52,145
3 繰延資産	-
負債合計	613,694
1 固定負債	86,919
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,114
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	44,805
2 流動負債	218,996
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,037
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,658
(6) リース債務	17,063
(7) 一時借入金	107,200
(8) 未払金及び未払費用	47,038
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	307,779
(1) 長期前受金	629,290
(2) 長期前受金収益化累計額()	321,511
資本合計	525,983
1 資本金	724,236
2 剰余金	-198,253
(1) 資本剰余金	200
(2) 利益剰余金	-198,453
負債・資本合計	1,139,677
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	369,674	370,920
資本勘定繰入	29,151	40,376
計	398,825	411,296

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	2,327	0.6

累積欠損金比率(%)	47.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。